滿洲日報
夕刊 九月四日
發行編輯印刷人 鈴木山口下 ...
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

樞府が讓歩せぬ限り正面衝突は避け難し

内閣の運命を賭しても戰はん 政府は飽迄强硬態度

【東京四日發電通】ロンドン條約樞府委員會に對し政府は濱口、幣原、財部三相、鈴木翰長、川崎法制局長官の協議においてその態度を決定した後同夜江木鐵相を招き諒解を求めた、卽ち

樞府は政府に對して回訓案決定につき加藤前軍令部長の不同意を確認せしめんとするものであるが政府がこれを承認せば

一、濱口首相の特別議會における答辯を覆へし國民を欺罔する事となる

一、統帥權干犯を承認する結果を招來し政府の自滅となるので首相も玆に斷乎たる決意を以つて政府の態度は事態の推移如何に拘らず變更せず

樞府との信念を固めこれがためには樞府との正面衝突も亦已むを得ず延いて内閣の運命に影響するとも覺悟の前であると最後の腹を固むるに至つた、從つて五日の第七回委員會は樞府側が何とか審議進展策を講ぜざる限り兩者の衝突は爆發するの外なしと見られる

今更樞府の意見に政府は屈服し得ぬ

審議停頓止むを得ず

【東京四日發電通】濱口、財部、幣原三相は樞府精査委員會散會後官邸において鈴木翰長、川崎法制局長官と共に今後の對策を研究したが樞府側は三日も統帥權問題につき質問を繼續したが河合顧問官としては兵力量決定に關する軍部の立場を將來の爲め確立し置かんとするに在ると共に樞府としては政府に非違の點ありしを政府をして

確認 せしめんとするに在るは明かである、從つて政府が從來の答辯を替へぬ限り審理は停頓の惧れあるも事實問題として回訓案決定に際し憲法上何等非違ある事を認めぬ政府としてこの際審議進捗を圖る爲め加藤前部長の同意なかりしものなりと答辯を替へる事は斷じて不能である、又濱口海相事務管理の行動も質問の焦點となつてゐるが實際越權行爲なかりしは勿論部長との協議事項は常に協議決定してなり非難を受くべき點はない要するに樞府今日の態度は政府として不可解の點あるも次回更に質問あらばこの點につき納得の行く迄說明する外はない、只政府が樞府に屈して說を

變化 する事は不能である從つて審議停頓も已むを得ぬ、斯くて豫算編成期迄に批准が間に合はずして

れば軍縮剩餘金使途は豫算とは別に考慮せねばならぬとの意見に一致を見た、斯く政府の態度强硬なる以上次回委員會の紛糾は極めて明瞭に豫測さるゝに至つた

構造美術展招待日

自然の秋に先だつて造形美術の秋上野の森を飾る美術展覽會に先だつて二日を招待日に蓋を開けた。名士、モダンな夫人、令孃等々例年の樣に會場内をにぎわし、齋藤素巖、日名子實三、陽咸二、淸水三重三氏等の同人は說明にいそがしく、同人綜合試作「運動時代」は特に場内に光をはなちて居た（寫眞は招待日の場内、中央は綜合作の運動時代）

走馬燈

知坊生

人材登用論（下）

母國における地方官の異動が、植民地殊に滿洲所在の官界に一戰戰を與へたやうに、植民地自體の諸組織中にも、資本家若しくは資本閥の考慮すべき課題がある。

◇

それは在外勤務者の拔擢登用について、今少しく廣義な深刻な理解が表示さるべきだ。日本を根基とし、若しくは出資者の多くを内國に有する會社は、外にある從事員の待遇について、動もすれば或る誤解を懷いて居る。甚だしいのは何事にも中央本部を標準とし、中央から見た解釋が第一義で、事業方針の選擇も、重役の任免も、組織制度の變改も、總て天降り式に專斷して當の得た者のやうに考へて居る。

◇

私は世界各地に散在する日本諸會社の從業員が、その多年養成し得たる智識經驗あるに拘らず毫も本店幹部の認容する所とならずして、母國の命令にこれ服從せねばならぬてふ不平も屢々耳にした。現地の事情も知らない腑輪重役の査定方針が、面從腹背、毫も徹底し得らぬ光景を目睹した。かうした執務氣分が造られた原因は固より二三にして足らぬ。しかしその中に人材登用の法が謬られて居ることを指摘したい。何といふても事業の中堅は、現にその局に當る者の支持して居る所で、定款によつて比較的短日月間に去就する幹部のみの領ではない。

◇

勿論事業組織の輪廓が大なれば大なるだけ、絶えず外來人物の刺戟鞭撻に待つべき點は多いがそれだけ幹部中に生え拔きの練職者を採擇して、社業の是非病根の表裏に參し、的確に考察し得さす事も必要である。否それよりも肝腎なことは、永年現地に勤續した人材の進路を恢弘する事であつてこの點が往々統率者に閑却され易い。

◇

例を今の滿鐵會社の如きに採らんか、創立以來、屢々社内に起つた問題は社員の進路についてであつた。何年立つても重役になれない。而してその重役の任免は一に政府者の手に存じ、且つ政變毎に首腦者を異にする事などであつた。尤も重役といつても、第三者から見ればそれ程有能さうに思へぬ。また從來登用された社員出の人々も適材であつたか否かは疑問なのが少くない。時には政黨關係から恩惠的に拔擢されたものもあつた。しかしさうした便宜主義以外の社員登用は、滿鐵の如き大組織の運用上、士氣を鼓舞する所以の一要項ではあるまいか。

◇

世間動もすれば滿鐵を濫窒となし、濫窒宿ちに人物を求め難いといふ、これは決して道理ない事でなく、代々の首腦者が就任當初先づ發する警告も常にこの點にあつた。しかし濫窒にせよ濫窒ならざるにせよ、創立以來の滿鐵會社を培養し、支持し來つた者は彼等で、その總てが庸碌凡才だと速斷する事は出來ぬ。逆說すれば任期終了者若しくは政變毎に、新たに來任した幹部中にも、悉く英豪俊邁の人物と許し乘れるのが少くなかつた。否、中には過去における優秀な閱歷所有者であつて、而も何等見るべき成績を示し得なかつたのも多い。

◇

かうした經路は社員中に適材がなかつた爲ともいへるが、また同時に英材を鑑識擢出する所以の道を誤つたとも評し得る。大組織中には學閥や黨閥などあつて、眞に適材を發見し難い事情もあらうが、それだけさうした適材が登用された場合の無形的感化は大である。然るにこれを思はずただ一顆關聯定して得々たらんには、幾たび制を改め人を代ふるとも、砂上の僞語を如何せんやである。今日の功業は大衆の結束にある。一頭の指揮する千羊は、一羊の指揮する千獅に勝ることは、大衆結束の妙諦を語る徵言ではなからうか。人材登用の趣旨も、唯だ登用された人材その者のみでなく、これによつて大衆の士氣を安定させ發憤さす點にあると思ふ。

拓務省新規事業

大連農事會社補助費の外 拓殖助成費を計上

【東京特電四日發】拓務省所管の一般會計豫算における新規要求は旣報の通り財源不足の折柄省議において大部分を削減したが、そのうち滿洲關係の新規要求は大連農事會社に對する移民渡航補助費五千五百餘圓のほか拓殖事業助成費五萬餘圓を計上するに至つた、右助成費は關東廳管轄外における拓殖事業に對し本省よりこれを毎年助成する計畫を立て明年度分二十餘萬圓を計上する豫定であつたが省議において削減され取りあへず約五萬圓だけ計上しこれを要求することになつたのである

張學良氏 益々健康

體重二貫目增加

【奉天特電四日發】張學良氏は歸奉後往訪の某要人に對し

七月以來モヒ注射を止め水泳その他の運動をつゞけた爲め二貫目から體重を加へ健康になつた時局について種々傳へられてゐるも絕對に關内のことに關係せぬ

と語つたと

豫算節約交涉開始

補充計畫、減稅を切離し

【東京四日發電通】ロンドン條約批准遲延の見込みなつけて政府は明年度豫算編成より條約批准關係の分卽ち海軍補充計畫と減稅問題を留保した儘編成を進めることゝなつたが大藏省は三日主計局議を開き右方針に基く豫算編成のプログラムを作成した、卽ち各省概算は三日に至るも依然として司法、拓務の二省が未提出の儘であるがこれが提出を待たず來る五日より旣定經費節約案の作成を急ぎ各省との交涉を開始し十五日より各省新規要求の査定を行ひ來月十四日に大藏省議、續いて二十一日に豫算閣議を開いて明年度豫算編成を一應終了する方針を決定した、而して明年度豫算編成の最難關は一億二千萬圓の歳入缺陷の辻褄を合せる爲めには右一億二千萬圓の節約は必須條件といふ大藏省主計局の旣定經費の節約であつて一億五千萬圓の一割五分乃至二割卽ち四億圓の一割五分引節約、繼續費二億一千萬圓の三割繰延べを各省に分擔して各省泣き落した爲し一方新規要求總額八千五百萬圓は總て一文もこれを認めずとの原則をその儘適用して總體斬にする方針である、なほ海軍補充計畫並に減稅實施問題はロンドン條約批准後でなければ手がつけられぬ關係に在るのでこれを一時留保し軍縮剩餘財源に相當する金額だけを一應歳入超過額として計上の上明年度豫算を編成し批准終了後に具體案を作成財源の按分を行つて追加豫算に計上來議會に提出する事になるだらう

東亞の大勢を察し日支親善に努力

北方政府の外交方針

【北平三日發電通】汪精衞氏は本日午後往訪の記者に新政府は數日中に成立すべしと前提して語る

張學良氏は最近南京側の態度に多大の不滿を感じ北方側に一層好意を寄するに至り政府委員勸誘にも同意を表した、閻錫山氏は本日石家莊着德州を經て來平すべく着平後政府の成立となる

次いで記者が新政府の外交方針につき質したるに對し汪氏は

第一普通外交關係 支那政府は文明國の義務を盡すと共に努力して文明國の權利を享有すべく不平等條約排除について繼續努力す

第二對日外交關係 兩國人民は深く東亞の大勢を察して兩國の唇齒輔車關係を增進すべく國民黨員は孫文氏の遺訓を最も固く守つてゐる、日支關係のますく親密なるを知ることが兩國の根本問題であると確信する

と聲明した

政府成立と共に對外宣言を發表

閻氏は三日太原出發

【北平特電四日發】閻錫山氏は北平の政府成立式に臨むため三日太原を出發し石家莊に到着し德州を經て北平に入ることに決定した、これ等につき汪精衞氏は語る

政府委員は七名の他更に四名を增加すべし、委員と各部長合議體を作つて國事を議する事となるべく主席は國務總理を兼ねたるものといへる、なほ政府成立と同時に對外宣言を發表する、その内容は新政府は文明國の權利を享有し文明國の義務を盡さんといふにある

張作相氏赴奉

【吉林特電四日發】張作相氏は四日午前七時發、吉海線にて赴奉した、その用件は旣に傳へられる南北時局に對する遼寧側の對策協議にあり、また旣報の通り張作相氏の第三子の結婚式を奉天に擧げるため歸來は遲れるとのことにてその間、參謀長熙洽氏が代理する旨を發表した

爆撃停止要求

北平記者團から

【奉天特電四日發】北平の支那新聞記者は聯合して張學良氏に人道上及び古蹟保存の見地から南京軍飛行機の北平爆撃停止を蔣介石氏に勸告されたいと電話したがこれに對し張氏は二日南京に北戴河滯在中蔣氏南京側に爆撃停止勸告電を發した旨返電した

滿鐵各傍系會社は經費一割を節約

何れも人員整理斷行

滿鐵傍系會社今次の整理は人事の整理異動と職制の改革に止め經營合理化は大體中止することゝなつた而して不況時に處する對策として滿鐵は各傍系會社に對し下半期經費に一割節約を命じた、これがため各傍系會社は重役會議を開き或は人件費、或は消耗品費、旅費其他の節約を圖ることゝなつたが結局經費節約の大部分は人事の整理を斷行するよりほかなく、老朽高級者の勇退、病弱者及成績不良といつた方面に整理の手を延ばすことになつた模樣である

各社の整理人員

瓦斯會社のみ皆無

滿鐵傍系會社では國際運輸がその皮切りとして全社員七百名中四十九名卽ち七分を整理したが大汽、滿電、旅館、滿洲ドック、東亞土木等の各傍系會社もそれぐ整理を行ふことになつてゐる、尻職するに大汽は三十名、滿電六十名見當と見られ瓦斯會社は事業の性質がキミだけにそれだけ常に緊縮方針を以て進み且つ高級者は次から次と富次擧務の肝いりで榮轉せしめ今日では技術、事務を通じ本俸百五十圓以上の高級者は僅かに三名（本社一名、安東、長春各支店一名）に過ぎず一般社員も常に最少限度の定員を保持してゐる關係から今次の整理には一名の馘首者をも出さゞる模樣である

人員整理發表期

各傍系會社首腦者は人事異動を出來るだけ早く發表すべく大連汽船では四日午前九時より社長室にて重役會議を開催し、また滿電では高橋支配人不在のため横田專務が四日午前九時から滿鐵本社を訪問種々打合せ午後歸社今井技師長と共に發表方法を協議した、兩社の發表は一兩日中で他の傍系會社もこれと相前後して發表を見る筈

黑省縣政府に鑄印配布

【ハルビン特電四日發】省政府の下に各縣に縣政府を組織することは國民政府行政院の布令により決定し黑龍江省では行政院から左の四十縣に縣政府の鑄印を送付して來たので各縣に配付することになつた

龍口、大賚、拜泉、璦琿、呼蘭、綏化、海倫、巴彥、呼倫、室韋、奇乾、羅北、呼瑪、漠河、肇州、訥河、靑岡、蘭西、木蘭、慶城、望奎、龍鎭、肇東、嫩江、安達、泰來、林甸、通河、湯原、綏稜、通北、景星、明水、佑安、雅魯、佛山、綏濱、烏雲、奇克、鷗浦

私用の旅だから何もお話は無い

けふの奉天丸で來連した 谷外務省課長の談

外務省亞細亞局第一課長谷正之氏

上海方面を視察中であつた外務省亞細亞局第一課長谷正之氏は四日入港の奉天丸で來連、治外法權撤廢問題その他對支問題の山積して居る折柄その動靜に對しては各方面より注目され、殊に同氏は奉天總領事後任說高く對滿問題にも重要な役割を有つてゐる、河相外事課長等に沖まで出迎へを受けたが甲板上翻を通ずると白の背廣にパナマ帽の好い應待ぶり

自分は旅行が好きで今回まで何度となく支那に來た、丁度暑中休みがあつたのでこの機會に好きな船旅と思つて去月二十五日上海に着きあちらの空氣に浸つて來たもので

全く個人 としての旅行に過ぎない、隨つて今更治外法權撤廢に關して何等新らしいニュースを提供出來ない事を殘念に思つてゐる、又支那時局に關しても支那側とは少しも交涉がなかつたのでむしろ東京に居る時分の方が情報が入つた位でこれもお話する樣な事はない、全く好きな船旅ついでに親友の河相君が關東廳に勤めてから一度も會つてゐないから會ひに來たのだ、だから今度は別に關東廳に

用件とて はなくむしろ河相君に會へたら旅順などへ行かなくても可い位だから六日出帆はるびん丸で歸るつもりで居る位だ、私の今度の旅行については各地で色々重要視されてゐるが何れも失望させて濟まないと思つてゐる位である

尙同氏は中谷警務局長岸本海關長等の出迎へを受け上陸ヤマトホテルに向つた

滿洲陸上線は別個の條約

日支電信交涉には無關係 關東廳遞信局の意見

日支電信問題交涉はわが委員の上海到着を俟つて愈々來る十五日頃より支那側と本格的交涉が開始される運びとなつたが支那側では旣定の交涉範圍たる淺水線以外に滿鐵沿線附屬地の陸上線も今回の交涉範圍内に入れむとする意嚮あるやに傳へられてゐるが、本問題に關しこれが直接管理の衝に當る大連遞信局當局では左の如く語る

元來今回の對支電信問題交涉は前記の四線に限られたもので當局としては直線管理の下にある滿鐵沿線附屬地の陸上電信線問題に迄交涉範圍が入れられてゐるものとは考へない、從つて當局から本交涉に參加すべきか否かは一に遞信省の命令によつて決まるのであるが、未だ何等の通知に接しない、今回の交涉委員には既に本省から吉野局長以下、外務省から電光代理公使が出席の筈で、若し當局から參加するとすれば局員として派遣せられる譯だが、わが當局としては滿鐵沿線の電信線問題とは前記四線の問題とは條約上別箇であるとの見解を有してゐるから別に問題とせぬ樣子で、當局にも何等の通知はない

歐米の鐵道現況

舊式車輛の多い英國 ロシヤは劃期的改善 我鐵道會議代表の歸朝談

【ハルビン特電四日發】スペインマドリッドの萬國鐵道會議に出席し六月十五日から二十四日までベルリンにおける動力會議に列席した住友技師齋藤省三氏と鐵道省から派遣され歐米の工場を視察した大阪鐵道局帆苅代次氏は四日ハルビン發大連經由、歸京の途についた、帆氏は

アメリカに二十五ケ月、歐州に二十五ケ月にわたり鐵道工場を見たが、設備の點は日本と同樣だが、仕事の早い點では日本に優るものはない、先進のイギリスはこれまた古きを尙び、日本で記念物として國寶視されてゐる島原鐵道の機關車に似たものがいまなほ使用され八トン積みのマッチ箱に似た貨車を運轉し歐洲各國でも四車輪、六車輪の客車が運轉されてゐる、

と語り、次いで齋藤氏は代つて語る

鐵道會議はこれまで五年に一回開かれることになつてゐたが、今度は三年に一回といふことに改められた、會議は國際間の鐵道に關する學術的研究の發表で私は車輪とレールの磨滅率の研究を發表した、鐵道技術は日本が眞面目で一番だと日本を知るものは認めてゐる、鐵道省派遣の加藤技師はカザン鐵道本部にあり、一名にひとり當ての通譯で現業技術者を敎へてゐる、ロシヤの鐵道改善はこれによつて劃期的の進步を見せるだらう、シベリヤ鐵道は旣に複線となしモスクワ、滿洲里間の旅客列車時間短縮の實現につとめてゐる

投票場入場券配布

市議補缺選擧も次第に近くなつたので大連市役所選擧係では四日から有權者に對し投票場入場券を配布したが、尙その關係衞生係りの應援を得て補缺選擧に關する注意事項を印刷したビラを配布した

在滿各局窓口現金受拂高

八月中全滿日本局所窓口現金受拂高は

受入 一五六、〇三二口 金額 三、七一四、五六五圓
拂出 四九、五四三口 金額 二、四〇〇、七五〇圓

で前年同期に比し受入において件數六、二七〇口減、金額にして九六六、九五〇圓の減、拂出において件數一、四九六口減、金額にして五四、一八二圓の增加となつてゐるが受入金額の減少は爲替二四七、七〇〇圓、郵便貯金八七、六二四圓、振替貯金二七三、四七一圓及びその他三五九、一五四圓の減少に依るものであり拂出金額の增加は郵便貯金九一、四八三圓、振替貯金三三、二〇七圓及びその他三四、〇四四圓の增加に對し爲替二〇一、六〇五圓及びその他二、九四九圓の減少があつた結果である

馬廷福事件と蔣張關係

【奉天特電四日發】所謂馬廷福事件に依つて逮捕された山海關駐屯軍北步兵第二十三旅長馬廷福、團長孟百學及び煽動者陶敦禮等數名は旣に北戴河より奉天に護送され目下遼防長官公署衞隊部に監禁中であつて軍法處は今週中に軍法會議を組織し審理する筈であるが一味を嚴罰卽ち銃殺すべしといふ意見と寬大に處分すべしといふ意見に分れてゐるやうで同人等の友人は成行を憂慮してゐる模樣である而して陶敦禮氏の背後に蔣介石氏の懷刀何成濬氏が潛んで居り現在奉天に在る方本仁、劉光兩氏も關係してゐる事實があり張學良氏及びその周圍は方、劉兩氏に疑惑の眼を光らしてゐるから方本仁氏等は結局奉天を立退くより外はあるまいと觀る向が多く延いて蔣、張間の關係に相當の影響を來しはしないかとその成行を各方面とも重大視してゐる

人事

▲石塚邦器氏（鐵嶺領事館員）四日入港はるびん丸にて來連

▲石橋貞男氏（每夕新聞社員）同上

▲谷正之氏（外務省亞細亞局第一課長）四日入港奉天丸にて來連

▲高瀨陸朗氏（國際庶務課長）同上

▲滿鐵交涉部長木村理事 微恙のため四日より當分自宅靜養

大觀小觀

北平を北京に還元しやうとの議がある。政府樹立よりもそれが先決問題ではないか。

◇

南京ある以上、北京なかるべからず、場合によつては洛陽邊を西京に、奉天を北京とするも可ならんか。

◇

何は兎もあれ、秋の北平は、また捨て難い風情がある。

◇

樞府と政府、石壁に馬を乘り當てたやうに報ぜられる、が併し、濱口首相が念入りに、誠意を披瀝して說明したら、何とか納得が行くのではないか。

◇

編成難を傳へられる明年度豫算案も、窮すれば通ずで、何とかなりつゝあるやうだ。

天氣豫報

五日（南東の風）晴後曇

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二五、六	二六、六
旅順	二五、九	二七、八
營口	三〇、一	二九、八
奉天	三〇、〇	三二、六
長春	三〇、一	三三、一

滿潮 午前九時〇分 午後九時卅分
干潮 午前三時四十五分 午後三時四十五分

現職巡査が馴染藝妓 自廢尻押しの奇怪な噂さ
自殺を圖るほど熱いふたり仲
綱紀紊ると極秘裡に取調べ

藝妓の自廢頻出し新らしき社會問題として注目を惹いてゐる折柄現職巡査が馴染藝妓の黒幕となり自廢を企てさせてゐるといふ奇怪な噂が傳へられて、警察界ならびに花柳界に大きいセンセイションを捲き起し、所轄大連署では極秘裡に調査を開始してゐる、問題の自廢藝妓は市内浪速町淡月席抱藝妓秀美こと杉濃雪（二三）で、數日前尼崎大連署長にあて手紙をもつて「身體が弱く

稼業が 出來ぬから自由廢業をさせて下さい」と寄越したがその不心得を諭されるや、秀美は三日腸カタルだといつて沙河口赤十字病院に入院し、目下自廢の持久戰に移つてゐる、しかして自廢の裏面には深い馴染を重ねたる情夫、大連署逢坂町派出所勤務高山勝治巡査が尻押してゐるといふ

奇怪な 噂があるので、監督責任者星警務主任は綱紀肅正の折柄、捨て、は置けず四日高山巡査を取調ると共に入院中の藝妓秀美を呼出しその間の事情につき詳細取調べを行つた、高山巡査と秀美との關係は約一ケ年前から續けられ、同僚間の噂に上る程に熱化し、同巡査は制服で秀美を呼出し密會したり、妻女の不在中沙河口官舎に連れ込んで二日も三日も外泊させたこともあり、女の方でも同巡査を憎からず思ひ多額の

借金を した模様である殊に本月二十日ごろ秀美は例の如く高山巡査の官舎に遊び、その際カルモチンを嚥下、自殺を企てた事實もあつて、兩人は最近灼熱的戀に落ちてゐたといはれてゐる

事實判明せば 斷乎たる處分に
星大連署警務主任談

右に就き星大連署警務主任は藝妓の自由廢業の裏面に高山巡査が糸を操つてゐるといふ風評があるので監督上早速取調べたが、同巡査は絶對これを否認してゐる、女は勿論、各方面に就いて調べてゐるが目下のところは調査中といふ外はない、事實が判明すれば斷平たる處分を執る方針だと多くを語らなかつた

制服で密會 珍しくない

高山巡査と藝妓秀美の間に立つて圓滿解決させようと奔走した大連三業組合某役員は語る

高山さんと秀美との關係は、とても深いもので女の方から電話で男を呼び出したり男の方も制服で密會するなどのことは珍しくもなく淡月席でも困つてゐました、最近自廢運動をするらしいといふ噂を聞いたので私が直接高山さんに面會し手を退いて戴くやうにお願ひしたこともあります、殊に女の方が毒藥自殺を企てる位男を思つてゐるのですから例へ高山さんが今度の自廢に尻押をしてゐなくても兩人の情交關係から推してそう思はれても止むを得ますまい

小兵だが元氣一杯 柳井中學チームけふ着連
期待されてお恥しい……大いに奮戰

好球家 の絶大な期待さる好評裡にいよいよ今日より開始される事となつた本社後援の内滿選拔野球戰に參加と決定全滿ファンを熱狂せしめた山陽代表柳井中學校チームは鈴木立藏教諭に引率され四日入港のはるびん丸で來連した、ナインは小兵ではあるが日頃の練習を思はす眞黒な顔で生々として如何にも中學生らしい元氣ぶりだ、

ハワイ 地方で生れた學生が多く中學生チームとしては毛色が變つてゐる、船中引率の鈴木教諭は謙遜して語る

田舍者なのでどうも氣遲れがして困りますよ、一行十三名、小兵で中には一年生の選手もひとり交つてゐます、だが大抵は四五年が中心になつてゐます、試合度胸ですか？大丈夫だと思つてゐますが何分相手が松山商業に大連商業じや、どつちみち

苦しい 戰ひです、私の學校も大正十四、五年が黄金時代でそれから一寸落ちた樣に思はれます、今度の山陽大會では三回戰で長府にやられましたがまだやれる自信はあつたんです恰度學校が始まつてから來たんですから仲々來にくかつたんでもしたが序でに滿洲を見學するといふ理由で來たのです、來られなかつた平安中學校の樣に期待されてはお恥しいですが出來るだけやるつもりでゐます

因に一行名並にシート左の如し

▲監督 鈴木立藏▲投手森岡哲（四年）▲捕手和田正彦（五年）▲一壘吉村公平（四年）▲二壘山縣秀夫（二年）▲三壘青井英隆（三年）▲遊撃藤山勇（主將、五年）▲左翼新庄格（五年）▲中堅、投手藤重文夫（五年）▲右翼松重義生（二年）▲補缺原口和夫（四年）久保良人（二年）太田松人（二年）久本美佐男（一年）【寫眞は元氣で小兵の柳井チーム】

心からなる慰問品を携へて
滿洲駐屯軍を慰問に 福知山の郷軍團來連

滿洲駐屯軍隊慰問のため福知山聯隊司令區では在郷軍人二十二名よりなる慰問團隊を組織したが、一行は四日入港のはるびん丸で歩兵少佐鈴木亮氏に引率され來連した一行中には征露の役に

從軍し た勇士も交つてをり、いづれも各郡より送られた慰問品を山の樣に持つて來た、鈴木少佐は語る

この滿鮮慰問團は昨年も一度來たんです、だからこのうちには二度目の人もをります、大抵は初めての人達ですからこの機會に長春、ハルビンまで行くつもりでゐます、いづれも遠い異域の地に働く同胞に對し深甚の

敬意を 拂つてゐるもので同郷の人達の心からの慰問品をそれぞれ贈るつもりでゐます六日に遼陽、八日に長春、十日に奉天に、十五日に下關に歸るつもりです

龍鐵チーム來る

奉天、長春に轉戰した京城龍山鐵道局チーム關監督以下十九名は三日二十時三十分着列車で着連、東……旅館に投宿した、なほ試合日程は追つて發表の筈

◇けふ來連した團體二つ
（上）滿鮮視察の宮城縣青年團
（下）福知山在軍の駐滿部隊慰問團

阿片密輸など 大仰なことと
謝玉田氏歸る

張宗昌部下謝玉田氏はさきに別府の張氏を訪問のため門司上陸の際阿片密輸の嫌疑で門司水上署で嚴重取調べられ話材を撒いたが、四日入港のはるびん丸で歸連語る

闇から三百四十萬圓の金が出たとか張氏が再起するとかは全くの流言である、阿片密輸なんて大仰なことを云ふが只張氏の許に少し張氏の吸飲料として持つて行つて見付かつたんであると餘り多くを語らず上陸したが、聞くところによると張氏は最近生活費にすら窮してゐる始末であると

秩父宮殿下 御來滿映畫
各學校で謹寫

大連教育會では四日から大連民政署管内各學校で活動寫眞の巡映を開催するが、今回は特に去る五月秩父宮殿下御來滿中の御行動を謹寫したものを映寫してゐるから市民多數の來觀を希望すると

佐治大助氏に絡る 水産贈收賄事件（公判）
けふ開廷、午前中は證人調べ

佐治大助氏外七名に係る水産會社贈收賄事件の第二回公判は四日午前九時半より森本裁判長、本間、長島兩判官、池内檢察官、荒木書記、係りのもとに係屬辯護士八名列席して開廷、午前中は證人として相生常三郎、野崎昇治、石津作太郎三氏について取調べを終つたが現水産會社監査役相生常三郎氏は森本裁判長から「會社の專務取締役といふものは他人の接待費等を勝手に出してよいものか」と質されて「今まで勝手に出してもよい例になつてゐた」と被告に

有利な 證言をなし、次いで被告野崎菊治氏の長男昇治氏は柳生技手を招待したのは單に懇意の間柄であつたからだと答へ、漁師石津作太郎は「二百圓は高橋個人から借りたのである」とそれぞれ證言を述べた、證人調べ終つて最後に池内檢察官は立上り、被告等は皆檢察局において述べたことと法廷において述べることは違ふがその辯明を聞きたいと要求し森本裁判長から午後一時半より續行する旨をつげ午前十一時五十五分休憩を宣した

ヘヤーネットの 密輸船判明
風を喰ひ連類者逃ぐ

大連、神戸、上海間で婦人頭髪用のヘヤーネットを多量密輸し、多額の脱税行爲を行つてゐる一味のあることは既報したが、その後大連、水上兩署で取調べの結果、これが密輸船が判明し、大連署では三日夜兆航船（特に船名を秘す）の船長、機關長船員等數名を引致し麗井司法主任が嚴重取調べを行つた結果、大體の犯罪事實を自白するに至つたので同夜一先づ歸船を許した、それによると市内某々商店が中心となり山東の支那人が手内職で製造した原價七厘位のヘヤーネットを買占め、これを日本内地商人と連絡し巧に官憲の目を掠めては十數回に亘つて密輸し、時價十四錢位で卸してゐたもので、ある、内地の共犯者は既に神戸署の手で擧げられてゐるが、犯罪根據地たる大連市内の某々商店主等は警察の網が降りたと知るや逸早く姿を晦ましたので目下嚴重捜査中である

速力による 事故八割
沙河口署で嚴重取締る

沙河口署保安係にては本年一月以來八月末までの間に同署管内に發生した交通事故について調査したところ、乘用自動車事故數四十三件、貨物自動車十三件、馬車二件、電車十三件、荷馬車一件、自轉車十一件、汽車四件、總計八十七件であるが、これによる人畜被害は死亡七名、馬一頭、犬二匹で、負傷者五十五名、馬三頭である、尚これ等交通事故發生の原因は約八割がスピードによる違反であるので、同署では事故防止策として近く交通整理員にストツプウオツチを持たせスピードについて嚴重取締ることゝなつた

滿鮮視察は 非常に有益
宮城青年團來る

宮城縣青年團一行二十二名は同縣青年團幹事田上命吉氏に引率され四日入港のはるびん丸で來連したが、田上氏は一行を代表して語る

これで我縣の滿鮮視察團は第六回です、年々好い收穫があるので一つの年中行事のやうになつてゐます、各郡から代表的な模範青年を選拔し各職業を網羅してゐます、約三週間の豫定で沿線各地を巡歷して朝鮮經由歸るつもりです

前神田署長送別會

鳥取縣知事に榮轉した神田前民政署長の送別會は四日午後零時半から大連ヤマトホテル大ホールに於て開催せられたが、在連朝野知名士二百五十名參加デザートコースに入るや田中市長は發起者代表として神田前署長の頌德の辭を述べ神田氏之に對して在任中の謝辭を述べ主客歡談裡に同午後二時散會した

玉の浦砂利事件の 松元盛は無罪

玉の浦砂利事件にて第一審では懲役三ケ月の刑、執行猶豫一年の言渡しを受けた元旅順民政署商工係松元盛に對する判決言渡しは三日午前十一時旅順高等法院覆審部に於て篇井裁判長より證據不充分により無罪を言ひ渡された

滿洲青聯本部協議

滿洲青年聯盟本部では長春において來る廿一、二の兩日にわたり開催される第三回滿洲青年議會を控へて六日午後六時から本部理事、委員ら會合して聯盟運動につき種々協議すると

勞工專用電車 三錢に値下
同時に系統と時間改正

南滿洲電氣株式會社では曩に電車の不潔、日支乘客の混乘防止の一策として昨年十二月以降朝夕のラツシユアワー約二時間を限り乘車賃金片道金四錢の勞工專用車を運轉してゐるが、實施後銀安や一般世間の不況に連れ成績芳しからぬに鑑み今回更に料金を金三錢に値下げし、なほ運轉系統及び時間をも左記の通り改正して所期の目的に添ふべくこれが申請書を提出したので目下遞信局で調査中

運轉系統 第一系統、寺兒溝―大廣場―西崗子間▲第四系統、埠頭―日本橋―西崗子―水源地間▲第六系統、水源地―黒石礁間▲第七系統、常盤橋―沙見橋間▲第十一系統、寺兒溝―大廣場―常盤橋―西崗子―水源地間

新運轉時間 自午前六時至午前十時、車輛六號▲自午前十時至午後四時、車輛十號▲自午後四時至午後八時車輛六號

勞働爭議激增

【東京四日發電通】打續く産業界の不振は勞働界の不安を醸し、三日内務省社會局發表によれば七月中の勞働爭議件數は二百件により參加人員一萬八千二百八十七人で一ケ月間の爭議状況では全國未曾有の激增振りを示し前年同期の二倍の多きに達してゐる

秋の夜店のお手並拝見
涼風に夜更けなば
草花屋の前に新鮮な風情横溢
【2】浪速町の巻……（B）

九時、長針が少し廻り過ぎると夜店素見しの人の流れが幾分漫ろになつて來る、油光りの苦力達は何時の間にか引揚げて人足の切目にアスフワルトが店燈に白ちやけて見える、蓄音器屋の流行唄が廣い通りを筒抜けて遠くまで聞えるやうになつた、汚い苦力が居なくなつてからと九時過ぎからゆつくり散歩する近くの奥さん達はこの頃から出て來る

「そらもう店しまひや、負けた大見切の五十錢や！」とポンと膝を叩く

「三錢なんかこんなん、二圓もするこんなに見切つても買はんのか、あかんたれやなあ、そらもう買らんぞッ」とメリヤスのたたき屋獨りでカンカン青筋を立て、客を睨み廻せば、一人減り二人減り……立ちはだかつた奥さん、旦那さん達も素つ氣ない、獨り者らしい無精髭を生やした若い男が二人蹲んでボイルまがいのシャツを弄つてみる

○―○

郊外へ歸りの散歩客は大山通、伊勢町へとだんだん流れて行く伊勢町を西廣場への一町餘何時しか支那人の花屋が十數軒立並ぶ樣になつた、百日紅、ダリヤ、野菊、薔、紅白濃淡とりどりの草花が水を切つたばかりの新鮮な風情を添えてゐる

「奥さんこれ新しい、なかなか枯れない、三十錢まけとく」と花賣ニーヤは百日紅、ダリヤを一束に括つたものを大事さうに捧え上げる

「ニーテ、タータサーホン、チヤガホワイラぢやないか、イーモーセンよろし、イーモーセンメイユー、ワーテブヨ」と町家のおかみさん却々流暢に値切る

「シヨマイーモーセン、このダリヤなかなか上等あるよ」

「ブヨブヨ」

「奥さん二十錢負ける」

「こんなホワイラのブヨ」とおかみさん花を投げ棄て見向きもせず行つてしまふ

「奥さん、十五錢負けるよ、奥さーん負ける、よろし負けるよ十錢よろし奥さーん！」

もう十間餘も行つた奥さんを大聲で呼びかける、奥さんは又そろそろ引返して十錢投げ出して花を買つて行つた

「ニーヤこれいくら？」と若い娘さんは靈のバラを取上げて香をかいでみる

「これ二十錢」

「高いわ」と言いかけたが、傍らに若い男がゐたので令孃は言値の二十錢投げ出してバラを持つてさつさと歸つて行く

○―○

十一時、活動歸りの男女が一流れした後は既に人すくなになつた、投げ棄られた紙屑が點々と小汚く散らばつてゐる

「九月になつてから急に客足の上りが早くなりました、涼しくなりましたからねえ」と果物夜店の爺さんは店しまひに忙しい

夜風が街路の埃をばらばらと掃いて行つた

美術院入賞者と推薦の院友

【東京四日發電通】日本美術院は本年度は第一院賞に當る作品がないので第二院賞を授與することとなり三日午後左の如く發表▲繪畫 秋草（高橋周桑）浄土變（太田聽雨）▲彫刻 道化役者（中村直人）童女の像（宮本重良）

なほ左の諸氏を院友に推薦した▲繪畫 茨木衫風、川島萬年、中島清、鬼原素俊、内田清濤、小谷津任牛、村田泥牛、高橋周桑、上田龍二郎▲彫刻 村田德次郎、關屋柔、白井保春、菅原安男、松村秀太郎、杵谷精一、杉本宗一

健康相談所成績

大連簡易保險健康相談所の八月中における利用状況は初診二百二十八名再診六百七十五名、合計九百三名で前月に比し十一名の減少であるが、これは夏期取扱時間の關係でなほ受診者を男女別にすると男五百七名、女三百九十六名である

大蓮寺秋季大祭

市内春日町大蓮寺の鬼子母神大祭は來る八日盛大に執行、當日は午後二時法要、同三時說教後赤飯供養、午後六時より逢阪美妓連の奉納舞があると

●●● 精進料理店「雲水」 西洋料理、支那料理あり精進料理なかるべからずと雲水といふ精進料理店が佐渡町に出來た

俠艶一代男（46）

米田華舡作　伊藤幾久藏畫

お千賀の行方（二）

「手前が出てこなければ、俺がそこへ土足で踏ん込んで、引ッ張り出すぞッ！」

がえんが本當に躍り込み乘れない勢ひを示して、威嚇した。

「そ、そんな亂暴なこさが……！」

さ、番頭もおろ〳〵聲で叫んでゐる。

「何が亂暴だ？言ひ懸りの、押し賣りのさ、默つてゐれば、いゝ加減、馬鹿にしやアがる。かうなりやア俺も意地づくだ野郎が言葉の證據を見せれえ限りこの店先を捉でも動くものか？、さア！　手前が吐した押し賣りさ言ひ懸りの證據を見せろ！」

「まア、どうぞお靜かになさつて下さいまし」さ、暗い奧から白髪まじりの老番頭か、この家の主人か、二人の側へ出てきて「どう云ふ譯か存じませぬが、番頭が粗忽なことを申しましたさうで、御覧の通り、日暮れ時の店を取り片づけて居ります最中、忙しさに紛れ、飛んだ失禮を申しました。私が代つてお詫を申します。どうぞ御勘辨なさつて下さいまし。これさ錢差を五束ほど求めてあげな、代を五百文、すぐこれへ持つてお出で！」さ、側に茫然と手を束ね、佇んでゐる手代の一人を振返つて

「早く持つてこいと申すのに！」

聲を張つて、すぐにもと云ふ風に急き立てた。

「お前さんは旦那さんですかい？」

「はい、この店の主、島屋伊兵衛でございます。どうかこの先ともに……」

「さうですか？　何アにね。俺は無理にお賣りしやうと云ふわけぢやねえんですから」さ、がえんは幾らか語調を柔げて濾りがちにポツ〳〵と口を利いた。

「まアさう仰しやらず、御不承でもございましやうが、今日の所はお許しな願ひまして、この先、末長く御贔屓を願きたうございます」

「へえ、さうお話が判りやア、俺も四の五のと吐すことはございませんので……」

「おい！、お役割！、いい加減にしや、島屋の旦那があゝサッパリとお仰しやるんだ」さ、この時まで、後に控へて、始終の模様を睨めてゐた遊人風態の小商人が言葉を挾んで「ヘッへ、、、」さ、薄氣味惡い世辭笑ひ「どうも氣が短けいもので、お騷がせして相濟みませんでしたよ」

「では五百文、これで宜しいのでございますな？、またお買ひ申しましやうよ」

島屋の主が錢緡へ、錢緡を並べた。

「左樣でございますか？、えへッへゝゝ、旦那さんのやうにお話が判りますさ、本當に文句はねえのでございますよ。お役割！」さ、側に突立つてゐるがえんへ

「ではそろ〳〵お暇申さうか？」

「さうだな。そつちの用が濟んだなら、俺はいつでも行かうぜ」

「島屋の旦那さん！、御免なせえましよ」

小商人さがえんは、店の裏に待たしてある一人のがえんの所へ戻つて行つた。

三人は顔を見合して、うふッさ笑ひ合つた。

小使錢稼ぎに、土地の遊び人さ旗本召抱への火消中間のよくない奴さが馴れ合ひで、時折かうして町家などを押賣り、強請などをして歩いた。

その金額は僅かであつたが、彼等で縄張を定めては、その區域内は當然の餘得のやうに考へてゐたのだ。

「なア哥貴！、今日はこれ位で、引きあげさしやうぜ、夜五つには御愛姿さやらが、お邸へお乘り込みだ」

「違えれえ。部屋へ戻つて、振舞酒でも御馳走に撮らうかい」

「奧方が死んでから旗屋嫌もさに旦那も浮れ廻つてゐたが、どうやら此處は素晴らしい奴を見つけたらしいぜ」

「凄え器量ださうだ」

「ほう！、何者だね！」さ、錢差の束を天秤に擔いだがえんを中に二人の相棒が揃つて、四谷の大通りをお城の方角へ歩いてくる。

キネマと演藝

吉田奈良丸 今夜日延 あすは旅順へ

大好評裡に本社販賣部主催滿鐵勞務課後援の大連劇場に於ける五日間の浪曲大會を終へた一若改め三代目奈良丸一門は今夜一日限り大連劇場にて大好評御禮として日延べ興行をなし吉田宗家の秘曲「桐一葉」を口演し愈々大連劇場を打揚げ明五日は旅順昭和館に於て一日限り得意の讀物を以て旅順の浪曲ファンに襲名披露をなし六日は沙河口劇場に出演して沿線巡演に出發することに決定した

常盤座の初日 遠山を觀る

常盤座の遠山滿一黨の初日をのぞく。移動小劇場さ名乘をあげてゐるが、われ〳〵が考へる小劇場さは大分縁遠いものが生れてゐる、從つてそれだけ大衆的である、座員總員十七名と思へない程の舞臺を見せて座員一同が活躍してゐる夜間の部のB「武士さ藝者」は幕末物三場で結局は最後のチャンバラへ行く劍戟物で觀衆も御馴染の和洋管絃樂の伴奏による立廻りに大喜びでテーマがどうのこうのさいふよりはチャンバラの興味で遠山は澤正張りの臺詞で頑張つてゐる、Aの現代諷刺劇盜人は面白い喜劇の脚本で何時見ても笑はせる泥棒が這入つて夫婦圓滿さなり泥棒も改心するさいふ筋で元來が五郎畑の喜劇で少々理窟つぽいのもお客には却て受けやう。一番難しいのは泥棒である、よくやつてゐるが慾を言へば俳優に持味があればもつさ面白い。蝶六か五九郎の泥棒だつたらお客は完全に笑殺されるだらう。それよりも小春の細君をさる「武士さ藝者」の藝者よりズット良い味がある、この一幕はだん〳〵ツボが極つて來るほど受ける演し物である。餘談ではあるが、小劇場さいふ名前からして寧ろ菊池寛の「時の氏神」などを上演したらどんなものであらう。Cの「ピエロの夢」は小原小春の演し物で寸劇二つさ小春の舞踊二つの一風變つた樂劇さいつた風のもので唐人お吉も流行に棹さして喝采されるやう

春風の彼方へ　片岡千惠藏主演伊丹萬作監督作品で日活から櫻木京子さ瀨川路三郎が特別出演してゐる【大日活上映中】

勝館にゐたら須磨奴の命は助かつたゞらうに惜いことをした

春風の彼方へ

◆傳馬町の牢から出て來た三吉さ云ふ男の物語り。其の前身も判らなければ、其の後どうなつたかも判らない。只此の男が彼の生涯の中の最も苦境時代を如何なる態度で切り拔けて行つたか　さ云ふ物語りである。

◆此の映畫製作に先だつて作者伊丹萬作は「人間を慰める映畫」を作るのださ云つてゐる。人生の旅に疲れた人、人生の闘ひに傷いた人、人生の迷路に行き暮れた人、さう云ふ人々を慰さめる映畫を作るのださ云つてゐる。其の意味に於て筋は至つて簡單ではあるが、此の映畫は見る人々を甘い空想の中に引張り込んで行く事が出來やう。

◆千惠藏さ瀨川路三郎に、日活から櫻井京子が應援してゐる。ロケーションも空想的な場面にふさわしい所がよく選定してあつて非常に效果的である。馬鹿らしいさ云へば、さんでもなく馬鹿らしい映畫だ。が、餘りに疲れ過ぎてゐる現代人にさつては肩のこらぬ此の種の映畫の方がよいのかもしれぬ【大日活次週上映】

噂話

常盤座の初日、芝居の幕があくと階下のお客はカブリツキに殺到する珍風景▲二階はガラリさ客種が一變して座席は美しいさこが占領してゐる▲惡タレ連中は喜劇の「盜人」を觀て大喜び「一家總見して妻君を教育をやらう」▲一方モダマは「やらう」さ妙な具合に自分の事は棚にあけて張合ふ▲小春はまるで人止め役を買つて出たやうに「武士さ藝者」では近藤さま、お待ち下さいまし▲貴田さま、お待ち下さいまし、さ出て來る者を片端から引止め▲「盜人」で人もあらうに踊りかける泥棒をつかまへて、一寸お待ち下さい▲もつさ早く千

ラヂオ　大連 JQAK　九月五日

自午後三時五十分（野球連絡放送）內滿中等學校選拔野球大會

自午後七時

（三、四）子供時間

▲兒童科學講座（動物の音樂）大連神明高等女學校前田政次郎

▲獨唱（嚴もろ水）大連音樂學院本科松原靜

▲浪花節（後藤又兵衛）京山愛三

▲絃曲（富士太鼓）三絃富森大檢校同高木夫人、尺八辻泰正、同草崎主山

▲支那劇（坐宮盜令）連東俱樂部部員

▲職業紹介事項

ペーブメント

森永ベルトラインで招聘したマネキン南かほる孃がきのふからお目見得、今春連鎖商店街へマネキンが出演してからこれで二度である。が、矢張りマネキンの顔を見やうさいふ新し物食ひの大連人をひきつけてゐるらしい。物凄い人群りでマネキンを見るのは一苦勞である。が、街を漫歩してゐるさ、到るさころベルトラインの店頭にマネキンの招牌が眼につく飾窓にネオンサインを一番先につかつた浪速町の梅園の前で最初に見かけた時は

●●

梅園だけの立看板だと思つてすつかり感心した、誰の圖案か知らぬが一齊に同じものを多量生産でベルトラインらしいさころを見せたものと判つたが、派出な色彩で立看板さしては近來の傑作だらうマネキンを見ずさもこの華やかなマネキンの招聘が近代都市風景を描き出して漫歩の眼に色彩を投げかけてゐる。東京ではマネキンの尖端を行つてスタンド・ガールさいふのを警視廳に出願した者がある、それはいろ〳〵な意味で有名な女や美貌の若い女性をバーのスタンドに移動式に出してマネキンにしようさいふのである。今までも內地で時々やつた「夏川靜江孃今夜八時來店」さいつた風の宣傳を商賣化しようさしたさころに尖端味が溢れてゐたが、却下された……そしてマネキンは何處へ行くか……マネキンの人群りを見て僕はチラリと怪しからぬ犯罪未來史のコンビネーションを描いた。艶歌師さスリからマネキンさスリ時代へ……

第二十一回 滿日勝繼碁戰

（高本氏二回勝三回目）

二段 大鐵 義勇氏
四子 高本 吉郎氏

○八一ロ十三　●八二ロ十五
○八三ロ八　●八四ロ七
○八五ロ九　●八六チ五
○八七ニ三　●八八ホ四
○八九ソ七　●九〇ソ四
○九一ロ四　●九二ハ十八
○九三ル十三　●九四チ十六
○九五ト十六　●九六ロ十
○九七チ七　●九八ヌ五
○九九リ六　●一〇〇リ五

▲篠原四段講評　白八三は八七に副ふを本手さす、黑八六は八七に出で白若し（い）ならば黑（ろ）に打つて黑の方よし

—【五】—

輸組に仕入部設置 消費組合の援助を要望
滿鐵社員消費組合問題に對する 商議聯合會の對策案

…組合本來の機能を一層發揮せしむること…

滿洲輸入組合は日本商品の滿洲輸入増進と在滿邦商の振興とを目的として組織されたるものなるも其の現狀は組合員に對する仕入資金の貸付を主とせり、故に當初の目的に副はざるの如きは…仕入部を設け組合本來の機能を一層發揮せしむることが極めて緊急なり之が爲め若し運轉資金を必要とせば現在輸入組合の拂込出資額百三萬二千圓なるに其の貸付額二百九十萬圓內外なるに依り制限度に達するには尚約九十萬圓の餘裕あるを以て此の餘裕金中より內地仕入資金一ケ年分に對する三割を目標とし五回轉するものと見て金三十萬圓程度のものは組合の連帶責任に於て貸付を受くること困難ならざるべし

●滿鐵社員消費組合は輸入組合のために充分の便宜を圖り邦商の仕入に援助を與ふること●

滿鐵社員消費組合の仕入部を利用することは在滿邦商として利益なしとせず然れども消費組合は個々の商人より少量の商品の供給を依賴さるゝも其の煩に堪へざるべきを以て輸入組合は消費組合を利用する方有利なる場合は之れが仲介機關となり組合員の共同仕入を斡旋し消費組合は輸入組合のために充分の便宜を圖り之れに援助を與ふること

机上の空論 實効は疑はしい
賣れ殘りの危險あり 霍田大連輸組理事談

左記 [illegible]

右につき霍田大連輸入組合理事の忌憚なき批評を求むれば左の如く語る

これと同じやうな案は輸組聯合會でも大いに研究を重ねてみたことがあるが實行上に種々疑義があるので否決されるといつた工合で

理想案 としては結構だが實際問題としては殆ど實行不可能に近いものだと申上げるほかない、無論奥地には大連と著しく土地事情を異にしてゐるところもあるので自ら別箇の立場から考へられる必要もあらうが、大連としては大中の商人は固より商業者には一人としてかくの如き意見を有つてゐるものはなく全然實効のないものと見てゐる

なぜなら商人は多年の體驗により仕入先を選擇して永い間の取引關係を結んでゐるので俄にこの取引關係を變更することは難しい、殊に共同仕入品が

麥酒と か味の素とか單一化されたものなら兎もかく、市中商人の取扱品は多種多樣を極め仕入の巧拙は商人の死活問題であるから各店とも多年苦心して仕入の合理化に細心の注意を拂ふことにより獨特の特長を發揮すると共に爲替や相場の變動などにうまく處してゐるところに仕入の妙味がある次第である然るに仕入部の僅少な人達が百般の商品事情に通曉してうまく仕入れ得るかは甚だ疑はしく、恐らく從來より却つて割高につきはしないかと思ふ、こんなわけで折角仕入部を作つても果してどの位の

利用が あるかは甚だ悲觀的ならざるを得ず、利用者が少ければ經費も割高となり從つて當然品高となるのを免れない、次に仕入部では消費組合のやうに手持品を押つける譯にゆかぬので少からず賣殘品を生じて損失を負擔せねばならぬことになるのも見やすきところである、さもかく右のやうな理由で實行上には少からぬ支障を生じ易いので我々としては庚申會時代の苦い經驗もありこの案に贊同し兼れる、寧ろ我々が現在やつてゐるやうに先づ各組合內の同業者別に合同仕入を行ひ、これを漸次、各地輸入組合

聯合會 延ては消費組合との合同に及ぼすのが合理的でもあり、實際的でもあると思ふ、この案は一足飛びに基礎のない最高のものを作り上げやうとするところに机上空論的の氣味があるやうだ

營口の三燐寸
瑞典燐寸に對抗

【營口特電四日發】營口西堆子の燐寸工場三明、關東、甡々の三會社は瑞西燐寸工場の壓迫により七月以降休業中であつたが本月一日から中華全國火柴連合會を設け製造に着手すると共に共同販賣を計畫し奉天に本店を設け各主要地方に支店を設けて價格を一定して販賣を統一することゝし製造品の過剩なきよう步調を一にして販賣に努力することゝなつた

共益社上野氏獨立

久しく滿洲共益社の專務として大連の特産界及綿糸布界に活躍してゐた上野倫氏は今回同社を辭し、大阪丸紅商店の後援にて綿布貿易に從事する事になり山縣通加藤第二ビルヂングに事務所を設置し本月一日開店した、又滿洲共益社では上野氏の後に西澤源次郎氏が代表者となつた

支那側株主が 金福重役を支持
極力留任を希望し 信任決議文を送附

金福鐵路公司は先月十四日東京に於て昭和四年度決算の繼續總會を開催し滿鐵副社長より滿鐵並に關東廳に對し補助金の下附につき嘆願したるも遂に容れないことになつた詳細なる顚末を報告して株主の諒解を求め辛うじて無配當案を可決した然るに席上一部株主中より開業三年にして無配當となつたことに對し重役の責任を追窮されたので重役一同は事業不振の責を負ひ總辭職に決定したる旨傳へられるや同鐵路の支那側大株主安承生氏部愼亭氏等が發起となり吾々は現重役を信任して株主となつたものであり今更事業の不振を理由として現重役の更迭をなすは不當である旨の決議をなし支那人株主は一致協力して滿鐵副社長外重役を支持することゝなり九日東京に開かれる臨時總會に間に合ふよう各株主の調印を求めつゝあるが明五日の飛行便にて右決議文を送る筈であると

ハルビンの巨商 枕を並べて倒產
先月中だけで數十軒

【ハルビン特電四日發】百萬餘の資金を運用してゐた靑物魚類商萬泰店の倒產を筆頭に八月中にだけるハルビンの大小華商倒產者は數十軒の多きに達し、十萬元以上の資本金を有するもの相當あり近年にない慘狀である、埠頭區にては東興久、双興盛、振豐同、三友鉎織の中堅が枕を並べて倒れた

七月中の 輸送狀況
成績振はず

七月中に於ける滿鐵線の輸送狀況は左の通りである

●貨物持込發送狀況●

貨物持込發送狀況は打續く銀價暴落が本月に入り多少見直したので大豆並豆油も七月下旬北歐地方の凶作及米國の大旱魃に因る不作豫想の報傳へられるや、歐洲向買氣稍活況を呈し、幾分輸出商談の成立を見たのと、朝鮮白粟及び日本內地向雜穀種子並に營口發奥地向官鹽或は臺灣向耳附豆粕等の荷動きも引續き強調であつた、然し時恰も滿洲の雨期に直面して屢々降雨に遭遇し殊に夏枯閑散季に入りたるのみならず前年に見たやうな東支南行の異常な活況振とは到底比較し得ない狀態で持込及發送共前年同期に比し著しき減退を示した、卽ち一般貨物の一日平均持込數量は上旬七、九二〇瓩噸、中旬七、〇七三瓩噸、下旬八、四四六瓩噸にして下旬稍好轉したが月間七、八三三瓩噸を算し前年同期に比し三〇%の減少を來した販賣部託送石炭にありては撫順山元積出車數が一日平均五二九車にして前年同期に比し一一%一〇四、二一九瓩噸を減じた、その他社內貨物の持込數量は一日平均上旬二三、七三七瓩噸、中旬二一、二二七瓩噸、下旬二一、八六三瓩噸、月間二二、二六六瓩噸にして前年同期の二四、五六〇瓩噸に比し九%二、二九七瓩噸〇を減じた

●他線發狀況●

金福線は夏凋減少の狀勢にあつたが七月に入りて特に豪雨の被害あり、前年に比し七七%の減退を示し、瀋海線は前月に比し輸送數量半減せしも前年同期に比し尚優勢を示し三八九%の增加を示した、四洮線は打通線により輸送せられしものあるも概ね出廻り盡したるものゝ如く而も引續く水害により出廻頗る不振にして前年同期に比し約半減し、吉長線は銀安の影響に因り徑路變更を見しもの、或は吉敦線方面發の木材が建築熱の沈衰のため荷動き不振を極め殊に官憲の命によりその伐採を封鎖せられしが如く或は水害の影響等に因り出廻り意の如くならず前年並に前月に比し共に激減した東支線は北歐並に米國における農作物不作豫想を傳へられ一時歐洲向買氣商談に活氣を呈し、大豆、豆粕、木材等稍強調を眺め長春引受車數一日平均五八車を算したが東南行割合は東行六〇に對し南行四〇にして依然東行優勢を呈し前年に比し五七%の減少を示した、朝鮮線方面發にありては引續く財界の不況と銀安のため購買力の減退が一層濃厚となり發送上見るべきものなかつた

工業博物館巡り
珍奇なる蒙古包
精巧な瓦斯製造工場の模型 (D) ◇……滿蒙館を觀る

滿蒙館

滿蒙館は三館中最も特色のある陳列室で專ら滿蒙に於ける各種工業關係の資料を網羅してゐる、當館は地下室共に三階建で地下室には滿蒙の生活に必要なる暖房用具支那在來の珍しい農工業具の多數が蒐められてゐる、特に珍奇なものに移動式蒙古包の實物がある、蒙古包の外部は羊毛で造られた厚い毛氈で結び大さは直徑一丈五尺、高さ一丈で彼等蒙古人が適當な地を卜して居を定める時この包を建設すると僅か三十分間も要せず手輕に出來上ると云ふ、尚其他蒙古人の日常使用する色々な什器類、衣服類等が陳列されて參觀者に驚異の眼を見張らせてゐる

二階には南滿瓦斯會社の瓦斯製造工場の模型があり石炭(主に粉炭)をレトルトと稱する密閉器に入れ外部より之を熱する時は攝氏六百度乃至九百度に於て瓦斯を發生して後にはコークスが殘る、此のガスは黃色を帶び所謂粗製ガスであるから之を精製室に導き種々の不純物を取去つて精製する、精製ガスは一度ガス溜に蓄へ、それから市中に供給するが、その順序が此の模型によつて手に取る如く一目瞭然と理解することが出來る。

次にパノラマ式大繪畫と多數の標本とを集めた小野田セメント工場、鞍山製鐵所選鑛工場、撫順油母頁岩工場は目下模型の製作中であると云ふ事で、現在は大圖表で其製造工程を解說し、且つ實物標本を添へてあるから觀覽者は容易に是等の工場の神秘的操作を知ることが出來る、目下製作中の模型と云ふのは前に述べたやうに撫順油母頁岩工場及び硫安工場、同じく附屬蒸溜及パラフイン工場の模型及び撫順露天掘作業模型、鞍山貧鑛處理等で各其作業狀態をそのまゝ縮小して製作せらるゝもので何れも實物同樣運轉し得る精巧なものであるから之等の大模型陳列の曉には專門家と雖も現地に行かずしてこゝで充分研究が出來やう。

三階は始めに紹介した抽出式及壓搾式油房工場や硬化油工場や關東州鹽田の模型がある、其他農產加工品として陶器、硝子器、油脂類、窯業製品として陶器、硝子、特殊煉瓦等滿洲獨特の工業生產品の標本や見本が多數陳列されてゐる(寫眞=滿蒙館內の一部)

愛川村 水問題解決
(3)

本移民用地は全面積二百七十五町步中、水田六十五町步を開墾せしむる目的のもとに計畫し第一期(大正三年)灌漑設備として築造した貯水池は甲乙丙丁號及び新池一ケ所、計五ケ所にしてその外に自然湧出箇所が二ケ所あつた、然るに水源極めて不完全にして水量甚だ少く、灌漑し得るのは乙丙號兩貯水池にて七町步、新池並に自然湧出の二ケ所にて約八町步に過ぎなかつた、されば大正十三年に關東廳湧水技師等が實地調査を遂げたところ地下水利用鑿井工事の有望なるを認めたので第二期の二ケ年繼續事業として經費豫算九千圓を計上し、南新田の東方に掘拔井二ケ所を掘鑿し、五馬力電動機を以て揚水することにしたが水量頗る豐富で依然減水しない狀態である、又北新田の東方にも鑿井二ケ所並に井戶一ケ所を設け、これによりて丙號の中間に新設した貯水池に(三角池)に送水し灌漑する計畫であつたが湧出量少かつたので引續き舊貯水池卽ち乙丙號及新池等の掘鑿をも行ひ湧水量を著しく增加した、一方金州民政署では大正十四年春季以後豫算一萬二千圓を投じて電氣の供給工事を施行し動力供給により揚水し年々耕作面積の增加を可能ならしめてゐる、更に大正十五年及昭和二年に亘り耕地の擴張と湧水量の增加を圖るために豫算七千圓で乙丙號、新池並に三角池の掘鑿を行ひ湧出量の增加を圖つたところ何れも湧出量豐富にして尚數十町步を開墾するも灌漑水に不足を來さぬやうになり、かくて本村の水問題は全く解決され前途洋々たるものあるに至つた、各池の井水量及馬力數を示せば左の如し(括弧內はポンプ馬力)

乙號池二〇〇噸一時間(二〇馬力)△三角池一五〇(一五)△丙號池二五〇(二〇)△第一號池一〇〇(一〇)△沈井二號五〇(五)△上總掘掘拔井五〇(五)△沈井二號四〇(五)△南新池一〇〇(一〇)△水田中池三〇(三)△西新池一五(三)△南洗濯池三〇(三)

黃塵

◇…金福鐵道では昨年度決濟總會の繼續會において一部株主より開業三年にして無配の憂目に逢着した重役の責任を追求され九日臨時總會において重役の更迭を附議することになつた。

◇…ところが當地の華人側株主は安承生部愼亭氏等の大株主が主となり各華人側株主の連署をもつて重役更迭の反對決議を飛行便を以て組合宛送附するそうである。

◇…華人側が同社に投資したのは堀三之助氏を初め現重役を信賴したためであつて今更同氏等の更迭を迫るは本意でない飽くまで現重役を支持して社業の發達を期したいといふのである。

◇…鐵道事業の性質として開業二三年位で相當の業績を擧ぐることを期待するのが間違つてゐるまして現下の不況時においてをやだ。

◇…從來華人は會社經營に對して理解がないと評せられたものであるがこれでみると理解がないどころか不良會社の當事者に對して無理に蛸配を強要する株主の多い日本人より一層理解もあり堅實であるとも言へやう。

一品料理の元祖 われ等が『おきな』
繩のれん式小料理屋獨特の 持味を遺憾なく發揮

◇…**大連人** で御月や淺月のやうな一流料理店は知らなくとも吉野町八五にある一品料理の元祖「おきな」を知らぬものはあるまい、それほど「おきな」は大衆向きであり、ポピユラーであり、我等の「おきな」なんである、なにがこんなに「おきな黨」を作つたか、それはおきなが純粹な繩のれん式小料理屋の持味を申分なく發揮してゐる點において大連唯一のものだからだ、何でも一品十五錢均一でうまい料理をやゝこしく勿たいぶらずに手取早く簡易に味はゝせてくれるからだ

◇…**主人の** 柴田勝治さんは名人氣質で通つており、細君の春子さんも亦おやぢさんと同じ氣持でやつてゐるところに外の店で眞似の出來ぬこの店の特長がある料理のいゝのもおやぢさんが必ず自分で吟味して材料を買出し、自分で庖丁をとられば承知出來ぬからである、從つていくらすゝめられても支店も出されば、出前持もすることさすら頑として承知しない細君の方でも總てお客に料理を味つて貰くといふことのみを願つてゐるので至極サバくしたもので御世辭や御追從どころか、どちらがお客さんだか分らぬことさへある位だ、例へばお客の方であんまり醉つぱらへば喧しくいつてそれ以上飲ませなかつたり、チツプでも置くものがあれば「こんな譯の分らぬものは頂けません」とおつかけて行つても返すといつた鹽梅だ、また相手が誰だらうが掛けは一切斷つて現金制にしてゐるのもこの店の開業以來のしきたりになつてゐる

◇…**主人は** 兵庫縣の人、大阪や神戶の一流料理店で腕を磨き、一時は浦鹽で陸軍御用職人になつたこともあるがうまくゆかなかつた、大連に渡つたのが大正十二年、上陸當時タツタ二圓五十錢しかなかつたといふ工合で隨分苦心したものだ、昭和元年に大連の料理が濫法に高すぎ、簡易料理店がないところに目をつけて初めて一品十五錢の均一制を初めたのが見事圖に當つた譯だ、そして營業つぷりが先に述べたやうな有樣だからひいき筋は隨分多方面に亘つてゐる、滿鐵の高級社員から日給取り、職人、學生、藝者衆に至るまで甚だ多く、家族同伴なども誘へ向なので隨分多い、前の小日山理事なども折々足を運んだものだ、一昨年北京の動亂を暑ケ浦に避けてゐた芳澤公使の夫人の如きも誰に聞いたものか、餘程興がつたと見えて御飯食べに來たこともあり、こんな例はちよいくあるさうだ

市況(四日)

特產 人氣引立たず 豆油低落

今朝の定期は依然として先安見越しに人氣なく各品共に弱く大豆は寄高なりしも引け安く豆粕も又大豆安に伴ひて軟調を示し豆油は買氣薄に低落を辿り高粱も軟弱氣配に推移した

◇定期前場(銀建) ▲大豆(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	七四〇	七四〇	七三〇	七三〇
十月末	七二〇	七二〇	七一〇	七一〇
十一月末	七一〇	七一〇	七〇〇	七〇〇
十二月末	七〇〇	七〇〇	六九〇	六九〇
一月末	七〇〇	七〇〇	六九〇	六九〇

出來高 百五十六車

◇現物前場(銀建)

混保(袋込) 寄付 七四七〇 大引 七四一〇
大豆(裸物) 出來高 二十車
普通大豆 出來不申
豆粕 二四九〇 二四九〇 出來高 六千枚
豆油 二〇七〇 二〇七〇 出來高 六百箱
高粱 四二〇〇 四二〇〇 出來高 六車
包米 出來不申

定期喰合高(三日帳入)(前日對比 △印減)

品名	喰合高	前日對比
大豆	二三六二車	△三九車
高粱	八九一車	二五車
豆粕	一六一千枚	―枚
豆油	一二四五百箱	五百箱

商品 前場 麻袋は氣乘薄 綿糸は不變

●麻袋(同事) 產地前十六分の三高總四分の一高なるも爲替八分の一高と保合を入れ銀塊十六分の三安銀票低落と不氣乘のため氣配變らず見送る

●綿糸(變らず) 米棉卅五錢方引締り大阪三品市場は寄鼻小一圓高を示したが引は反落し而も地場は銀票安で華商側氣乘らず輸入屋の追蹤賣と手仕舞物で相手手合せが…

錢鈔 標金の軟弱に 鈔票強含

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は十六片十六分の七と(十六分の三安)先物十六片十六分の…孟買銀塊は四十七留比十六分の一と(十六分の一安)紐育は三十五仙二分の一…米支は三十九弗二分の一と(四分の一高)… 當市の銀價は強含

株式 內地株高く 當市變らず

…大新…鐘紡新三十錢高東京の新東短期の寄も三十錢高…

市場電報(五日)

銀塊及爲替

種別	相場
倫敦銀塊	十六片十六分七
同 先物	十六片十六分七
紐育銀塊	三十五仙二分一
孟買銀塊	四十七留比十六分一
スチール	一六九弗〇分〇
アナコンダ	四三弗十六分一
英米爲替	四弗八六仙八分五
米日爲替	四九弗二分一
米支爲替	三九弗四分一

棉花 ●米棉(換算五五錢高)

限月	相場
現物	一一仙四〇
十月	一一仙三一
十二月	一一仙四七
一月	一一仙五一
三月	一一仙五〇
五月	一一仙七〇
七月	一一仙八六

●印棉 ベンコール 一五三留比 ヴローチ 二〇九留比 オムラ 一七九留比

後場(不變) / 滿鐵株(稍安い) / 東京株式 / 大阪株式 / 安東株式 / 大阪期米 / 東京期米 / 仁川期米 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 神戶豆粕 / 橫濱生糸 / 印度麻袋 / 爲替相場(正午) / 正金

▲東京短期前場 二十七圓六十錢 ▲大阪現物仲値 ▲滿鐵舊株 五十五圓四十錢

[illegible]

特產

市場は依然として見越され買氣手控への形で一齊に軟調を辿つてゐる▲殊に豆油は輸出杜絕を眺めて人氣なく二十錢乃至三十三錢方の低落をみた▲八月末以來僅かに昇和だけが一千枚宛豆粕を生產してゐたが今日は各油房全休だ▲大連油房聯合會の存在が怪しくなつてきた▲時世時節とは言へ油房も有望に非ずして絕望か▲だが然し中の中西理事は之がため內地へ出張してゐるらしい▲我國の食糧問題と滿洲大豆と題して東京放送局でラヂオ放送をやるさうな▲そして東京の眞中での大豆の話は未曾有の事だらうと本人非常に得意の鼻をうごめかしてゐるさうか▲遙かに敬意を表して置く

錢鈔

海外材料の銀塊はロンドン十六分の三安、ニユーヨーク四分の一安、ボンベイ十六分の三高と材料區々の所現に先高を見越されてゐたが今朝の▲上海標金は昨後場では買物の出現に先高を見越されてゐたが今朝はボンベイ銀塊高を眺めて呆穏のあと伸び悩み四兩方の低落をみたので地場鈔票としては強含みを呈した▲佛領印度支那の爲替は五百萬ピアストルと言はれてゐる▲尙最近佛領印度支那の海防から倫敦に向け二百萬ピアストル銀が積出されたと傳へられる▲錢鈔の取引入組合から提出した信託の手數料半減問題は會社側の拒絕に依り結末がついたと觀られるのは心外だと▲更に協議の結果信託へ陳情書を提出した▲何等かの形で結末がつけられぬものかと言ふところであらう

株式

今朝大阪の寄は大新四十錢高、鐘紡新三十錢高東京の新東短期の寄も三十錢高を報じ當市の內地株も之れにつれてやゝ高くなつたが內地の引けはボンヤリを入れて結局平凡な市況であつた▲久しく實株の讓渡で市場の人氣を集らせた五品も買方に有力な肩替りが出來たらしくドシくと受株するので今度は株不足となり四錢の逆日步をつけてゐる▲これで景氣の良い折の逆日步ならば面白い場面を呈するところであらうが時節柄五品も單に縣り合つてゐるだけで依然として相場に妙味はない▲內地市況も崩れそうで崩れないかわりに反撥の力もなく相變らず小高下を繰返すに止まる於許材料薄の折柄動機待ちの形である

綿糸

米棉情報は空賣りの買埋と產地の天候幾分惡化の模樣あるため市況は取引も可成り活潑であり米棉は現物十ポイント先物十四五ポイント高を示した前日落したけ强戾した譯だ▲大阪三品は寄鼻各限一圓安となり結局引値と同事で一圓捌みの居腰を示したが引は一圓安であつた▲地場は鐵票の不冴えで華商氣乘薄の風で細りない場面であつた輸入商の追蹤賣りと利喰に相當の手合をみた▲けふの內に發表される滿の棉繰業會の八月中における生產高がどんな數字を示すかそれを氣にしてゐる相場振りであるが前月の意外な減產の反動で八月は豫想外に增產を示してゐるのではないかとみられてゐる

奥地市況(四日前場)

錢鈔 / 特產 / 手形交換(四日) / 鮮銀(金勘定)

[illegible]

満洲日報

發行人 鈴木… 編輯人 山口… 印刷人 山下…
發行所 大連市… 株式會社満洲日報社

東亞經濟調査局編
菊版 四〇〇頁 定價金一圓 送料十二錢

★1930年版
満洲讀本

『先づ一本を手にして満蒙を展望せよ』

満洲に關する知識の平易なる説明書として出版された本書は昭和二年版を増補訂正し更に其の後の新事象一切を加へ全く一九三〇年にふさはしくなつた。學校、圖書館、會社、一般家庭に備附けは勿論、満洲土産としてこの位氣の利いたものはない。更に本書に依て満洲の正しい現況を故郷の父母、知己等へ知らせることもまた出身學校等へ寄贈して正しい満洲の姿を普及せしめることも、吾人の爲されねばならぬ最大急務であらう。

内容要目
◆満洲の展望 ◆満洲の支那人 ◆満洲の日本人 ◆産業界 ◆交通商業及貿易
◆關東州 ◆南満洲鐵道株式會社 ◆満洲の主要都市 ◆満洲の對外關係

各地書店にも販賣
發賣所 中日文化協會 大連市紀伊町 電話三八〇五
大阪屋號書店 大連市浪速町 電話五一八八

鑛業に關する總ての御相談に應じます
大連市兒玉町四番地 電話六五四四番
八丁鑛業所

製品〔鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號裝置 鐵橋鐵桁、鐵骨家屋、豆油容器、煖爐類
要目〔汽罐、汽機煙突、各種機械類、設計、製造、据付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並眞鍮鑄物、酸素瓦斯

株式會社
大連機械製作所
本店 大連市沙河口臺山町 電話(代表共通番號)九一五一番 (夜間及長距離)九一五三番
支店並分工場 奉天西塔大街三丁目 電話二二〇三番

建築・設計・監督 構造・計算・鑑定
宗像建築事務所
大連市連鎖商店街広小路
工學士 宗像主一
電話三四九五番

西洋家具・室内裝飾 設計製作・織物敷物 窓掛壁紙・リノリユーム 裝飾材料・其他色々
品川洋行
大連市敷島町三番地 電話六四五〇番 振替大連三一九五〇番

大連工業株式會社
專賣特許 耐寒防水覆布
各種テント
學生服
雨合羽
洋服・家具・室内裝飾
大連市橋立町二 電話 八三二一 八四一一 八二六一 一六四 (?)

蜂ブドー酒

如何な榮養でも 攝取されたそれが吸收不充分だとしたら これほど生理的徒勞はありません
毎食前食後 蜂ブドー酒の一杯は あゝ美味しかつた の外に榮養の吸收を容易ならしむる絶大な力を發揮いたします

「食間の一杯は血を增し肉を肥す」

東京 大阪 近藤利兵衛商店

小兒科專門
今井醫院
大連紀伊町二七 電話六〇五〇番

自動車 自動車用品 赤貝揮發油 モビール油 タイヤー 吹付ラッカー塗裝
大連市若狹町三番地
泰昌洋行
稻垣幸次郎
電話四二一〇七二番 振替大連四八八五番

病弱に惱む人 健康を望む人 等しく此松葉製
モントゾン温浴劑の愛用者なり
本浴劑は新鮮なるオゾンと多量の酸素を發散し松葉の清香は一浴心身を爽快ならしめ健康を增
總代理店 大連市二葉町十五番地 合資會社 米倉啓介商店 電話二一四七〇番

墺國リヒ・クリンガー會社製
クリンゲリツトジヨインチンク
クリンガーゲージ(水準計)
クリンガーゲージグラス(水準計用硝子)
入荷在庫豐富 多少に拘らず御用命を願ひます
總代理店 東京文化貿易商社
杉元商店
大連市榮町一五 電話四三八八七・五七九八番

大連市西廣場西入る電車通
池田小兒科專門醫院
池田嘉一郎
電話六三六五番

品質優良
白米
多少に拘らず御用命願上ます
大連市若狹町
米穀商 志摩洋行
電話四三二四六九番

大連市連鎖商店街不二通 電話二二一九七番
萬泉刃物店
大連市浪速町二丁目 電話三〇四五番 振替大連三二〇六番

大連市三河町二番地
日下歯科醫院
電話三三六七番

最新刊

杉本文雄著 満洲とはどんな處か 賣價一圓五十七錢送料八錢
岩瀬又吉著 肺病征服記 賣價一圓五十七錢送料八錢
渋洋社著 石燈籠集 賣價一圓十五錢送料六錢
三省堂編 新鐵道地圖 賣價四十五錢送料四錢
速水不染著 貧死のどん底から家主となるまで 賣價一圓五錢送料十錢
トロツキイ著 青野季吉譯 自己暴露 賣價一圓八十九錢送料十四錢
高橋立身著 子ども國史 神代の日本 賣價八十四錢送料六錢
西山順平著 姉と弟 賣價八十四錢送料六錢
荻原井泉水著 奥の細道を尋ねて 賣價一圓八十九錢送料十錢
谷譲次譯 猶太人(ジユス) 賣價一圓五十七錢送料十二錢
和田六瀬子著 財界は脈打つ 賣價一圓八十九錢送料十錢
小泉鐵著 性的解放時代 賣價一圓二十六錢送料八錢
戸田一外著 船醫風景 賣價二圓十錢送料十二錢
佐野學著 社會史研究 賣價一圓五十七錢送料十錢
今和吉田著 モデルノロヂオ 賣價三圓九十九錢送料二十錢
眞山青果著 戯曲 江藤新平 賣價一圓二十六錢送料八錢
駒井卓著 生物學叢話 賣價二圓六十二錢送料十二錢

大阪屋號書店

最新刊

田中貢太郎著 旋風時代 賣價二圓十錢送料十二錢
養井林鐵著 此の人を見よ 賣價八十錢送料四錢
秋山昌男著 満蒙事情十六講 賣價一圓五十錢送料八錢
難波勝治著 新天地を求めて 賣價二圓五十錢送料八錢
井上市太著 五人の夫と私 賣價一圓五十七錢送料八錢
池田林儀著 新興ドイツ魂 賣價二圓十錢送料十錢
木村小舟著 奈良の巻 賣價一圓六十八錢送料十二錢
齋藤茂吉著 随筆念珠集 賣價二圓十錢送料十錢
東亞經濟調査局著 満洲讀本 賣價一圓送料十二錢
前田美稲著 豫算の知識 賣價一圓五十七錢送料十錢
青山正夫著 性慾生活の合理化 賣價一圓二十六錢送料八錢
北原鐵雄著 世界の王者は誰ぞ 賣價一圓五十七錢送料八錢
満洲日報社著 満蒙日本人紳士録 賣價一圓八十錢送料十八錢
山本条太郎著 經濟國策の提唱 賣價五十二錢送料六錢
佃田民樹著 眞理の春 賣價一圓五十七錢送料十錢
守田有秋著 變態性慾話 賣價一圓五十七錢送料八錢
飯塚啓著 日本動物圖鑑 賣價十五圓七十五錢送料六十五錢
牧野富太郎著 日本植物圖鑑 賣價十四圓五十九錢送五十五錢

満書堂書籍部

家庭・學藝

日本語とローマ字（一）
……ヨシタケ氏の再考を乞ふ……

久留島種治

八月十四日から六日間本紙に連載されたヨシタケ氏のローマ字反對論は近頃稀に見る大論文であるが氏の議論中に私の同意し兼ねる點が少くないので順を追ふて私見を述べ氏の教へを仰ぎたいと思ふ

氏は「外國から借りた文字は國語を寫すのに不都合を生じるものだ」と言つて我國に於ける漢字の例を擧げローマ字採用が根本から誤つて居る樣に言つて居られるが之は文字としての價値の著るしく異つて居る漢字とローマ字を同等に扱つた爲に生じた大きな謬論である。漢字が日本語に不適當なのは夫が支那で發達した表語文字であるからで、外國で發達した音標文字では國語を都合よく寫す事は出來ないが單音文字でなら假名以上に都合よく國語を寫す事が出來るものである。

次に氏は「ローマ字には根本的に觀て文字の理想に合致しない點が六つある」と言つて居られるが夫れは何れも理想の文字が具へるべき條件の中でも極めて輕微なもののばかりで有るから全然問題ではない。而もよく調べて見るとカナも其の理想には殆ど合つて居ないそれを順次説明して行かう。

一、字母の呼名

文字は言葉を寫す爲の道具であつて字母の一ツ一ツを取出して使ふ事は文字の主な使途ではない。從つて其の第二義的の使途に必要な字母の呼名は然り方程重要なものではない。カナも地理的、歴史的に色々呼名のある事はローマ字と同じである

二、字母の呼名と發音

字母の呼名が重要なものでない以上之も亦第二義的の問題に過ぎない。假名にも呼名と發音の一致しないものが相當あることは假名遣ひを見れば直分る、字母の呼名を世界的に統一する事は得る所が少くて失ふ所が多い、日本式の呼名は英語等のよりも世界的である

三、一字一音主義

一字一音は文字としての最高又は絶對の條件ではないが日本式ローマ字は氏の要求せられる程度でなら此の主義に適つてゐる。正字法の理想から言へば言葉を與へて文字が、文字を見て言葉が一義的に且簡單に定まれば十分である

四、大文字と小文字

大文字と小文字の間には親子以上の密接な關係があるからローマ字は二十六の家族に纏める事が出來る。故にカナとの比較には四八對二六として差支ない。カナも濁音其他を合せると八十以上になる。大文字から小文字が出たのは漢字からカナが出たのと良く似て居る。カナは漢字よりもはるかに進んだ文字だのに今尚獨立出來ないで「歴史的文化の殘骸」である漢字にまぜて使はれて居るのは何故だらう

カナに大文字を作らうとして隨分苦心して居る人がある。欲しくても無いのと、使ひたくなければ使はなければ濟むのとどちらが惠まれて居るだらう

五、筆記體と印刷體

今日でもカナ論者の署名等には一寸想像もつきかねる程印刷體とかけはなれたのが有る。將來カナに筆記體が出來ない等とどうして斷言出來やう？

六、文字と數字の共通

外國語では數字はコトバと離すのが文法的であるが日本語では數詞に助數詞を添えたものを一纏めに書くのが正しい。但しカナやローマ字は數字に續けて書くと體裁が惡いから其の間にツナギを入れるか或は全く離すのが良い（田丸博士著「ローマ字文の研究」一五五頁參照）

レントゲン線の話（一）

ＴＭ生

近代醫學に於けるレントゲン學の普及發達は實に著るしいもので孤期時代の事を考へて見ると實に隔世の感がありますにも拘らず世の中には今尚レントゲン線とＸ線とは異つた線だと思つてたり銃丸や針釘の類が身體内に入つた時とか銀貨や銅貨なのみこんだ時とか骨折脱臼の檢査をする時などにだけ必要なものゝ樣に思つてゐる無關心な人達があつたり、或は又レントゲン線を無暗に危險なものゝ樣に思つたり、一度でも身體にかゝると子供が出來なくなると恐れてゐる人達のあることは遺憾に思はれますからレントゲン線とは如何なるもので現代に於ての實際醫學の診療に當り如何樣にそれが利用されてゐるかを極通俗的に述べて見たいと思ひます

一、Ｘ線の發見

ドイツウルツブルグ大學の物理學教授であつたウヰルヘルム、コンラード、レントゲン先生が眞空管内の放電現象に就て研究中眞空管を黒紙で包み何等光線がもれない樣にしておいたに拘らず約三米突も距つた青化白金バリウムを塗つた板が輝いたのに氣付き眞空管から一種不可思議なる放射線が出るものと考へ未知の線即ちＸ線と名付けて一八九五年吾國の明治二十八年にドイツの物理學協會の席上で此の偉大なる發見を公にされたのであります

當時は恐らく先生自身も後世に於てそれがかくも有益な線にならうとは思つてゐられなかつたらうと云ふ事です、そして其翌年から學會では榮譽ある氏の名を冠して「レントゲン線」と稱することになり先生の偉業を永劫に記念することになつたのであります、故にＸ光線もレントゲン線も同じでありますが英、米、佛ではエックス線と稱へ吾國ではレントゲン線と多く呼ばれてゐます

因にレントゲン先生はこの發見をなされたのが實に五十歳の時で一九〇一年には物理のノーベル賞を貰はれ、自然科學のために一身を捧げ專心研究に從事された眞の大學者でありましたそして一九二三年（大正十二年）七十九歳の高齢を以て不滅の名を世界に殘して獨逸ミユンヘン市で永眠されました【寫眞はレントゲン氏】

釣つた／＼大きな魚

魚もこんな大きな奴を釣り上げたらさぞ痛快であらう、これは米國の某アマチア釣魚家がアメリカ近海で釣つたカヂキトホシ（旗魚）である、此の魚は主として大西洋の温暖な地方に住み夏になるとアメリカの海岸に近づいて來るが冬になるとどこともなく姿を消してしまふ、太平洋には滅多に姿を見せないから我々には見られないわけだ、此のカジキトホシは嘴の長い魚の一種でサーベルのやうに鋭い嘴を持つてゐるところからスオードフイツシユの名がある、此魚に取つては此の嘴が唯一の武器だ、そして其の大きな鰭と新月狀をした強力な尾鰭とは此魚に素晴らしい游泳力とスピードとを與へてゐる、そして其の強大な力は優に小蒸汽を引つ張り廻すといふから實に驚いたものである、大さは普通七フイート位、目方は三十五ポンドもあるさうである

私――と 老虎灘街道（下）
……十九年前の思ひ出……

千隈次郎

老虎灘に行く路は、今の桃源臺一派出所の前から左に折れ、嶺前小學校の裏の、川に沿ふた路のもう一ツ東の嶺の下を其根に沿ふて、今の平和臺の邊で、鐵出の端に出て電車通りのもつと西を通つて汐見橋に通じて居たのであつた。

傅家庄街道と老虎灘街道との分れ路の、股になつた間に、即ち今新築中の滿日ガラーヂの邊から桃源橋位までの處に、大分廣い畑地があつて、滿鐵の電鐵運轉計畫は此畑の中に電車軌條を敷設する事になつておつて、此處に線路用地を買收する事が私の任務の大部分であつた。

由來此畑地は、今でも嶺前小學校の北に殘つて居る部落と、傅家庄街道の入口に殘つて居る部落……李家屯といふ村の村民の所有地であるから、私はまづ村長を訪れて、線路用地買上の相談を持ちかけた處、表面大贊成の樣な顏をしながら、裏へ廻つて村民と色々な策動をして居るらしく、中々話が纏まらない。

そこで私は村長を通じて、十五六人の地主に畑の中に集合を命じ三日間腹の虫を殺して、丹念に彼等に利害關係を説き、第四日目に至つて初めて「賣りませう」といふ聲を聞いて、大安心をした。此時分滿日紙上に「滿鐵地方課員千隈氏李家屯村民に毆打さる」等と記事が出た事はご左樣に厄介な交渉であつた、その説教をした地點は今傅家庄街道馬鐵出張所のある處であつた。

それから話はトン／＼拍子に進んで、支那人關係の土地買收は成功裡に終りを告げたが、次に日本人の農場用地を少し買つて貰ふ事となり、支那人におどかされたあとでもあり、先方が六つかしい事を云ひはすまいかとビク／＼もので、グチヤつく濕地を飛び越えて臥龍臺の下あたりにあつた名は忘れたが或る農場に行つて恐る／＼切り出すと、髭の生えた頭の恐ろしい顏をした日本人が應對して「さういふ公共の事業にならば土地はいくらでもよろこんで出します」といはれて、全く日本人は氣前がいゝなと思つて心から感謝せずにはおられなかつた、その氣前のよかつた日本人は先年亡くなられた土屋統三郎氏その人であつたといふ事があとで知つた。

其農場から歸り道、畑を通つて李家屯に出る可く西に向つて行くと、一流の小川があつて、兩岸には草が青々と生ひ茂り、澄切つた水が潺々と流れて居る、其小川の上は青々とした山につゞいて居つて何とも云へない風景であつた「此處に別莊でも造つて、悠々自適したならば」などゝ考へた事があつた。その山が今の鳴鶴臺で、その下を流れてゐる小川は姿こそ現代的になつておれ、水の量こそ減つておれ、依然昔のその小川なのである。

今私は十九年前に、支那人と電車線路用地買賣の交渉をした傅家庄街道の分岐點近くに居を卜し、十九年前に「別莊でも造つたら」と思つた鳴鶴臺に、別莊ならぬ貧弱な住宅を建築中であり、また曾て自分が一寸でもタッチした因縁のある、老虎灘線の電車を日々利用しつゝある事は、偶然とも思はれぬ偶然として、老虎灘街道のスピード的發展に驚くと同時に、私と老虎灘街道との間に、何等か因縁の淺からざるものある事を感ずるのである（寫眞は現在の老虎灘街道）

干渉と教化
……四……

太郎のお友達に美しい繪のはいつたご本や雜誌を澤山買つて貰つてゐる者があつたので、學校のご本ばかり讀んで飽いでゐた太郎は、或る日それを一冊借りて歸つて大變面白がつて讀んでゐるとお母さんからひどく叱られた。

「そんなご本を讀んでゐる暇があつたら學校のご本を讀みなさい、馬鹿な子供だ、そんなご本がいくら上手に讀めたつて學校の先生は甲はくれませんよ」

三吉は或日、自轉車のハンドルの所に綺麗な花輪をつけて走つてゐるのを見た、それは葬儀屋の小僧だつたが三吉には大變美しく偉さうに見えた。三吉は早速近所の家の庭に這入つて綺麗に咲いたダリヤの花をむしり取つて自分の自轉車のハンドルにくゝり附け得意になつて近所を乘廻した。お母さんはそれを見て別に叱らうともしなかつた。

夜を怖れる子供への教訓
夜の神祕（三）

ルイズハスチングス　春路譯

「お父さん、ごらんなさい、虫が飛んでゐますよ、あんなに速く飛んでゐる虫でもヒキガヘルは捕るのですか」

「さうだ、それはまるで魔法使ひのやうだ」

「ヒキガヘルはどうしてピヨンピヨン飛ばないの？」

アーサーは第二の質問を放ちました、今夜はお母さんが口を出して

「それはね、ピヨン／＼はねれば虫がみんな逃げてしまふからです、虫が逃げれば御馳走がなくなつてしまひます、わかつたでせう、此のヒキガヘルは私達のお友達で、美しい夜の神祕の一つです、私達がこんなに遅く散歩に出たのはおまへにこんな神祕を見せてあげやうと思つたからです」

「さうでしたか、私はそんなことは知らないでゐました、だけどお母さん、ヒキガヘルなんかちつとも美しくないぢやありませんか」アーサーは少し不平でした、

「美しくないつて？何あに美しくないことがあるものか、お前はヒキガヘルを醜いもの、いやらしいものと思つてゐるかも知れないがヒキガヘルは私達のためには有益な動物なのだ、ヒキガヘルは夜になるとお庭の隅からノコ／＼這ひ出して來て人間に害を與へる小さな虫を捕つて食べてくれるのだ」お父さんは説明してきかせました、

お母さんはしつとりぬれた草の葉をながめながら

「さあ、もう遅いから歸つて寝ませう」

「お母さん、明日の朝は早く起きてお日樣の出ない中にこゝいらを散歩しませうね」

「それがいゝ、そしてヒキガヘルが後脚でノコ／＼歩きながらお家の穴の中に歸つてゆくのを見ませう」

三人は又手をつなぎ合つてホテルの方に歸りましたが、ホテル前のところでお父さんはアーサーに言ひました、

「どうだ、夜は面白いだらう、夜は私達の晝見られない、いろ／＼の不思議なものを見ることが出來るのだ」

「ほんとに夜は面白いものだ」

アーサーは夜に對する興味を晩はじめて知ることが出來ました（をはり）

旅順

衛戍射撃會期日
十月下旬聯隊射撃場に決定

旅順における本年度の衛戍射撃會は十月下旬歩兵第九聯隊の秋季演習終了後、老頭山麓の聯隊射撃場にて開催の豫定なりと

衝突は不可抗力

三日午前十一時三十分旅順管内郭家屯部落で自轉車に乘つた支那人のため畑中に突入した滿電旅大バス事故は取調の結果、自動車はバンパを若干破壞せる位に止まつたか左足を骨折せられた支那人は山川柳居住旅順ドック工場職工韓貴仁（三）で原因は不可抗力と判明した

戰蹟保存團
宿泊旅行に出發

旅順民政署管内學校聯合會、公私經濟緊縮委員會支部聯合會、在鄉軍人分會、市役所、商工聯修養團、教化聯合會、婦人會等の主催の椅子山案子山舊砲台戰蹟保存團は三日午後四時三十分昭和園前に集合いづれも輕裝水筒握り飯毛布等携帶の上出發した

衛戍講話會
十日偕行社にて

月例旅順衛戍講話會は來る十日午後三時より偕行社において開催、講話は關東軍司令部軍醫部家原二等軍醫正の「日露戰役攻圍軍の衛生機關に就て」で約二時間餘に亘ると

「壽」の新趣向
定食二圓で藝者附

料亭「壽」では今回「定食二圓」で客一名に對し酒二本と料理三品一時間だけ藝妓がお取持する事としたといふ、その客にも先づ此の定食を出すのだから從來のやうに食べもせぬ料理を無闇に持つて來ぬ事とあつさりと一時間の藝妓付も頗る安直で奇拔でもあり時代に應じた新案である

山本師團長
十七日來旅

新任第十六師團長山本鶴一中將は來る十七日九時五分着列車にて來旅直に關東軍司令部に到り申告のうへ白玉山に參拜各方面を歷訪し十八日歩兵第九聯隊の初度巡視を行ふ由

福知山軍人會代表
けふ來旅

福知山在鄉軍人代表二十名は鈴木少佐に引率され五日午前十時五十分旅順驛着、直に駐箚歩兵第九聯隊に赴き慰問し二十時二十分發列車にて退旅する由

傳染病發生

▲明治町一八 眞崎都多惠（三〇）は三日赤痢で療病院へ收容
▲同町三〇 工大傭人家族沼田誠（三ツ）同上
▲司馬二 軍人家族永野弘志（七ツ）同上

法院便り

三日旅順高等法院覆審部刑事部での詐欺犯末永キクエの公判は證人病氣不參で十月二十九日に延期▲銃砲火藥取締規則違反中田弘堂、丹羽藤治、橋本政雄、宮崎和市、龜岡平治の控訴公判は結審、次回開廷は十日▲賭博大羽豐治の公判は期日變更となり未定

市中の噂

旅順の石炭埠頭建設のため滿五ケ年間旅順に在住してゐた大連築港事務所旅順詰所員は愈……

黄金臺

關東廳高等官食堂では三日午後六時から青葉において西山土木部長、米内山民政署長の歡送迎及び……

◇岐阜師範專科三十一名本科六十名の鮮滿旅行團は來る二十五日九時五分旅順驛着列車で同校教諭松原、多田、野島、福手四氏引率の下に來旅、防長館、旅順ホテルに分宿、廿六日午前七時卅五分發大連に向ふ

◇國際琵琶の名手飯牟禮壽長師は二日午後四時半白玉山納骨祠で「水師營に於ける乃木將軍ステッセル將軍會見」の一曲を奉納演奏

◇旅順警察署保安係では三、四の兩日午前九時から綜軍練兵場で在旅の自動車檢査を行つた

◇旅順民政署では三日地方商工學務及び會計用度の場所替を行ひ從來兼務であつた牛田幾市氏の用度會計事務は用度主任に牛田氏會計主任に鈴木義雄氏就任した

く十一月までには全部引揚げると いふ▲機械建設に從事した者中國人を除いて二十名だから一家族四人平均として僅に八十名となり旅順に落した金がザッと廿萬圓だと▲北海道土木部長に榮轉した西山清氏の許へ三日東京神田橋旅館旨平館の名で鄭重な挨拶狀が屆いた一度も宿つた事のない旅館なのだから東京の新聞で辭令が發表されると共に拔目のないサービス振りを發揮したものらしい▲職員は此のイキだ在滿の職人諸君も此の心持で一躍、不況の颱風へ突貫ッ

營口

馬賊討伐に成功
人質三名を救ひ出し 馬諸共數千元を奪回

帶堆子蛙々火柴公司を襲つた賊團は一日午前三時頃現場を逃走して牛家屯に出て大官屯北舉河橋附近の蘆塘中に潛伏し、同日午前十時頃東方に移動を開始し田莊臺方面に向け出發したるが、同日午後二時頃その南方の一小部落において同地の常備隊兵と交戰し西北方に向け逃走した、拉致せられたる同公司の書記王子祥（三）は此交戰中に一彈を受け堤防から水濠中にころげ落ちたので賊は之に數彈を浴せ遺棄して逃走したるが、王は頰に一彈を蒙りしのみにて萬死に一生を得て逃げ歸つた、一方討伐隊の第二營々長張春霖の率ゆる三十餘名の一隊は同日拂曉田莊臺北方林家堡において匪賊の一團に遭遇し交戰の結果、人質二名及び七八千元を背負へる馬を捕獲し近來になき大勝利を得て引揚げた

大連直行列車廢止

營口驛午前六時發の大連直通列車は利用者少きため八月三十一日より廢止、本月一日から大石橋驛にて仕立つる列車に乘換ゆることに改正された

連長免官處分

綏軍警歩兵第一連長闞永泉は自己の警備區域内なる蛙々火柴公司に馬賊事件が突發したので免官處分に附せられた

安東

全滿野球大會は六日から三日間
驛前グラウンドにて

安東における全滿野球大會に對し正式に申込めるは奉天、鞍山、撫順、長春、四平街の五チームで五日午後二時から安東ホテルにおいて主將會議を開き組合せを決定して六日から三日間驛前グラウンドにて大會を行ふ事になつた

有名無實の花代値下
僞瞞との非難

安東料理屋組合は總會を開き藝妓線香代並にビール、酒の値下案を作製して二日安東署宛出願したが右に依ると從來の十五分一本四十錢を二十分一本五十錢として表面上一時間十錢の値下となつてゐるが、假に遊客が一時間五分乃至十分で歸れば端數の五分乃至十分も一本として計算されるので從來と同額の二圓となり實質的には何等値下げとなつてゐないので今回の値下は僞瞞だと非難されてゐる

多獅島の調査
十五日頃終了

多獅島築港の調査は引續き行はれてゐるが本月十五、六日までに一段落を告ぐべく、其の後は必要に應じて總督府當局において調査を行ふ筈

歸順馬賊逃亡

八月中旬通化縣で輯安縣の馬賊討伐隊に歸順した九山、北海以下二……

◇祭秋に爽か◇ 殘暑は烈しいが近年にない快晴の遼陽の秋祭・三日は式典も滯りなく嚴修され・市中には晴れやかなお祭氣分が漂つた【寫眞は神輿の渡御】

稔る秋 色榮ゆる果實
熊岳城農園巡り （四）
熊岳城支局 一記者

鷹野農園

◆…熊岳城驛の通過客は溫泉場に次いで農事試驗場農業實習所、それから大果樹園種苗商としての鷹野農園を第一に思ひ浮ばせる程まで、現代的實業家の新味を有する園主鷹野光雄氏は長野縣南佐久郡川上村梓山の産である、田舍には珍しい瀟洒たる事務所に腰を据え雇人の指圖に忙しく日々深頭してゐる氏は、實に無口で一見溫厚篤實、所謂名譽等は夢想だもしないやうであるが、自己の事業に對してこの位熱烈に自信を持ちこの位熱烈に猛進する人を見ない、實に熊岳城切つての奮鬪家であり、氏をして今日を成さしめたものは一つに此の絕えてたゆまない奮鬪努力に外ならぬ

◇…朝は夏冬通して未明に起き、他人が寢てゐる間に既に半日の仕事を終えて居る、氏は今や熊岳城に本園を有し、沙崗、普蘭店に分園總計百二十町歩を耕し其の植付本數實に三萬八千六百三十七本、十八年生乃至五年生にして現在年額五十萬貫、更に四五年を出づして結果を見るものを合すと優に八十萬貫乃至百萬貫を突破するといふ、其他沙崗に九町歩餘の桑園を有し養蠶を行ひ、普蘭店では三十二町歩餘の造林を行ひ松、櫟、白楊等種園等約五町歩がある、其の活動振は實に男性的で熊岳城における果樹園業者としての乘出しは最も新參だが其の營業政策に至つては氏の右に出づる者無しと評せられてゐる、氏は十七歲にして東京に出で、大成學館中學部を卒業し日露戰爭の眞最中、士官候補生に志願して體格檢査で落第し法律に河岸を變へて明大に入學したが、兩兄の出征のため郷里に歸農した、そして明治四十一年から大正二年までの滿鐵勤務が土の臭と趣味とを悟るに至らしめた

◆…遂莫、君が今日の成功を贏ち得るまでの失敗は決して一度や二度で無く、無口な氏は孜々として隱忍自重、能く此の艱難時代を切り拔けて來たが、斯うした中にも君の人物を見込んで世話を燒いてくれた人々の恩を頻りに感謝し滿鐵で地方事務に關係してゐたゝめ當時の經理係長たる現南滿電氣の横田多喜助君や、復州粘土の川上君、更に滿鐵厚問部長であつた故大藏案君、用度課長であつた故山本信君等からも陰に陽に受けた厚誼と激勵とは事業の續く限り忘れてはならぬ恩澤だと思つてゐます　と語つてゐる點にも君が平素の心懸を見ることができる

總監に要望事項
製鋼所設置、多獅島築港、……等々
數項を新義州で決定

兒玉政務總監は國境初度巡視の途次近く新義州に來る筈であるが、新義州においては總監の接見に際し提出すべき要望事項、陳情その他に就き公職者會を開き協議の結果左記要望事項其他を決定した

製鋼所設置、多獅島築港、國境拓殖敷設、飛行場設置、新義州驛構内擴張、郵便局電話機改裝府廳舍新築、法院廳舍新築、金融機關增設

西江氏病氣靜養

安東新報社編輯局長西江靖氏は去月二十日以來病臥靜養中であるが絕對安靜を必要とするため當分の間一切面會を謝絕してゐると

國境雜信

安東郵便局は九月一日から執務時間を午前九時より午後四時までと變更した、安東領事館、安東警察署も同樣

◇安東鐵道關係方面では十日より十二日間軟式野球大會を開催、出場チームは機關區、檢車區、保線區、國際、驛構内、驛貨物、驛の九チーム、試合方法はリーグ戰、井上驛長は優勝カップを寄贈した

◇一日十五時二十九分東林驛發混合列車が發車の際娘を見送りに乘込んでゐた寬甸縣新府面院洞李九相の母金氏（五二）が飛降りんとして轉落し列車に左腕骨を切斷され手當中

◇青年聯盟安東支部で增員の新幹事は富永是保氏が二日推薦就任

白米十俵寄附

安東管下三小學校の貧困兒童に對し市内市場通料亭由良ノ助主人木ノ瀨長次郎氏は白米を十俵寄贈方安東署に申出た

成績品展覽會　大和小學

……校では三日午前八時より同校講堂において暑中休暇の生徒成績品展覽會を開催した

製鋼所期成委員會

新義州製鋼所期成會實行委員會は三十一日午後一時商議會議室において開催、横江總理部主任より會計報告後一二協議事項を附議して散會した因に九月分の月番幹事は次の通り
多田榮吉、吉井弘、中込繕一、卓昌河、李熙緖

外人撮影禁止

此程永吉縣政府は吉林省政府の命令と稱し管内における外人の寫眞撮影を禁ずる旨各管下公安局に通達したと

瓦房店

復州縣との境界問題
圓滿に解決

關東州普蘭店管内と貔子窩管内とにおいて復州縣との境界爭ひありしが交涉の結果無事解決したので三日兩國關係官憲が當地朝陽樓において慰勞かた〴〵懇親會を開いた

面目を改めた瓦房店驛

瓦房店驛の内外修繕は春來大急ぎにて工事中なりしが電信室待合等も改善され、前面の公園と共に乘降客の感じもよく驛從事員の顏色も嘻々しく大いに面目を改めた

貔子窩

農業講習生來貔

熊岳城農業講習生二十三名は二日十一時四十分李家屯驛着列車にて藤井隆藏氏引率の下に同地大連農事會社農區を視察し貔子窩に一泊し三日朝自動車にて普蘭店經由歸途についた

支那人の轢死

二日午後二時半瓦房店着十六列車が王家南方里許の地點において住所氏名年齡不詳の支那人を轢殺した、本署より係官出張檢視を遂げたが覺悟の自殺らしく死體は支那官憲に引渡した

普蘭店

鳥居博士一行
ドルメンを調査

去る三十一日鳥居博士一行來普、直に亮甲店會のドルメン（石棚）の調査を行ふた、元來この石棚は往古の墳墓で土中に埋沒してゐたものが露出したらしく、三個基石に乘つて居る、上石は長さ約三間幅約十尺位の自然石だと

赤十字の施療
三百餘名に

日本赤十字社普蘭店委員支部にては去月二十七、二十八の兩日粉皮牆牛馬市場において本部より平原醫師出張施療に從事したが胃腸病眼病其他凡そ三百名に達した

山中局長入院

普蘭店郵便局長山中數雄氏は突然赤痢に罹り當地豐島病院に入院目下治療中だが豫後良好なりと

吉林

領事館執務時間變更

吉林總領事館においては九月一日より執務時間を午前九時より午後四時まで土曜日は正午迄とした

川柳の會發會

既報新たに生れた川柳會は會員十數名に達したので發會式を大西居にて擧げることになつた、當日は「路」「門」各三句づゝを持參されたいと入會者も大いに歡迎すると

新案吉林名物

吉林に何等の名物がないので當地に視察旅行者は不便を感じつゝあつたが、今度吉林驛食堂で吉林名産香味滋養菓子を案出し賣出す事になつた價格は一箱五十錢だと

二道河子に馬賊團
交戰して逃走

日韓倶合記念日當日吉敦線柳樹河を襲へる不逞團らしき一團は卅一日二道河子方面に現はれ策動中の情報に接し二道河子駐屯歩兵隊は……

金州

民政署軍捷つ
對大連土木軍庭球戰

一日午前九時三十分より民政署コートにおいて大連土木課對金州民政署の對抗庭球試合を開催、美技續出し見物人を熱狂せしめたが、土木課軍の奮戰功を奏せず惜敗した、スコア左の如し（第一回戰略）

第二回戰
土木課 民政署
室伏 家代岡 4-1 辰田 鹽田
金子 湯山 4-1 中原 楠美
黑江 中島 4-0 谷口 梅崎
神松 小松 4-1 戸田 藤井

第三回戰
後藤 楠美 4-2 辰田 鹽田
眞邊 高橋 4-1 中原 楠美
不戰 4 梅谷 梅崎
不戰 4 藤戸 藤井

今夜映寫會
小學校にて

今五日午後七時より關東廳種馬所主催で金州小學校において左記映寫會を開催す
東久邇宮殿下最近還乘會、軍馬補充部釧路三本木、白河支部軍馬育成狀況、各國軍馬ニュース、高等馬術、釧路冬氣放牧情緖、釧路軍馬育成狀況、（劇）愛馬の功名

八相

職業紹介所禮讃
楓町 KM生

私は幼時より諸方流轉の放浪者です、十六歲長崎市に造船所の一職工となりて以來、京都に、大阪に、或は東京に己が理想を追ふてさすらひ歩いた揚句この滿洲に辿り着いたものです、で、その都度あらゆる職業紹介所に飛びこんでかなり手數をかけた經驗を持つ―そんなに紹介所への場數を踏んだ人間としていふのですが、三大都市のどの職業紹介所よりも、又これまでに一番いゝと思つた長崎市のそれよりも大連市の紹介所は求職者に最も親切叮嚀、到れり盡せりだと思ひます、溫かみのある態度、淀みなき人情、それ等は職のあるなしを問はず求職者に朗な氣持を與へてくれるものです。
私が妹のことで接した石井盛一氏の如きはこの夏休みのある日、しかも午後休み中にも拘らず多大の便宜と御厚情とを與へて下さいました、身に泌みて忘れられない嬉しさの餘り感謝の意を表し、同時に同紹介所役員諸氏の御健康を祈ります。
終りに人をお求めになる方々もお互のためにこの優良な市社會館の職業紹介所を御利用あらんことを切望致します。
（記者）紹介所の方も結構だし「感謝」を忘れぬのも美しい心がけです

正當だが少々酷
兒玉町 F生

過日の「八相」欄に日本人と馬車腕車に費消する金高と……云々の記事を二三拜讀した、私はそれを云ふのでは無い。
私の家の前は、かなり急勾配な住宅地の入口と、同じ急な坂道との垂直交點になつて居る、心ある人は馬車でも腕車でも、大抵この坂の上か下で降りてやるが、或る種の人はこの僅に十五、六米の所を何分かの時間を費して、馬車腕車を家の前に橫着けさせれば、氣が濟まぬらしい、それが又かなり多數の人に見受けられる、恁うした場所、恁うした場合も他に幾つもあることゝ思ふ。
是は確に馬車賃を有效に使ふことである、だが或意味から云ふと人間の機械視、動物的酷使である私はそれを惡いとは云はない、當然金を出して乘つた車であるから然し思つたのである、勞銀であつても、代價であつても、餘りに有效に使ふと云ふことは無理を生じ、人情を抹殺するものださいふことを……。
（記者）なさけはお互に知りたいものです

投書歡迎
中傷を目的とするものは採らず
新聞行數五十行以内のこと

祝創刊二十五周年並に社屋新築記念

祝詞

惟ふに事物の隆興は相共に文敎思想の發達を促進して歇まざるべし之れ時の古今洋の東西を通じて咸其軌を一にする所畢竟ずる文明の進運は物質と文敎二ツながら缺くるなきを謂ふ驟つて我大連市が僅々過去廿有五星霜にして尙且今日の隆昌を臻せるを想起する時吾人はそが啻に歷代爲政者の功績のみに止まらず孜々營々として其建設を翼助せる大方市民諸賢の愛市的公共觀念と努力に俟つもの甚だ尠少ならざるを知り玆に衷心敬意を拂ふに躊躇せず殊に其が治政に商工業に文化に思想に報導に凡そ社會文明の基調を成す總ゆる一切のものに對し每に時代の尖端に立ちて侃諤の言論を吐露し以て人心の歸趨傾嚮を過らしむるなく市と齡を同ふして奮闘せる滿日紙の偉大なる功績を賞せざらんとするも能はざる所なりとす葢し斯感を深くするもの豈獨り吾人のみならんや而して吾等同紙今日の盛典を觀るに會して誠に快心に不堪冀くば今後一層自重自責以て我大連市の爲に貢獻せられんことを此機會に際り一言祝詞を呈す

九月四日

合資會社大連タクシー

大タク 合同壹周年記念

西部支店

中央營業所

南部營業所

（建築中）桃源臺支店

合同一週年の記念に方り大方各位に御禮を申上ます

我大タクは、舊大連タクシー及稻妻タクシーを打つて一丸としましたもので、來る九月七日は、早くも滿一ケ年の誕辰を閱することになりました。此間私共は大方各位の甚大なる御援助と御愛顧を深く〳〵感銘して須臾も忘るゝことが御座いませぬ。御蔭を以て業務は日に月に旺盛に、愈々堅實味を加へて行くばかりで御座います。私共は、常に果して何を以てすれば此御恩顧に酬ひ得らるゝかを懼れてをります。併し乍ら、些少たりとも大連交通界に意義ある奉仕をせんと焦慮して止まない我大タクの微衷を御諒察下さいまして、今後共陪舊の御引立と御指導を賜はるならば誠に幸とする所で御座います。

合同一週年を記念し

來る七日に御乘車下さいました皆樣へ聊かながら漏れなく粗品を差上げ度存じます

大タクの現在と將來

現在、我大タクは、山縣通りの本店以外に、常盤橋、中央營業所と春日町の兩營業所を初め、他の重要なる地點六ケ所に、支店及出張所を有してをります。是等の中

●大正通り及京町に在る沙河口各支店は、去る六月一日舊名沙河口タクシーを合同しましたもので

●若狹町に在ります第一タクシーは、同七月十日から其儘委任經營の形式を以て我大タクが營業を繼續してをります。次に

●山縣通り出張所は、昨今車庫の狹隘を感じてをりますので、最近適當の箇所へ移轉擴張を目論む豫定になつてをります。そして

●若松町支店は、既に夙くより同方面御華客樣の御希望もあり、旁一般御利用下さる御客樣の急激なる增加により、到底現在の狀態では往々輸送能力に澁滯を來たしますので、之れが一層の發展を企圖して豫て建築中の桃源臺營業所が、近々其竣成を告ぐるを待ち、新裝の上移轉開業の御披露をすることになつてをります。

右樣各方面とも異常の成蹟を擧げてをります。玆に再度御禮を申上げます。私共は此機を逸せず、獅子奮迅將來大連を自動車化するてう意氣込みを以て、眞實渾身の努力を傾注しつくして余す所がないので御座います。どうか私共の此熱意をも充分御くみ取り下さることを切望に堪へない次第で御座います。

大タクの電話

名稱	電話
本店	八五四六・五七七四
中央營業所	三八六八・八五一四
南部營業所	五二六三・三三五八
逢阪町支店	五五〇二・六五五七
山縣通支店	七八四一・八九三五
西部支店	九六〇一・九三二四
沙河口支店	九五一二・九五三六
若松町支店	四五一五
星ケ浦出張所	九一二一ノ二九
若狹町第一タクシー	八四一九・六九六四
旅順支店	五二三
工場	二一八八〇

合資會社 大連タクシー

海の唄 『四四』

仲木貞一作　林唯一畫

手紙のぬし（十六）

翌朝、和雄は遲く眼をさました。枕元に置いてある眼覺時計を見ると、もう十一時に間がなかつた。

「……今日は公休日だが、それでも餘り寢すぎて了つたものだ……」

恁う云ひながら、和雄は、まだ蒲團の中にぐづ〳〵してゐた。頭が痛くて、胸もさがムカ〳〵した。

手足が拔けてゆくかと思ふやうにだるかつた。それでも何時かの時のやうに、急に力が拔けて起ち上ることも出來ないのとは違つてゐることだけは、ぢつとしてゐても、和雄にはわかつた。

此の頃は、身體が次第に丈夫になつて來たやうに思つた。たゞ、また急にあんなリヨーマチスか何かの病氣が發しないやうにと希つてゐた。

……それだのに、ゆふべは遊びすぎて了つた……と思つた。

和雄は蒲團の中で、ゆふべ觀た木枯館あたりのレヴユー團の舞臺のさまから、月枝を主役にしたダンス、それからナンセンス・スケツチの一駒、それに歸途の自動車の中で月枝の態度、殊に月枝が和雄に强要した抱擁を、あんなにまでも嫌厭に避けたことに對する淡い悔ひのやうなものなどを、思ひ浮べて深い吐息を洩らした。

と、その時、表園の障子が、するすると開く音がした。和雄はちよつと眼を上げた。

「秋月さん！郵便ですよ……」

と、外で怒鳴つた。

ふと起き返りながら、和雄は郵便があるのに……それは書留小包でゞもあらうか……と思ひながら急いで出ていつた。

「昨夜も來たのですが……これで小包の方は三度目ですよ……」

郵便屋は、不平らしく云つて、一通の手紙さ、其處に可なり大きな小包とを、放り込んだ。

和雄は、郵便屋を返してから、それを見ると、小包は、大阪の京子からであつた。

はつとしたやうに、和雄は取り上げかけたその小包を、また落した。

「此の前に……何んな氣持ちで……何物を寄越したんだらう？……」

……暫くして、今度は其の手紙の方を觀た。

裏には何處とも名はなかつた。封筒も中身も、それは何時ぞや歳暮に來たこそのある妙な手紙と同じことであつた。

たゞ、替爲の金額が、五十圓だつたのが、三十圓に違つてゐるだけだつた。そして、

「……此頃は、日々御達者で御勤めのよし、嬉しく存じます。何卒この秋あたりには、貴方樣御苦心の處女作を、上野邊展覽の折に拜見いたしたいものです……」

と、いふ文句が書き添へてあつた。

和雄は、此の前の手紙も、爲替と一所に、そつと其のまゝにして置いた。一度、それを月枝に見付けられて、

「あら懸んなにお金持なのに、何故、使用つて了はないの？」

と、云はれたりした。

「僕は、此の手紙は或女が呉れたのかと思つてましたよ」

と、和雄が、ぢいつと月枝の顏を窺ぐるやうにして云つた時、

「秘ぢやないのよ……でも可いのよ。貴方は、さうやつて、ほうばうから後援者が出て來て……れ、これ一體、誰人なの？牛込だから消印が……」

と、云つて月枝は、ちよつと考へてゐたが、

「いゝのよ。なに心配なく使用つてお了ひなさいよ。大丈夫よ」

それでも、和雄はさうした得體の知れない人から、譯もなしに惠まれた金などは、つかふまいと思つて、今までそつて置いたのである。

だが、今の今まで得體の知れなかつた、その爲替も、誰から送つて來たかやうやくわかつた。

そして、再び追憶の惱みを、やるせなく繰返してみた。

新刊紹介

▲處生之道（野間清治著）　長に同じ著者が世に出した「體驗を語る」の續編とも觀らる可き修養處を訓話の數々を極めて實際に則して書かれ全部十九篇中就れも挿話を以て興味ある構成し、凡百の修養書の如く讀者をして砂利を噛む無味乾燥に泣かせる事はない、寢ころんで讀んで處生の妙諦を覺り得る好讀物である（定價廿錢東京本郷大日本雄辯會講談社發行）

▲和協（九月號）　政局と政局と共産匪（船橋牛山樓）消費の進むべき新らしき道（山本紀綱）滿鐵領有の正義人道性（永雄策郎）北滿見聞記（四氏）その他（定價廿五錢大連滿鐵社員會發行）

▲支那鑛業時報（第七十四號）　滿洲產石版印刷石に就いて（矢部茂、大形時男）その他（大連滿鐵地質調查所發行）

▲海友（九月號）　定價卅五錢大連寺內通三大連海務協會

▲土上（九月號）　定價二十五錢東京牛込若松町其社

▲國際知識（九月號）　支那共產軍と共將來（長岡克曉）反蔣政府と汪兆銘（鎭貫官巴）その他（定價四十錢東京丸の內國際聯盟協會）

▲科學知識（九月號）　船か人か帆船の大航海（小澤覺輔）風變りな飛行機のいろ〳〵（佐々木民部）その他（定價五十錢東京丸の內科學知識普及會）

▲濤行隊（創刊號）文藝雜誌（定價二十錢京城吉野町一地曳方朝鮮文藝聯盟）

▲經濟智識（九月號）　世界不況對策號、財界大學、經濟時事問題解說、實用經濟講座等の啓蒙的經濟記事の外特別記事として英米獨佛伊各國の不況對策の現勢を陳べてゐる（定價五十錢東京丸ビル內其社）

▲露領抄譯　日露協會報告第六十號（東京麴町日露協會）

▲農業世界（九月號）　定價四十錢東京博文館

▲實業之世界（九月號）　國民を塗炭の苦に陷れたる現內閣の欺瞞政治を痛擊すその他（定價三十錢東京芝其社）

電氣・一般マツサージ　乳もみ、鍼灸、熱氣、太陽燈光線療法　●適應症●顏面神經痲痺、小兒痲痺、上下肢痲痺、脚氣、中風症、關節炎筋強、直症、神經痛、ロイマチス、肩腰の痛、遺尿症、胃腸病カルエス、痰腫、乳はれ、乳ふそく　專賣特許●東京理學療院●創製

ラヂウム温灸治療器　販賣と治療　滿洲特約販賣元　大連市西公園町百五十三番地　玉橋保健治療院　電話三四四四番

通勤家政婦（家事一切・病人附添）一日一圓　身元確實迅速派遣　美濃町五七電話二一八六六　安信會

滿鮮一　寫眞機　ラヂオ　蓄音器　設備完備　部分品製作修理迅速　大連常盤橋勸西通角　トキワ精工舍　電話三三六四番

別府治淋薬　論より證據如何なる急性慢性でも藥也お試し下さい共効能の顯著なるは大連市監部通東神町角（胃腸障害なき名）代理店　天熱堂藥局電話三三七一九　大連市聖德街四丁目一二四　販賣店　大黑屋藥店　電話九八七四

汽車で汽船で御旅行の事は何でも御用命下さい　ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー　電話五五五四四七一三（大連市伊勢町角）

大連マツサージ院　若狹町一九二ノ二　電話二一六七〇番　療法施行　病後の恢復、熱性病の餘後、虛弱の人、小兒疾患、發育不全、婦人病諸症、醫療家の指導による、健康增進法　（男女研究生一、二名採用）

祝創刊二十五周年並に社屋新築記念

本邦文ライノタイプは活字組版が一行づゝ一個の塊となつて鑄造される植字機械でありまして本邦に於て殆んど不可能とされて居りました本機の發明は今や印刷界の革命として各方面より多大の御稱讃を博して居ります

改良と値下げで一般化されたる邦文モノタイプは新聞、雜誌、書籍等一般印刷物の活字鑄造と組版を自動的に處理する即ち鑄植機械です。又活字の自動鑄造兼用機としても最も便利な機械であります

大は初號より小は三ポイントに至る迄の活字又は込物の仕上げ迄人手を用ひず自由自在に而も極めて正確に鑄造出來る最も優秀なる自動鑄造機であります

邦文ライノタイプ

本機は今や十有六年の試錬を經て活社界の凡ゆる方面の事務に適應する實用的型式を生じ實用臺數十萬臺を突破する盛況を呈して居ります。殊に最新のCL型邦文タイプライターに至つては完全の極致として御愛用を蒙つて居ります

活字萬能鑄造機

邦文タイプライター

邦文モノタイプ

日本タイプライター株式會社

東京・大阪・大連・名古屋・京城・札幌・横濱

日本郵船出帆　●歐洲航路　靖國丸　九月五日　香港經由倫敦行　りまん丸　九月十日　基隆行

近海郵船大連出帆　●横濱行　辰武丸　九月七日　勝浦丸　九月十二日　●長崎神戸大阪横濱行　相模丸　九月十三日　●天津牛莊行　相模丸　九月六日　勝浦丸　九月十三日　●基隆高雄行　岩手丸　九月廿日

朝鮮郵船大連出帆　●青島仁川行　會寧丸　九月九日　●仁川、長崎、鹿兒島行　羅南丸　九月十二日　朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行　右汽車汽船出帆日時は天候其他の關係に依り變更することも有之候　水路圖誌「海圖」販賣所　キユーナード汽船會社　近海郵船株式會社大連代理店　朝鮮郵船株式會社大連代理店　船客業務代理店　日本郵船株式會社大連出張所　大連市山縣通電話　三七三九番　七八四六番　六七一二番　大連市臨部通吾妻橋　專屬客荷取扱店　丸二商會　電話四二六四・五八八八

大阪商船出帆　●門司、神戸、大阪行前十時出帆　はるびん丸　九月六日　うらる丸　九月九日　香港丸　九月十二日　ばいかる丸　九月十五日　●上海福州基隆高雄行　福建丸　九月九日　●後三時出帆　長沙丸　九月廿一日　盛京丸　十月十四日　●朝鮮經由長崎鹿兒島行　關東丸　九月十九日　●北米シヤトル、タコマ行（上海、神戸、四日市、横濱經由）　ぱりい丸　九月十四日　●紐育行（神戸、四日市、横濱經由）　關東丸　十月四日　船客御斷り　●歐洲行（上海、香港、新嘉坡經由）　船客御斷り　あらすか丸　十月一日　●天津行　河南丸　九月七日　天津沽濵江佛租界埠頭繫留　貴州丸　九月十四日　武昌丸　九月廿一日　●横濱直行　武昌丸　九月五日　河南丸　九月十二日　午後二時出帆　貴州丸（宇品寄港前十時出帆）九月十九日　大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番

●乘船切符發賣所　ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー大連伊勢町案內所（電五五五四）　同大山通出張所（電七〇三四）　同沙河口東亞洋行內（電九五〇六）　營口案內所（電三七六）　撫順案內所（電二五四八）　奉天案內所（電一九一四）　長春案內所（電一三九三）　哈爾賓案內所（電四七八八）　●乘船切符取次所　滿洲旅館協會　●信濃町遼東ホテル內電七五七四番　專屬荷扱所大連市山縣通　國際運輸株式會社大連支店　電話三一五一番　二ホーム荷扱所（電話四八〇二番）當社左記の店所にて荷物發送引受內地各港行連絡引換證發行致します　大營口、奉公主嶺、鐵嶺、開原、四平街、長春、吉林、哈爾賓其他

日清汽船大連出帆　●青島上海行　華山丸　九月五日　午前九時出帆　唐山丸　九月十二日　代理店　大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番　●專屬荷扱所（大連市山縣通）　國際運輸株式會社大連支店　電話三一五一番

阿波共同汽船　●威海衞青島行（第十六共同丸）九月五日後七時　●芝罘、仁川行（第廿六共同丸）九月六日後七時　●芝罘、威海衞、青島行（第卅六共同丸）九月七日後七時　●復州青島行　長山丸　滿鐵とは貨物連絡取扱致候　大連市山縣通二〇〇番地　阿波國共同汽船會社大連支店　電話六八九二・五〇〇一

島谷汽船大連出帆　●南鮮裏日本（鮮海丸　九月十一日　大成丸　九月廿四日）　寄港地　鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、新潟、函館、小樽、各等客室設備あり　●北海道樺太行　朝鮮裏日本　長成丸　十月四日　寄港地　鎭南浦、仁川、釜山、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、舟山、函館、小樽、大泊　各等船客設備あり　島谷汽船株式會社大連出張所　大連市山縣通一五三　代理店　大三商會　電話四七一一・八四三三

大連汽船出帆　●青島上海行　午前十一時　奉天丸　九月六日午前十一時　大連丸　九月九日午前十一時　長春丸　九月十三日午前十一時　●天津行　天津沽濵航　濟通丸　九月七日午前四時　天潮丸　九月十日午前四時　濟通丸　九月十三日午前四時　●登州府龍口行　龍平丸　九月五日　●香港廣東行　英順丸　九月七日　大連汽船株式會社　電話番號代表四一八五番　專屬荷取扱店（大連敷島町）　永和公司　電話七二七五・七八六八

阪神航路專屬荷扱店（大連須磨町）　澤山兄弟商會　電話長五二六五・四六八一　乘船切符發賣所（大連伊勢町）ジヤパンツーリスト・ビユーロー　電五五五四・四七一三

大連出帆　●芝罘行　命令定期大連芝罘線　福壽丸　九月五日　●安東行　命令定期大連龍口安東線　海壽丸　九月十日　代理店　松浦汽船株式會社　大連加賀町三〇　電六二一七・八三五一番

質屋の活躍　簡便なる金融機關　入質の場合は若狹屋へ！不用品の御處分に買受けます　貸出敏捷　保管確實　秘密嚴守　御要件の特色　大連三條通四五六　若狹屋質店　電話六六三四番

大連市三河町四　近藤病院　內科・小兒科　外科・花柳病　X光線科（病室完備入院應需）　院長　近藤寛次郎　電話五四六九番

內科專門　大連市浪速町四丁目（南側）　安富醫院　電話八五〇〇番

藥　小寺藥局

小兒科專門　醫學博士　金子甚藏　金子醫院　大連西通七八●電七六六一　中通電車停留場向側

滿洲日報
夕刊　九月四日
發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社

樞府が讓歩せぬ限り 正面衝突は避け難し
内閣の運命を賭しても戰はん
政府は飽迄強硬態度

【東京四日發電通】ロンドン條約樞府委員會に對し政府は濱口、幣原、財部三相、鈴木翰長、川崎法制局長官の協議においてその態度を決定した後同夜江木鐵相を招き諒解を求めた、即ち

一、樞府は政府に對して回訓案決定につき加藤前軍令部長の不同意を確認せしめんとするものであるが政府がこれを承認せば

二、濱口首相の特別議會における答辯を覆へし國民を欺罔する事となる

一、統帥權干犯を承認する結果を招來し政府の自滅となるので首相も茲に斷乎たる決意を以つて政府の態度は事態の推移如何に拘らず變更せず

この信念を固めこれがためには樞府との正面衝突も亦已むを得ず延いて内閣の運命に影響するとも覺悟の前であると最後の腹を固むるに至つた、從つて五日の第七回委員會は樞府側が何とか審議進展策を講ぜざる限り兩者の衝突は爆發するの外なしと見られる

今更樞府の意見に 政府は屈服し得ぬ
審議停頓止むを得す

【東京四日發電通】濱口、財部、幣原三相は樞府審査委員會後官邸において鈴木翰長、川崎法制局長官と共に今後の對策を研究したが樞府側は三日も統帥權問題につき質問を繼續したが河合顧問官としては兵力量決定に關する軍部の立場を將來の爲め確立し置かんとするに在ると共に樞府としては政府に非違の點ありしなと政府をして

確認 せしめんとするに在るは明かである、從つて政府が從來の答辯を替へぬ限り審理は停頓の恐れあるも事實問題として回訓案決定に際し憲法上何等非違ある事を認めぬ政府としてこの際審議進捗を圖る爲め加藤前部長の同意なかりしものなりと答辯を替へる事は斷じて不能である、又濱口海相事務管理の行動も質問の焦點となつてゐるが實際越權行爲なかりしは勿論部長との協議事項は常に協議決定してをり非難を受くべき點はない要するに樞府今日の態度は政府として不可解の點あるも次回更に質問あらばこの點につき納得の行く迄說明する外はない、只政府が樞府に屈して說を

變化 する事は不能であるから審議停頓も已むを得ぬ、斯くて豫算編成期迄に批准が間に合はなければ軍縮剩餘金使途は豫算とは別に考慮せねばならぬとの意見に一致を見た、斯く政府の態度強硬なる以上次回委員會の紛糾は極めて明瞭に豫測さるゝに至つた

拓務省新規事業
大連農事會社補助費の外 拓殖助成費を計上

【東京特電四日發】拓務省所管の一般會計豫算における新規要求は既報の通り財源不足の折柄省議において大部分を削減したが、そのうち滿洲關係の新規要求は大連農事會社に對する移民渡航補助費五千五百餘圓のほか拓殖事業助成費五萬餘圓を計上するに至つた、右助成費は關東廳豫算外における拓殖事業に對し本省よりこれを每年助成する計畫を立て明年度分二十餘萬圓を計上する豫定であつたが省議において削減され取りあへず約五萬圓だけ計上しこれを要求することになつたのである

張學良氏 益々健康
體重二貫目增加

【奉天特電四日發】張學良氏は歸奉後往訪の某要人に對し

七月以來モヒ注射を止め水泳その他の運動をつゞけた爲め二貫目から體重を加へ健康になつた時局について種々傳へられてゐるも絕對に關內のことに關係せぬ

と語つたと

豫算節約交涉開始
補充計畫、減稅を切離し

【東京四日發電通】ロンドン條約批准遲延の見込みをつけて政府は明年度豫算編成より條約批准關係の分卽ち海軍補充計畫と減稅問題を留保した儘編成を進めることゝなつたが大藏省は三日主計局議を開き右方針に基く豫算編成のプログラムを作成した、卽ち各省概算は三日に至るも依然として司法、拓務の二省が未提出の儘であるがこれが提出を待たず來る五日より既定經費節約案の作成を急ぐして各省との交涉を開始し十五日より各省新規要求の査定を行ひ來月十四日に大藏省豫算省議、續いて二十一日に豫算閣議を開いて明年度豫算編成を一應終了する方針を決定した、而して明年度豫算編成の最難關は一億二千萬圓といふ巨額の既定經費の節約であつて一億五千萬圓の歳入缺陷の辻褄を合せる爲めには右一億二千萬圓の節約は必須條件といふ外なく大藏省主計局は先づ來る五日より物件費四億圓の一割五分引節約、繼續費二億一千萬圓の三割繰延べを各省に分轄して各省泣き落しを爲し一方新規要求總額八千五百萬圓は鐚一文もこれを認めずとの原則をその儘適用して總撫斬にする方針である、なほ海軍補充計畫並に減稅實施問題はロンドン條約批准後でなければ手がつけられぬ關係に在るのでこれを一時留保し軍縮剩餘財源に相當する金額だけを一應歳入超過として計上の上明年度豫算を編成し批准終了後に具體案を作成財源の按分を行つて追加豫算に計上來議會に提出する事になるだらう

滿鐵各傍系會社は 經費一割を節約
何れも人員整理斷行

滿鐵傍系會社今次の整理は人事の整理異動と職制の改革に止め減俸還元は大體中止することゝなつた而して不況時に處する對策として滿鐵は各傍系會社に對し下半期經費に一割節約を命じた、これがため各傍系會社は重役會議を開き或は人件費、或は消耗品費、旅費其他の節約を圖ることゝなつたが經費節約の大部分は人事の整理を斷行するよりほかなく、老朽高級者の勇退、病弱者及成績不良といつた方面に整理の手を延ばすことになつた模樣である これと相前後して發表を見る筈

各社の整理人員
瓦斯會社のみ皆無

滿鐵傍系會社では國際運輸がその皮切りとして全社員七百名中四十九名卽ち七分を整理したが大汽、滿電、旅館、滿洲ドック、東亞土木等の各傍系會社もそれぞれ整理を行ふことになつてゐる、仄聞する所に大汽は三十名、滿電六十名見當と見られ瓦斯會社は事業の性質がデミだけにそれだけ常に緊縮方針を以て進み且つ高級者は次から次と當次事務の肝いりで榮轉せしめ今日では技術、事務を通じ本俸百五十圓以上の高級者は僅かに三名（本社一名、安東、長春各支店一名）に過ぎず一般社員も常に最少限度の定員を保持してゐる關係から今次の整理には一名の馘首者をも出さゞる模樣である

人員整理 發表期

各傍系會社首腦者は人事異動を出來るだけ早く發表すべく大連汽船では四日午前九時より社長室にて重役會議を開催し、また滿電では高橋支配人不在のため櫛田專務が四日午前九時から滿鐵本社を訪問種々打合せ午後歸社今井技師長と共に發表方法を協議した、兩社の發表は一兩日中で他の傍系會社も

黑省縣政府に 鑄印配布

【ハルビン特電四日發】省政府の下に各縣に縣政府を組織することは國民政府行政院の布令により決定し黑龍江省では行政院から左の四十縣に縣政府の鑄印を送付して來たので各縣に配付することになつた

龍口、大賚、拜泉、璦琿、呼蘭、綏化、海倫、巴彥、呼倫、室韋、奇乾、蘿北、呼瑪、漠河、肇州、訥河、青岡、蘭西、木蘭、慶城、望奎、龍鎭、肇東、嫩江、安達、泰來、林甸、通河、湯原、綏稜、通北、景生、明水、佑安、雅魯、佛山、綏濱、烏雲、奇克、鷗浦

私用の旅だから 何もお話は無い
けふの奉天丸で來連した 谷外務省課長の談

外務省亞細亞局第一課長谷正之氏

は上海方面を視察中であつたが四日入港の奉天丸で來連、治外法權撤廢問題その他對支問題の山積して居る折柄その動靜に對しては各方面より注目され、殊に同氏は奉天總領事後任說高く對滿問題にも重要な役割を有つてゐる、河相外事課長等に沖まで出迎へを受けたが甲板上刺を通すと白の背廣にパナマ帽の好い應待ぶり

自分は旅行が好きで今回まで何度となく支那に來た、丁度暑中休みがあつたのでこの機會に好きな船旅と思つて去月二十五日上海に着きあちらの空氣に浸つて來たもので

全く個人 としての旅行に過ぎない、隨つて今更治外法權撤廢に關して何等新らしいニュースを提供出來ない事を殘念に思つてゐる、又支那側とは少しも交涉がなかつたのでむしろ東京に居る時分の方が情報が入つた位でこれもお話する樣な事はない、全く好きな船旅ついでに親友の河相君が關東廳に勤めてから一度も會つてゐないから會ひに來たのだ、だから今度は別に關東廳に

用件とて はなくむしろ河相君に會へたら旅順なぞ行かなくても可い位だから六日出帆はるびん丸で歸るつもりで居る位だ、私の今度の旅行については各地で色々重要視されてゐるが何れも失望させて濟まないと思つてゐる位である

尙同氏は中谷警務局長岸本海關長等の出迎へを受け上陸ヤマトホテルに向つた

在滿各局窓口 現金受拂高

八月中全滿日本局所窓口現金受拂高は

受入 一五六、〇三二口 金額 三、七一四、五六五圓
拂出 四九、五四三口 金額 二、四〇〇、七五〇圓

で前年同期に比し受入において件數六、二七〇口減、金額にして九六、九五〇圓の減、拂出において件數一、四九六口減、金額にして五四、一八二圓の增加となつてゐるが受入金額の減少は爲替二四七、七〇〇圓、郵便貯金八七、六二四圓、振替貯金二七三、四七一圓及びその他三五九、一五四圓の孰も減少に依るものであり拂出金額の增加は郵便貯金九一、四八三圓、振替貯金三三、二〇七圓及びその他三四、〇四四圓の增加に對し爲替一〇一、六〇五圓及びその他二、九四九圓の減少があつた結果である

投票場入場券配布

市議補缺選擧も次第に近くなつたので大連市役所選擧係では四日から有權者に對し投票場入場券を配布したが、尙その節衞生保りの應援を得て補缺選擧に關する注意事項を印刷したビラを配布した

構造美術展招待日

自然の秋に先だつて造形美術の秋上野の森を飾る美術展覽會に先だつて二日を招待に當て扉を開けた。名士、モダンな夫人、令孃等々例年の樣に會場內をにぎわし、齋藤素巖、日名子實三、陽咸二、清水三重三氏等の同人は說明にいそがしく。同人綜合試作「運動時代」は特に場內に光をはなちて居た（寫眞は招待日の場內、中央は綜合作の運動時代）

政府成立と共に 對外宣言を發表
閻氏は三日太原出發

【北平特電四日發】閻錫山氏は北平の政府成立式に臨むため三日太原を出發し石家莊に到着し德州を經て北平に入ることに決定した、これ等につき汪精衞氏は語る

政府委員は七名の他更に四名を增加すべし、委員と各部長合議體を作つて國事を議する事となるべく主席は國務總理を兼ねたる者といへる、なほ政府成立と同時に對外宣言を發表する、その內容は新政府は文明國の權利を享有すると同時に文明國の義務を盡し文明國の權利を享有す可しといふにある

東亞の大勢を察し 日支親善に努力
北方政府の外交方針

【北平三日發電通】汪精衞氏は本日午後往訪の記者に新政府は數日中に成立すべしと前提して語る

張學良氏は最近南京側の態度に多大の不滿を感じ北方側に一層好意を寄するに至り政府委員勸誘にも同意を表した、閻錫山氏は本日石家莊着德州を經て來平すべく着平後政府の成立となる

次いで記者が新政府の外交方針を示されたしと求めたるに對し汪氏は

第一普通外交關係 支那政府は文明國の義務を盡すことに努力して文明國の權利を享有すべく不平等條約排除について極力努力す

第二對日外交關係 兩國人民は深く東亞の大勢を察して兩國の善隣輔車關係を增進すべく國民黨員は孫文氏の遺訓を最も固く守つてゐる、日支關係のますます親密なるを知ることが兩國の根本問題であると確信する

と聲明した

張作相氏赴奉

【吉林特電四日發】張作相氏は四日午前七時發、吉海線にて赴奉した、その用件は既に傳へられる南北時局に對する遼寧側の對策協議にあり、また既報の通り張作相氏の第三子の結婚式を奉天に擧げるため歸來は遲れるとのことにてその間、參謀長熙洽氏が代理する旨を發表した

爆擊停止要求
北平記者團から

【奉天特電四日發】北平の支那新聞記者は聯合して張學良氏に人道上及び古蹟保存の見地から南京軍に勸告されたいと電請したがこれに對し張氏は二日既に北戴河滯在中蔣介石氏に爆擊停止勸告電を發した旨返電した

滿洲陸上線は 別個の條約
日支電信交涉には無關係
關東廳遞信局の意見

日支電信問題交涉はわが委員の上海到着を俟つて愈々來る十五日頃より支那側と本格的交涉が開始される運びとなつたが支那側では既定の交涉範圍たる淡水福州間、長崎上海間、佐世保靑島間、大連芝罘間の四海底電信線以外に滿鐵沿線附屬地の陸上線も今回の交涉範圍內に入れむとする意嚮あるやに傳へられてゐるか、本問題に關しこれが直接管理の衝に當る大連遞信局當局では左の如く語る

元來今回の對支電信問題交涉は前記の四線に限られたもので當局としては直線管理の下にある滿鐵沿線附屬地の陸上電信線問題に迄交涉範圍が入れられてゐるものとは考へない、從つて當遞信局から本交涉に參加すべきか否かは一に遞信省の命令によつて決まるのであるが、未だ何等の通知に接しない、今回の交涉委員には既に本省から吉野局長以下、外務省から重光代理公使が出席の筈で、若し當局から參加するとすれば隨員として派遣せられる譯だが、わが當局としては滿鐵沿線の電信線問題とは前記四線の問題とは條約上別個であるとの見解を有してゐるから別に問題とせぬ樣子で、當局にも何等の通知はない

歐米の鐵道現況
舊式車輛の多い英國 ロシヤは劃期的改善
我鐵道會議代表の歸朝談

【ハルビン特電四日發】スペインマドリッドの萬國鐵道會議に出席し六月十五日から二十四日までベルリンにおける動力會議に列席した住友技師、齋藤[illegible]三氏と鐵道省から派遣され歐米の工場を視察した大阪鐵道局[illegible]氏は四日哈爾賓着歸朝の途についた、齋藤氏は

アメリカに二十五日、歐洲に二十五ケ月にわたり鐵道工場を見たが、設備の點は日本と同樣だが、仕事の早い點では日本に優るものはない、先進のイギリスはこれまた古さを尙び、日本で記念物として國寶視されてゐる島原鐵道の機關車に似たものがいまなほ使用され八トン積みのマッチ箱に似た貨車を運轉し歐洲各國で第四車輛、六車輛の客車が運轉されてゐる、と語り、次いで齋藤氏は代つて語る

鐵道會議はこれまで五年に一回開かれることになつてゐたが、今度は三年に一回といふことに改められた、會議は國際間の鐵道に關する學術的研究の發表で私は車輪とレールの磨滅率の研究を發表した、鐵道技術は日本が最初日で一番だと日本を知るものは認めてゐる、鐵道省派遣の加藤技師はカザン鐵道本部にあり、一名にひとり當ての通譯で現業技術者が教へてゐる、ロシヤの鐵道改善はこれによつて劃期的の進步を見るだらう、シベリヤ鐵道は既に複線となしモスクワ、滿洲里間の旅客列車時間短縮の實現につとめてゐる

馬延福事件と 蔣張關係

【奉天特電四日發】所謂馬延福事件に依つて逮捕された山海關駐屯東北步兵第二十三旅長馬延福、團長孟百孚及び煽動者陳敦禮等數名は既に北戴河より奉天に護送され目下邊防長官公署衞隊部に監禁中であつて軍法處は今週中に軍法會議を組織し審理する筈であるが一味を嚴罰卽ち銃殺すべしといふ意見と寬大に處分すべしといふ意見に分れてゐるやうで同人等の友人は成行を憂慮してゐる模樣である而して陳敦禮氏の背後に蔣介石氏の懷刀何成濬氏が潛んで居り現在奉天に在る方本仁、鄒光兩氏も關係してゐる事實があり張學良氏及びその周圍は方、鄒兩氏に疑惑の眼を光らしてゐるから方本仁氏等は結局奉天を立退くより外はあるまいと觀る向が多く延いて蔣、張間の關係に相當の紛糾を來しはしないかとその成行を各方面とも重大視してゐる

走馬燈
知坊生

人材登用論（下）

母國における地方官の異動が、植民地殊に滿洲所在の官界に一刺戟を與へたやうに、植民地自體の諸組織中にも、資本家若しくは資本團の考慮すべき課題がある。

◇

それは在外勤務者の拔擢登用について、今少しく廣義な深刻な理解が表示さるべきだ。日本を根基とし、若しくは出資者の多くを內國に有する會社は、外にある從事員の待遇について、動もすれば或る誤解を懷いて居る。甚だしいのは何事にも中央帝都を標準とし、中央から見た解釋が第一義で、事業方針の選擇も、重役の任免も、組織制度の變改も、總て天降り式に專斷して當の得た者のやうに考へて居る。

◇

私は世界各地に散在する日本諸會社の從業員が、その多年養成し得たる智識經驗あるに拘らず、多くも本店幹部の認容する所とならずして、母國の命令にこれ服從せねばならぬてふ不平も屢々耳にした。現地の事情も知らない所謂重役の査定方針が、面從腹背、毫も徹底し居らぬ光景をも目睹した。かうした執務氣分が造られた原因は固より二三にして足らぬ。しかしその中に人材登用の法が誤られて居ることを指摘したい。何といふても事業の中樞は、現にその局に當る者の支持して居る所で、定期によつて比較的短日月間に去就する幹部のみの領ではない。

◇

勿論事業組織の輪廓が大なれば大なるだけ、絕えず外來人物の刺戟鞭撻に待つべき點は多いがそれだけ幹部中に生え拔きの經驗者を採擇して、新來者の立策等を的確に考察し得さす事も必要である。否それよりも肝腎なことは、永年現地に勤續した人材の進路を恢弘する事であつて、この點が往々統率者に閑却され易い。

◇

例へば今の滿鐵會社の如きに採らんか、創立以來、屢々社內に起つた問題は社員の進路についてであつた。何年立つても重役になれない。而してその重役の任免は一に政府者の手に存し、且つ政變每に首腦者を異にする事などであつた。尤も重役といつても、第三者から見ればそれ程有能さうに思へぬ。また從來登用された社員出の人々も適材であつたか否かは疑問なのが少くない。時には政黨關係から恩惠的に拔擢されたものもあつた。しかしさうした便宜主義以外の社員登用は、滿鐵の如き大組織の運用上、士氣を鼓舞する所以の一要項ではあるまいか。

◇

世間動もすれば滿鐵を溫室となし、溫室育ちに人物を求め難いといふ、これは決して道理ない事でなく、代々の首腦者が就任當初先づ發する警告も常にこの點にあつた。しかし溫室にせよ溫室ならざるにせよ、創立以來の滿鐵會社を培養し、支持し來つた者は彼等で、その總てが庸愚凡才だと速斷する事は出來ぬ。直言すれば任期終了若しくは政變每に、新たに來任した幹部中にも、悉く英豪俊邁の人物と評し乘れるのが少くなかつた。否、中には過去における優秀な閱歷所有者であつて、而も何等見るべき成績を示し得なかつたのも多い。

◇

かうした經路は社員中に適材がなかつた爲ともいへるが、また同時に英材を拔擢する所以の道を誤つたとも評し得る。組織中に[illegible]あるであらうが、それだけさうした適材が登用された場合の組織の强化は大である。[illegible]らんには、幾たび顏を改め人を代ふるとも、砂上の偶語を如何せんやである。今日の功業は大衆の結束にある。一獅の指揮する千羊は、一羊の指揮する千獅に勝るとは、大衆結束の妙諦を語る教訓ではなからうか。人材登用の趣旨も、唯だ登用された人材その者のみでなく、これによつて大衆の士氣を安定させ發憤さす點にあると思ふ。

人事

▲石塚邦器氏（總領事館員）四日入港はるびん丸にて來連
▲石橋貞男氏（每夕新聞社員）同上
▲谷正之氏（外務省亞細亞局第一課長）四日入港奉天丸にて來連
▲高瀨陸朗氏（國際庶務課長）同上
▲滿鐵交涉部長木村理事 微恙のため四日より當分自宅靜養

大觀小觀

北平を北京に還元しやうとの議がある。政府樹立よりもそれが先決問題ではないか。

◇

南京ある以上、北京なかるべからず、場合によつては洛陽邊を西京に、奉天を北京とするも可ならんか。

◇

何は兎もあれ、秋の北平は、また捨て難い風情がある。

◇

樞府と政府、石壁に馬を乘り當てたやうに報ぜられる、が併し、濱口首相が念入りに、誠意を披瀝して說明したら、何とか納得が行くのではないか。

◇

編成難を傳へられる明年度豫算案も、窮すれば通ずで、何とかなりつゝあるやうだ。

天氣豫報

五日（南東の風）晴後曇

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二五、六	二六、六
旅順	二五、九	二七、八
營口	三〇、一	二九、八
奉天	三〇、〇	三二、六
長春	三〇、一	三三、一

滿潮 午前九時〇分 午後九時卅分
干潮 午前一時五十五分 午後三時四十五分

現職巡査が馴染藝妓
自廢尻押しの奇怪な噂さ
自殺を圖るほど熱いふたり仲
綱紀紊ると極秘裡に取調べ

藝酌婦の自廢續出し新らしき社會問題として注目を惹いてゐる折柄現職巡査が馴染藝妓の黒幕となり自廢を企てさせてゐるといふ奇怪な噂が傳へられて、警察界ならびに花柳界に大きいセンセイションを捲き起し、所轄大連署では極秘裡に調査を開始してゐる、問題の自廢藝妓は市内浪速町淡月席抱藝妓秀美こと杉瀧雪(二)で、數日前尼崎大連署長にあて手紙をもつて「身體が弱く

稼業が 出來ぬから自由廢業をさせて下さい」と寄越したが、その不心得を諭されるや、秀美は三日無實カタルだといつて譚家屯赤十字病院に入院し、目下自廢の持久戰に移つてゐる、しかして自廢の裏面には深く馴染を重ねたる情夫、大連署逢坂町派出所勤務高山

奇怪な 勝治巡査が尻押してゐるといふ噂があるので、監督責任者星警務主任は綱紀肅正の折柄、捨てゝは置けず四日高山巡査を取調ると共に入院中の藝妓秀美を呼出しその間の事情につき詳細取調べを行つた、高山巡査と秀美との關係は約一ケ年前から續けられ、同僚間の噂に上る程と灼熱化し、同巡査は私服で秀美を呼出し密會したり、妻女の不在中譚家屯官舍に連れ込んで二日も三日も外泊させたこともあり、女の方でも同巡査を憎からず思ひ多額の

借金を した模樣である殊に本月二十日ごろ秀美は例の如く高山巡査の官舍に遊び、その際カルモチンを嚥下、自殺を企てた事實もあつて、兩人は最近灼熱的戀に落ちてゐたといはれてゐる

同滿鮮させようと奔走した大連三業組合某役員は語る

高山さんと秀美との關係は、とても深いもので女の方から電話で男を呼び出したり男の方も制服で密會するなどのことは珍らしくもなく淡月席でも困つてゐました、最近自廢運動をするらしいといふ噂を聞いたので私が直接高山さんに面會し手を退いて戴くやうにお願ひしたこともあります、殊に女の方が毒藥自殺を企てる位男を思つてゐるのですから例へ高山さんが今度の自廢に尻押をしてゐなくても兩人の情交關係から推してさう思はれても止むを得ますまい

事實判明せば斷乎たる處分に
星大連署警務主任談

右に就き星大連署警務主任は藝妓の自由廢業の裏面に高山巡査が糸を操つてゐるといふ風評があるので監督上早速取調べたが、同巡査は絶對これを否認してゐる、女は勿論、各方面に就いて調べてゐるが目下のところは調査中といふ外はない、事實が判明すれば斷平たる處分を執る方針だ

と多くを語らなかつた

制服で密會 珍しくない

高山巡査と藝妓秀美の間に立つて

心からなる慰問品を携へて
滿洲駐屯軍を慰問に
福知山の鄕軍團來連

滿洲駐屯軍隊慰問のため福知山聯隊司令區では在鄕軍人二十二名よりなる慰問團隊を組織したが、一行は四日入港のはるびん丸で歩兵少佐鈴木彥氏に引率され來連した一行中には從軍の役に

從軍し た勇士も交つてをり、いづれも各郡より送られた慰問品を山の樣に持つて來た、鈴木少佐は語る

この滿鮮慰問團は昨年も一度來たんです、だからこのうちには二度目の人もをります、大抵は初めての人達ですからこの機會に長春、ハルピンまで行くつもりでゐます、いづれも遠い異域の地に働く同胞に對し深甚の

敬意を 拂つてゐるもので同鄕の人達の心からの慰問品をそれ〳〵贈るつもりでゐます六日に遼陽、八日に長春、十日に奉天に、十五日に下關に歸るつもりです

龍鐵チーム來る

奉天、長春に轉戰した京城龍山鐵道局チーム團監督以下十九名は三日二十時三十分着列車で着連、東

小兵だが元氣一杯
柳井中學チームけふ着連
期待されてお恥しい……大いに奮戰

好球家 の總大な期待さる好評裡にいよ〳〵今日より開始される事となつた本社後援の內滿選拔野球戰に參加と決定全滿フアンを熱狂せしめた山陽代表柳井中學校チームは鈴木立藏敎諭に引率され四日入港のはるびん丸で來連した、ナインは小兵ではあるが日焼の練習を思はす眞黒な顏で生々とした如何にも中學生らしい元氣ぶりだ、土地柄の關係で

ハワイ 地方で生れた學生が多く中學生チームとしては毛色が變つてゐる、船中引率の鈴木敎諭は謙遜して語る

田舍者なのでどうも氣遅れがして困りますよ、一行十三名、小兵で中には一年生の選手もひとり交つてゐます、だが大抵は四五年が中心になつてゐます、試合度胸ですか?大丈夫だと思つてゐますが何分相手が松山商業に大連商業じや、ごつちみち

苦しい 戰ひです、私の學校も大正十四、五年が黃金時代でそれから一寸落ちた樣に思はれます、今度の山陽大會では三回戰で長府にやられましたがまだやれる自信はあつたんです恰度學校が始まつてから來たんですから仲々來にくかつたんで

したが序でに滿洲を見學するといふ理由で來たのです、來られなかつた平安中學校の樣に期待されてはお恥しいですが出來るだけやるつもりでゐます

因に一行名並にシート左の如し

▲監督 鈴木立藏▲投手森岡哲(四年)▲捕手和田正彥(五年)▲一壘吉村公平(四年)▲二壘山縣秀夫(二年)▲三壘青井英隆(三年)▲遊擊藤山勇(主將、五年)▲左翼新庄格(五年)▲中堅、投手藤重文夫(五年)▲右翼松重義生(三年)▲補缺原口和夫(四年)久保良人(二年)太田松人(二年)久本美佐男(一年)【寫眞は元氣で小兵の柳井チーム】

勞働爭議激增

【東京四日發電通】打續く産業界の不振は勞働界の不安を釀し、三日內務省社會局發表によれば七月中の勞働爭議件數は二百件により參加人員一萬八千二百八十七人で一ケ月間の爭議狀況では全國未曾有の激增振りを示し前年同期の二倍の多きに達してゐる

◇けふ來連した團體二つ

(上)滿鮮視察の宮城縣青年團

(下)福知山在軍の駐滿部隊慰問團

秋の夜店のお手並拜見
涼風に夜更けなば
草花屋の前に新鮮な風情横溢
【2】浪速町の巻……(B)

九時、長針が少し廻り過ぎると夜店素見しの人の流れが幾分淺ろになつて來る、油光りの苦力連は何時の間にか引揚げて人足の切目にアスフアルトが麿燐に白ちやけて見える、蓄音器屋の

流行唄が廣い通りを筒拔けて遠くまで聞えるやうになつた、汚い苦力が居なくなつてからと九時過ぎからゆつくり散歩する近くの奥さん連はこの頃から出て來る

「そらもう店じまひや、負けた大見切の五十錢や!」とポンと膝を叩く

「三越なんかこんなん、二圓もするこんなに見切つても買はんのか、あかんたれやなあ、そら

もう買らんぞッ」とメリヤスのたたき屋獨りでカン〳〵青筋を立てゝ客を睨み廻せば、一人減り二人減り……立ちはだかつた奥さん、日那さん連も素つ氣ない、獨り者らしい無精髭を生やした若い男が二人蹲んでボイルまがいのシャツを弄つてみる

○―○

郊外へ歸りの散步客は大山通、伊勢町へとだん〳〵流れて行く伊勢町を西廣場への一町餘何時しか支那人の花屋が十數軒立並ぶ樣になつた、百日紅、ダリヤ野菊、萩、紅白濃淡とり〳〵の草花が水を切つたばかりの新鮮な風情を添えてゐる

「奥さんこれ新しい、なか〳〵枯れない、三十錢まけとく」と花賣ニーヤは百日紅、ダリヤを一束に括つたものを大事さうに捧え上げる

「ニーデ、タータサーホン、チヤガホワイラぢやないか、イーモーセンよろし、イーモーセンメイユー、ワーデブヨ」と町家のおかみさん却々流暢に値切る

「ショマイーモーセン、このダリヤなか〳〵上等あるよ」

「ブヨ〳〵」

「奥さん二十錢負ける」

「こんなホワイラのブヨ」とおかみさん花を投げ棄て見向きもせず行つてしまふ

「奥さん、十五錢負けるよ、奥さーん負ける、よろし負けるよ十錢よろし奥さーん!」

もう十間餘も行つた奥さんを大聲で呼びかける、奥さんは又そろ〳〵引返して十錢投げ出して

花を買つて行つた

「ニーヤこれいくら?」と若い娘さんは鬱のバラを取上げて香をかいでみる

「これ二十錢」

「高いわ」と言ひかけたが、傍らに若い男がゐたので令孃は言値の二十錢投げ出してバラを持つてさつさと歸つて行く

○―○

十一時、活動歸りの男女が一渡りした後は眼に入ずくなになつた、投げ棄られた紙屑が點々と小淋く散らばつてゐる

「九月になつてから急に客足の上りが早くなりました、涼しくなりましたからねえ」と果物屋夜店の總さんは店しまひに忙しい夜風が歸路の塲をばら〳〵と掃いて行つた

ヘヤーネットの密輸船判明
風を喰ひ連類者逃ぐ

大連、神戶、上海間で婦人頭髮用のヘヤーネットを多量密輸し、多額の脫稅行爲を行つてゐる一味のあることは既報したが、その後大連、水上兩署で取調べの結果、これが密輸船が判明し、大連署では船(特に船名を秘す)

の船長、機關長船員等數名を引致し藤井司法主任が嚴重取調べを行つた結果、大體の犯罪事實が自白するに至つたので同夜一先づ歸船を許した、それによると市內某々商店が中心となり山東の支那人が手內職で製造した原價七厘位のヘヤーネットを買占め、これを日本內地商人と連絡し巧に官憲の目を掠めては十數回に亘つて密輸し、時價十四錢位で卸してゐたもので、內地の共犯者は既に神戶署の手で擧げられてゐるが、犯罪根據地たる大連市內の某々商店主等は警察の網が降りたと知るや逸早く姿を晦ましたので目下嚴重捜査中である

水產贈收賄事件〈公判〉
佐治大助氏に絡る
けふ開廷、午前中は證人調べ

佐治大助氏外七名に係る水產會社贈收賄事件の第二回公判は四日午前九時半より森本裁判長、本間、長島兩判事、池內檢察官、荒木書記、係りのもとに係辯護士八名列席して開廷、午前中は證人として相生常三郞、野崎昇治、石津作太郞三氏について取調べを終つたが現水產會社監査役相生常三郞氏は森本裁判長から「會社の事務取締役といふものは他人の採用等を勝手に出してよいものか」と質され「今まで勝手に出してもよい例になつてゐた」と被告に

有利な 證言をなし、次いで被告野崎菊治氏の長男昇治氏は柳生技手を招待したのは單に懇親の關係であつたからだと答へ、滿鐵石津作太郎は「二百圓は高橋個人から借りたのである」とそれぞれ證言を述べた、證人調べを終つて最後に池內檢察官は立上り、被告等は法廷において述べることは述べたが、その說明を聞きたいと要求し森本裁判長から午後一時半より續行する旨をつげ午前十一時五十五分休憩を宣した

阿片密輸など 大仰なこと 謝玉田氏歸る

張宗昌部下謝玉田氏はさきに別府の張氏を訪問のため門司上陸の際阿片密輸の嫌疑で門司水上署で嚴重取調べられ話材を撒いたが、四日入港のはるびん丸で歸連語る

聞から三百四十萬圓の金が出たとか張氏が再起するとかは全くの流言である、阿片密輸なんて大仰なことを云ふが只張氏の許に少し張氏の吸飮料として持つて行つて見付かつたんである

旅館に投宿した、なほ試合日程は追つて發表の筈

秩父宮殿下 御來滿映畫 各學校で謹寫

大連教學會では四日から大連民政署管内各學校で活動寫眞の巡映を開催するが、今回は特に去る五月秩父宮殿下御來滿中の御行動を謹寫したものを映寫してゐるから市民多數の來觀を希望すると

速力による事故八割
沙河口署で嚴重取締る

沙河口署保安係にては本年一月以來八月末までの間に同署管內に發生した交通事故について調査したところ、乘用自動車事故數四十三件、貨物自動車十三件、荷馬車一件、馬車二件、電車十三件、自轉車十一件、汽車四件、總計八十七件であるが、これによる人畜被害は死亡七名、負傷者五十五名、馬一頭、犬二匹で、これ等交通事故發生の原因は約八割がスピードによる違反であるので、同署では事故防止策として近く交通整理員にストツプウオッチを持たせスピードについて嚴重取締ることゝなつた

滿鮮視察は非常に有益
宮城青年團來る

宮城縣青年團一行二十二名は同縣青年團幹事田上命吉氏に引率され四日入港のはるびん丸で來連したが、田上氏は一行を代表して語る

これで我縣の滿鮮視察團は第六回です、年々好い收穫があるので一つの年中行事のやうになつてゐます、各郡から代表的な模範青年を選拔し各職業を網羅してゐます、約三週間の豫定で沿線各地を巡歷して朝鮮經由歸るつもりです

前神田署長送別會

鳥取縣知事に榮轉した神田前民政署長の送別會は四日午後零時半から大連ヤマトホテル大ホールに於て開催せられたが、在連朝野知名士二百五十名參加デザートコースに入るや田中市長は發起者代表として神田前署長の頌德の辭を述べ神田氏之に對して在任中の謝辭を述べ主客歡談裡に同午後二時散會した

玉の浦砂利事件の松元盛は無罪

玉の浦砂利事件にて第一審では懲役三ケ月の求刑、執行猶豫一年の言渡しを受けた元旅順民政署商工係松元盛に對する判決言渡しは三日午前十一時旅順高等法院覆審部に於て筒井裁判長より證據不充分により無罪を言ひ渡された

滿洲青聯本部協議

滿洲青年聯盟本部では長春において來る廿一、二の兩日にわたり開催される第三回滿洲青年議會を控へて六日午後六時から本部理事、委員ら會合して聯盟運動につき種々協議すると

勞工專用電車三錢に値下
同時に系統と時間改正

南滿洲電氣株式會社では曩に電車の不潔、日支乘客の混乘防止の一策として昨年十二月以降朝夕のラツシユアワー約二時間を限り乘車賃金片道金四錢の勞工專用車を運轉してゐるが、實施後緩安や一般世間の不況に連れ成績芳しからぬに鑑み今回更に料金を金三錢に値下げし、なほ運轉系統及び時間をも左記の通り改正して所期の目的に添ふべくこれが申請書を提出したので目下遞信局で調査中

運轉系統 第一系統、寺兒溝―大廣場―西崗子間▲第四系統、埠頭―日本橋―西崗子―水源地間▲第六系統、水源地―黑石礁間▲第七系統、常盤橋―沙見橋間▲第十一系統、寺兒溝―大廣場―常盤橋―西崗子―水源地間

新運轉時間 自午前六時至午前十時、車輛六號▲自午前十時至午後四時、車輛十號▲自午後四時至午後八時車輛六號

美術院入賞者と推薦の院友

【東京四日發電通】日本美術院は本年度は第一院賞に當る作品がないので第二院賞を授與することゝなり三日午後左の如く發表

▲繪畫 秋草(高橋周桑)淨土園(太田聽雨)

▲彫刻 道化役者(中村直人)童女の像(宮本重良)

なほ左の諸氏を院友に推薦した

▲繪畫 茨木杉風、川島萬年、中島清、鬼原素俊、內田清齋、小谷津任牛、村田泥牛、高橋周桑、上田龍二郎

▲彫刻 村田德次郞、關屋柔、白井保春、菅原安男、松村秀太郞、杵谷精一、杉本宗一

健康相談所成績

大連簡易保險健康相談所の八月中における利用狀況は初診二百二十八名再診六百七十五名、合計九百三名で前月に比し十一名の減少であるが、これは夏期取扱時間の關係でなほ受診者を男女別にすると男五百七名、女三百九十六名である

大連寺秋季大祭

市內春日町大蓮寺の鬼子母神大祭は來る八日盛大に執行、當日は午後二時法要、同三時說教後赤飯供養、午後六時より逢原美妓連の奉納舞踊があると

◇精進料理店「慧水」 西洋料理、支那料理あり精進料理なかるべからずと慧水といふ精進料理店が佐渡町に出來た

侠艶一代男（46）

米田華舡作　伊藤幾久造畫

お千賀の行方（二）

「手前が出てこなければ、俺がそこへ土足で踏ん込んで、引ッ張り出すぞッ！」

がえんが本當に躍り込み兼ねない勢ひを示して、威嚇した。

「そ、そんな亂暴なことが……！」と、番頭もたう〳〵聲で叫んでゐる。

「俺が亂暴だ？　言ひ懸りの、押し賣りのと、默つてゐれば、いゝ加減、馬鹿にしやアがる。かうなりやア俺も意地づくだ野郎が言葉の證據を見せれえ限りこの店先を擬でも動くものか？、さア！　手前が吐した押し賣りと言ひ懸りの證據を見せろ！」

「まア、どうぞお靜かになさつて下さいまし」と、暗い奥から白髪まじりの老番頭か、この家の主人か、二人の傍へ出てきて「さう云ふ職譯か存じませぬが、番頭が粗忽なことを申しましたさうで、御覧の通り、日暮れ時の店を取り片づけて居ります最中、忙しさに紛れ、飛んだ失禮を申しました。私が代つてお詫を申します。どうぞ御勘辨なさつて下さいまし。これさ錢差を五束ほど求めてあげな、代を五百文、すぐとこれへ持つてお出で！」と、傍に茫然と手を束ねて、佇んでゐる手代の一人を振返つて

「早く持つてこいと申すのに！」

睨を衿つて、すぐにと云ふ風に急き立てた。

「お前さんは旦那さんですかい？」

「はい、この店の主、島屋伊兵衛でございます。どうかこの先とも……」

「さうですか？　何アにね。俺は無理にお賣りしやうと云ふわけぢやれえんですから」と、がえんは幾らか語調を柔げて滝りがちにボツ〳〵と口を利いた。

「まアさう御しやらず、御不承でもございましやうが、今日の所はお許しを願ひまして、この先、末長く御贔屓を願ひたうございます」

「へえ、さうお話が判りやア、俺もこの五のと吐すことはございませんので……」

「おい！、お役割！、いい加減にしや、島屋の旦那があゝサッパリとお仰しやるんだ」と、この時まで、後に控へて、始終の模樣を眺めてゐた遊人風態の小商人が言葉を挾んで「へッへ、へ、へ」と、薄氣味惡い世辭笑ひ「どうも氣短けいもので、お騷がせして相濟みませんでしたよ」

「では五百文、これで宜しいのでございますな？、またお賞ひ申しましやうよ」

島屋の主が錢敷へ、錢緡を並べた。

「左樣でございますか？、えへッへ、へ、旦那さんのやうにお話が判りますと、本當に文句はれえのでございますよ。お役割！」と、傍に突立つてゐるがえんへ

「ではそろ〳〵お暇申さうか？」

「さうだな。そつちの用が濟んだなら、俺はいつでも行かうぜ」

「島屋の旦那さん！、御免なせえましよ」

小商人とがえんは、店の表に待たしてある一人のがえんの所へ戻つて行つた。

三人は顔を見合して、うふッと笑ひ合つた。

小使錢稼ぎに、土地の遊び人と旗本屋敷への火消中間のよくない奴とが馴れ合ひで、時折かうして町家などを押賣り、強請などをして歩いた。

その金額は僅かであつたが、彼等で繩張を定めては、その區域内は當然の餘得のやうに考へてゐたのだ。

「なア哥貴！、今日はこれ位で、引きあげさしやうぜ。夜五つには御愛妾ぐやらが、お邸へお乘り込みだ」

「違えれえ。部屋へ戻つて、振舞酒でも御馳走に振らうかい」

「奥方が死んでから腰屋潮しさに旦那も浮れ端つてゐたが、どうや……ら此度は素敵な好い奴を見つけたらしいぜ」

「凄え器量ださうだ」

「ほう！、俺者ぬれ！」と、錢差の束を天秤に擔いだがえんを中に二人の相棒が揃つて、四谷の大通りをお邸の方角へ歩いてくる。

キネマと演藝

吉田奈良丸　今夜日延　あすは旅順へ

大好評裡に本社販賣部主催滿鐵勞務課後援の大連劇場に於ける五日間の浪曲大會を終へた二若改め三代目奈良丸一門は今夜一日限り大連劇場にて大好評御禮として日延べ興行をなし吉田宗家の秘曲「楠一薬」を口演し愈々大連劇場を打揚げ明五日は旅順昭和園に於て一日限り得意の讀物を以て旅順の浪曲ファンに麗名披露をなし六日は沙河口劇場に出演して滿鐵巡業に出發することに決定した

常盤座の初日　遠山を観る

常盤座の遠山滿一黨の初日をのぞく。移動小劇場と名乘をあげてゐるが、われ〳〵が考へる小劇場とは大分縁遠いものが生れてゐる、從つてそれだけ大衆的である、座員總員十七名と思へない程の舞臺を見せて座員一同が活躍してゐる夜間の部のB「武士と藝者」は幕末物三場で結局は最後のチャンバラへ行く義理物で觀衆も御馳走の和洋管絃樂の伴奏による立廻りに大喜びでテーマがどうのこうのといふよりはチャンバラの興味で遠山は澤正張りの裏藝で頑張つてゐる、Aの現代諷刺劇盗人は面白い喜劇の脚本で何時見ても笑はせる泥棒が這入つて夫婦圓滿となり泥棒も吹心するといふ筋で元氣が五郎畑の喜劇で少々理窟つぽいのもお客には却て受けやう。一番嬉しいのは泥棒である、よくやつてゐるが慾を言へば俳優に持味があればもつと面白い。蝶六か五九郎の泥棒だつたらお客は完全に笑殺されるだらう。それよりも小春の紙君をさる「武士と藝者」の藝者よりズット良い味がある、この一幕はたん〳〵ツボが極つて來るほど受ける演し物である。餘談ではあ

噂話

常盤座の初日、芝居の幕があくと階下のお客はカブリツキに殺到する珍風景▲二階はガラリと客種が一變して座席は美しいことが占領してゐる▲聽タレ連中は喜劇の「盗人」を觀て大喜び「一家總見して要君教育をやらう」▲一方モダマは「主人を引つ張つて來て吹心させてやらう」と妙な具合に自分の事は棚にあげて張合ふ▲小春はまるで人止め役を買つて出たやうに「武士と藝者」では近藤さま、お待ち下さいまし▲貫田さま、お待ち下さいまし、と出て來る者を片端から引止め▲「盗人」で人もあらうに踊りかける泥棒をつかまへて、一寸お待ち下さい▲もつと早く千代へ……

春風の彼方へ

春風の彼方へ　片岡千惠藏主演伊丹萬作監督作品で日活から櫻木京子と瀬川路三郎が特別出演してゐる【大日活上映中】

……るが、小劇場といふ名前からして寧ろ菊池寛の「時の氏神」なぞを上演したらどんなものであらう。○○の「ピエロの夢」は小原小春の演し物で寸劇二つと小春の舞踊二つの一風變つた樂劇といつた風のもので唐人お吉も流行に棹さして喝采されるやう……勝館にゐたら須磨奴の命は助かつただらうに惜いことをした

◆傳馬町の牢から出て來た三吉と云ふ男の物語り。其の前身も判らなければ、其の後どうなつたかも判らない。只此の男が彼の生涯の中の最も若境時代を如何なる態度で切り抜けて行つたかと云ふ物語りである。

◆此の映畫製作に先だつて作者伊丹萬作は「人間を慰める映畫」を作るのだと云つてゐる。人生の旅に疲れた人、人生の闘ひに傷いた人人生の迷路に行き暮れた人、さう云ふ人々を慰さめる映畫を作るのだと云つてゐる。其の意味に於て筋は至つて簡單ではあるが、此の映畫は見る人々を甘い空想の中に引張り込んで行く事が出來やう。

◆千惠藏と瀬川路三郎に、日活から櫻井京子が應援してゐる。ロケーションも空想的な場面にふさはしい所がよく選定してあつて非常に効果的である。馬鹿らしいと云へば、さんでもなく馬鹿らしい映畫だ。が、餘りに疲れ過ぎてゐる現代人にとつては肩のこらぬ此の種の映畫の方がよいのかもしれぬ【大日活次週上映】

ラヂオ

大連 JQAK　九月五日

自午後三時五十分（野球連絡放送　內滿中等學校選拔野球大會）

自午後七時

（三、四子供時間）

▲兒童科學講座（動物の音樂）大連神明高等女學校前田政次郎

▲獨唱（緑もろ水）大連音樂學院本科松原靜

▲浪花節（後藤又兵衛）京山愛三

▲絃曲（富士太鼓）三絃富森大檢校同高木夫人、尺八辻泰正、同草崎主山

▲支那劇（坐宮盜令）連東俱樂部部員

▲職業紹介事項

ペーブメント

森永ベルトラインで招聘したマネキン南かほる嬢がきのふからお目見得、今春連鎖商店街へマネキンが出演してからこれで二度であるが、矢張りマネキンの顔を見やうといふ新し物食ひの大連人をひきつけてゐるらしい。物凄い人群りでマネキンを見るのは一苦勞である。街を漫歩してゐると、到るところベルトラインの店頭にマネキンの招牌が眼につく飾窓にネオンサインが一番先につかつた浪速町の梅園の前で最初に見かけた時は梅園だけの立看板だと思つてすつかり感心した、誰の圖案か知らぬが一齊に同じものを多量生産でベルトラインらしいところを見せたものと判つたが、派出な色彩で立看板としては近來の傑作だらうマネキンを見ずともこの華やかなマネキンの招牌が近代都市風景を描き出して漫歩の眼に色彩を投げかけてゐる。東京ではマネキンの尖端を行つてスタンド・ガールといふのを警視廳に出願した者がある、それはいろ〳〵な意味で有名な女優や美貌の若い女性をバーのスタンドに移動式に出してマネキンにしようといふのである。今まで內地で時々やつた「夏川靜江嬢今夜八時來店」といつた風の宣傳を商賣化しようとしたところに尖端味が溢れてゐたが、却下された……そしてマネキンは何處へ行くか……マネキンの人群りを見て僕はチラリと怪しからぬ犯罪未來史のコンビネーションを描いた。歌舞師とスリからマネキンとスリ時代へ……

第二十一回　滿日勝繼碁戰

（高本氏二回）（勝三回目）

二段　大礒　義（？）
四子　高本　吉（？）

○八一ロ十三　●八二ロ
○八三ロ　八　●八四ロ
○八五ロ　九　●八六チ
○八七ニ　三　●八八ホ
○八九ソ　七　●九〇ソ
○九一ロ　四　●九二ハ
○九三ル十三　●九四チ
○九五ト十六　●九六ヨ
○九七チ　七　●九八ヌ
○九九リ　六　●一〇〇

▲篠原四段講評　白八三……七に副ふた本手とす、……六は八七に出で白若し……ならば黒（ろ）に打つて……方よし

―【五】―

天賦の靈劑

信州伊那の谷　鹽澤家三百年來の秘法

慶長時代以來の目印

精力之基　養命酒

◎衰弱諸病人に　百藥に優る

◎何を食べても血にも肉にもならぬ虚弱者に……

◎男女性的精力復活―血氣盛りに若返る

鹽澤家三百年來の家傳

南アルプス連峰の谷々の水を遠州灘に注ぐ天龍川を溯ること四十里、天下の名勝信州天龍峽のほとり、素封家鹽澤家天龍館は、賴朝時代からの舊家で、當家よりは現職の海軍少將も出てゐるが同家の……

●秘中の秘獨特の製法

蝮蛇の中で最も強いといはれる日本アルプスの強精赤蝮蛇の精分を絞り出し、之れも天龍峽特産の珍しい高山藥草七種を適量に配合して藥瓶に造り、年久しく倉の中へ貯へて置くと、夏なほ雪をいただ……

普通のまむし　強精無比の赤まむし

家傳の由來

今より十八代前の祖先鹽澤……非常な慈善家であつたが……

養命酒創始者　十八代前の……鹽澤宗閑

……のこと大雪の夕に由ある老……助けその恩返しにとてマム……秘法を授けられたは若心藥……天龍峽の高山藥草七種を加……養命酒を造り始め、その靈……家の秘傳として子々孫々に……のである、鹽澤家では毎朝家人一同が食膳に向つた時、先づ合掌して「南無宗閑様」と唱へ、然る後箸をとるのを三百年來の家風として來つて居る、鹽澤家は昔は苗字帶刀御免の大庄屋であつたので、養命酒は金では賣らず、人助けに郷土の人々へ施して居たが、これを飲んで、醫師の見放した病人が全快したり、何を食べても血にも肉にもならぬ貧血虚弱の人が不思議に丈夫になつたり、性慾衰弱の男女が血氣盛んな精力復活したりする奇蹟的事實を、現在自分の親兄弟や妻子や親戚知人の身の上に、實際見もし聞きもする人々は、其の驚嘆する靈能を謳歌し、久しき歳月を經て實驗者の多數に上るに隨ひ益々評判を高め、送品の便利になつた現代は、遠方から希望者も多くなつたので、祖先慈善の遺志を繼承し全國の病弱者に分讓してゐます。

……蝮蛇狩りを備すのでありますゆる滋強劑に勝る効驗が著しく、一般健康者が常に愛飲しても、大に精力増進の神益はあつても少しも害にならぬことは、既に三百年來幾千萬人の實驗によつて決定的に證められ飲む人々皆靈能に驚嘆して滋養の聲日に高きは何より確な證據であります、進んで實驗ぜられよ。

効力不思議

神經衰弱の人
性慾精力減退人
根氣眼力薄い人
虚弱質貧血の人
肺肋膜の弱き人
心臟胃腸惡人
血管硬化老衰人
冷症不姙症婦人
慢性胃腸病の人

精力之基　養命酒

○定價　ポケット用一圓廿錢　送料廿錢　普通（凡二十日分）金參圓　徳用（凡三十日分）金四圓　送料　內國三十五錢　代金引換實費　新領六十五錢

○全國有名藥店にあり品切等の節は直接發賣元へ

大連販賣店　大連市伊勢町八一　泰生堂藥房　大連市西公園町四六　滿鐵社員消費組合

發賣元　東京澁谷町神宮通一丁目三十番地　養命酒本舖東京出張所　振替東京六八八五五番・電話青山五三九八番

○○○○無料進呈　見本瓶詰と「家傳由來七ふしぎ說明書」ハガキで發賣元へ……

映畫案內

輸組に仕入部設置 消費組合の援助を要望
滿鐵社員消費組合問題に對する 商議聯合會の對策案

全滿商議聯合會の滿鐵消費組合對策については既報の通りさきに聯合會の決議により仕入機關の設立方を組合側に要請することに決し右に關する具體案は篠崎大連書記長、野瀬奉天書記長兩氏の手によつて作成中であつたが愈々成案を得たので來る十二日午前十時から大連商工會議所において實行委員鯉川六平(安東)岡田小太郎(長春)藤田九一郎(奉天)加藤政人(鞍山)村井啓太郎(大連)の諸氏參集、該案審議の上滿鐵消費組合側へ提示し右實施方に就いて諒解を求むる筈であるが該案の内容を示せば左の如し

仕入機關設置案たる滿鐵社員消費組合仕入部を獨立せしめ邦商との共同機關となし以て滿鐵社員と邦商と相携へて滿蒙開發に精進せしむるを最も妥當の措置なりとする聯合會の提案には消費組合側に異議あり本案を強て成立せしめんとせば先づ市中側の共同仕入機關を作り或る程度に發達したる曉において消費組合仕入部と合同の形式を採るの外途なし又滿鐵會社直營案なきも考慮せしも實現困難の事情あり依て種々研究の結果左記の如く立案せり

左記

一、滿洲輸入組合に仕入部を設置し組合本來の機能を一層發揮せしむること

滿洲輸入組合は日本商品の滿洲輸入增進と在滿邦商の振興とを目的として組織されたるものなり然るに其の現狀は組合員に對する仕入資金の貸付を主とせり斯の如きは當初の目的に副はざる嫌ひあり依て輸入組合に仕入部を設け組合本來の機能を一層發揮することを極めて緊急なり之が爲め若し運轉資金を必要とせば現在輸入組合の拂込出資額百九十萬二千圓なるに其の貸付額は二百九十萬圓内外なるに依り貸付限度に達するには尚約九十萬圓の餘裕あるを以て此の餘裕金中より内地仕入資金一ヶ年分に對する三割を目標とし五回轉するものと見て金三十萬圓程度のものは組合の連帶責任に於て貸付を受くること困難ならざるべし

二、滿鐵社員消費組合は輸入組合のために充分の便宜を圖り邦商の仕入に援助を與ふること

滿鐵社員消費組合の仕入部を利用することは在滿邦商として利益少なしとせず然れども消費組合は個々の商人より少量の商品配給を依頼さるゝも其の煩に堪へざるべきを以て輸入組合は消費組合を利用する方有利なる場合は之れが仲介機關となり組合員の共同仕入を斡旋し消費組合は輸入組合のために充分の便宜を圖り之れに援助を與ふること

机上の空論 實効は疑はしい
賣れ殘りの危險あり 霍田大連輸組理事談

右につき霍田大連輸入組合理事の腹藏なき批評を求むれば左の如く語る

これと同じやうな案は輸組聯合會でも大いに研究を重ねてみたことがあるが實行上に種々疑義があるので否決されるといつた工合で、

理想案 としては結構だが實際問題としては殆ど實行不可能に近いものだと申上げるほかない、無論奥地には大連と著しく土地事情を異にしてゐるところもあるので自ら別箇の立場から考へられる必要もあらうが、大連としては大中の商人は固より當業者には一人として斯くの如き意見を有つてゐるものもなく全然實効のないものと見てゐる

なぜなら商人は多年の體驗により仕入先を選擇して永い間の取引關係を結んでゐるので俄にこの取引關係を變更することは難しい、殊に共同仕入品が

麥酒と か味の素とか單一化されたものなら兎もかく、市中商人の取扱品は多種多樣を極め仕入の巧拙は商人の死活問題であるから各店とも多年苦心して仕入の合理化に細心の注意を拂ふことにより獨特の特長を發揮すると共に爲替や相場の變動などにうまく處してゐるところに仕入の妙味がある次第である然るに仕入部の僅少な人達が百般の商品事情に通曉してうまく仕入れ得るかは甚だ疑はしく、恐らく從來より却つて割高につきはしないかと思ふ、こんなわけで折角仕入部を作つても果してどの位の

利用が あるかは甚だ悲觀的ならざるを得ず、利用者が少ければ經費も割高となり從つて當然品高となるのを免れない、次に仕入部では消費組合のやうに手持品を押つける譯にゆかぬので少からず賣殘品を生じて損失を負擔せねばならぬことになるのも見やすきところである、兎もかく右のやうな理由で實行上には少からぬ支障を生じ易いので我々としては東中會時代の苦い經驗もありこの案に賛同し兼ねる、寧ろ我々が現在やつてゐるやうに先づ各組合内の同業者別に合同仕入を行ひ、これを漸次、各地輸入組合

聯合會 延ては消費組合との合同に及ぼすのが合理的でもあり、實際的でもあると思ふ、この案は一足飛びに基礎のない最高のものを作り上げやうとするところに机上空論的の氣味があるやうだ

營口の三燐寸 瑞典燐寸に對抗

【營口特電四日發】營口燐寸工場三明、關東、性々の三會社は瑞典燐寸工場の壓迫により七月以降休業中であつたが本月一日から中華全國火柴連合會を設け製造に着手すると共に共同販賣を計畫し奉天に本店を設け各主要地方に支店を設けて價格を一定して販賣を統一することゝし製造品の過剩なきよう歩調を一にして販賣に努力することゝなつた

共益社上野氏獨立

久しく滿洲共益社の專務として大連の特産界及綿糸布界に活躍してゐた上野倫氏は今回同社を辭し、大阪丸紅商店の後援にて綿布貿易に從事する事になり山縣通加藤第二ビルヂングに事務所を設置し本月一日開店した、又滿洲共益社では上野氏の後に西澤源次郎氏が代表者となつた

支那側株主が金福重役を支持
極力留任を希望し 信任決議文を送附

金福鐵路公司は先月十四日東京に於て昭和四年度決算の總會を開催し堀副社長より滿鐵並に關東廳に對し補助金の下附につき嘆願したるも遂に容れないことになつた詳細なる顚末を報告して株主の諒解を求め辛うじて無配當案を可決した然るに席上一部株主中より開業三年にして無配當となつたことに對し重役の責任を追窮されたので重役一同は事業不振の責を負ひ總辭職に決定したる旨傳へられるや同鐵路の支那側大株主安承生氏部懷亭氏等が發起となり吾々は現重役を信任して株主となつたものであり今更事業の不振を理由として現重役の更迭をなすは不當である旨の決議をなし支那人株主は一致協力して堀副社長外重役を支持することゝなり九日東京に開かれる臨時總會に間に合ふよう各株主の調印を求めつゝあるが明五日の飛行便にて右決議文を送る筈であると

ハルビンの巨商 枕を並べて倒産
先月中だけで數十軒

【ハルビン特電四日發】百萬餘の資金を運用してゐた青物魚類商萬泰店の倒産を筆頭に八月中にかけるハルビンの大小華商倒産者は數十軒の多きに達し、十萬元以上の資本金を有するもの相當あり近年にない慘狀である、埠頭區にては東興久、双興盛、振豐同、三友針織の中堅が枕を並べて倒れた

七月中の輸送狀況
成績振はず

七月中に於ける滿鐵線の輸送狀況は左の通りである

●貨物持込發送狀況

貨物持込發送狀況は打續く銀價暴落が本月に入り多少見直したので大豆並豆油も七月下旬北歐地方の凶作及米國の大旱魃に因る不作豫想の報傳へられるや、歐洲向買氣稍活況を呈し、幾分輸出商談の成立を見たのと、朝鮮向白粟及び日本内地向雜穀種子並に營口發奥地向官鹽或は臺灣向耳附豆粕等の荷動きも引續き強調であつた、然し時恰も滿洲の雨期に直面して屢々降雨に遭遇し殊に夏枯閑散季に入りたるのみならず前年に見たやうな東支南行の異常な活況振とは到底比較し得ない狀態で持込及發送共前年同期に比し著しき減退を示した、即ち一般貨物の一日平均持込數量は上旬七、九二〇瓩噸、中旬七、〇七三瓩噸、下旬八、四四六瓩噸にして下旬稍好轉したが月間七、八三三瓩噸を算し前年同期に比し三〇%の減少を來した販賣部託送石炭にありては撫順山元積出車數が一日平均五二九車にして前年同期に比し一一%一〇四、二一九瓩噸を減じた、その他社内貨物の持込數量は一日平均上旬二三、七三七瓩噸、中旬二一、八六三瓩噸、下旬二一、二二七瓩噸、月間二二、二六六瓩噸にして前年同期の二四、五六〇瓩噸に比し九%二、二九七瓩噸〇を減じた

●他線發狀況

金福線は夏凋減少の狀勢にあつたが七月に入りて特に豪雨の被害あり、前年に比し七七%の減退を示し、瀋海線は前月に比し輸送數量半減せしも前年同期に比し尚優勢を示し三八九%の增加を示した、四洮線は打通線により輸送せられしものあるも概ね出廻り盡したるものゝ如く而も引續く水害により出廻頗る不振にして前年同期に比し約半減し、吉長線は銀安の影響に因り經路變更を見しもの、或は吉敦線方面發の木材が建築熱の沈衰のため荷動き不振を極め殊に官憲の命によりその伐採を封鎖せられしが如く或は水害の影響等に因り出廻り意の如くならず前年並に前月に比し共に激減した東支線は北歐並に米國における農作物不作豫想を傳へられ一時歐洲向買氣商談に活氣を呈し、大豆、豆粕、木材等稍強調を眺め長春引受車數一日平均五八車を算したが東南行割合は東行六〇に對し南行四〇にして依然東行優勢を呈し前年に比し五七%の減少を示した、朝鮮線方面發に於ては引續く財界の不況と銀安のため購買力の減退が一層濃厚となり發送上見るべきものなかつた

●埠頭狀況

出貨狀況上記の如く一般財界不況と降雨の支障を被りこの間一時輸出向の強調を眺めたが甘井子埠頭の作業開始に伴ひ鐵道到着は前年に比し一七%の減少を來した又發送にありては鞍山向鑛石類の發送を眺めて前年對比僅に一%の增加を見た、船舶關係より見るに歐洲向豆油一一、六九八瓩噸、大豆三一、三七六瓩噸日本内地向豆粕二〇、二一九瓩噸南洋向大豆九、四四七瓩噸等稍強調であつたがその他何れも見るべきものなく前年に比し三〇%の減少を示し又同輸入にありては樺太材の九、八〇七瓩噸、鋼鐵の八、一四六瓩噸を見たのみで前年同期に比し五三%の減退を示した

愛川村 水問題解決 (3)

本移民用地は全面積二百七十五町歩中、水田六十五町歩を開墾せしむる目的のもとに計畫し第一期(大正三年)灌漑設備として築造した貯水池は甲乙丙丁號及び新池一ヶ所、計五ケ所にしてその外に自然湧出箇所が二ヶ所あつた、然るに水源極めて不完全にして水量甚だ少く、灌漑し得るのは乙丙號兩貯水池にて七町歩、新池並に自然湧出の二ケ所にて約八町歩に過ぎなかつた、されば大正十三年に關東廳清水技師等が實地調査を遂げたところ地下水利用鑿井工事の有望なるを認めたので第二期の二ケ年繼續事業として經費豫算九千圓を計上し、南新田の東方に掘拔井二ケ所を掘鑿し、五馬力電動機を以て揚水することにしたが水量頗る豐富で依然減水しない狀態である、これにより丙號の中間に新設した貯水池に(三角池)並に井戸一ケ所を設け、又北新田の東方にも鑿井二ケ所に送水し灌漑する計畫であつたが湧出量少かつたので引續き復貯水池卽ち乙丙號及新池等の掘鑿をも行ひ湧水量を著しく增加した、一方金州民政署では大正十四年春季以後豫算一萬二千圓を投じて電氣の供給工事を施行し動力供給により揚水し年々耕作面積の增加を可能ならしめてゐる、更に大正十五年及昭和二年に亘り耕地の擴張と湧水量の增加を圖るために豫算七千圓で乙丙號、新池並に三角池の掘鑿を行ひ湧出量の增加を圖つたところ何れも湧出量豐富にして尚數十町歩を開墾するも灌漑水に不足を來さぬやうになり、かくて本村の水問題は全く解決され前途洋々たるものあるに至つた、各池の井水量及馬力數を示せば左の如し(括弧内はポンプ馬力)

乙號池二〇〇噸一時間(二〇馬力)△三角池一五〇(一五)△丙號池二五〇(二〇)△第一號池一〇〇(一〇)△沈井二號五〇(五)△上穗掘拔井五〇(五)△沈井二號四〇(五)△南新池一〇〇(一〇)△水田中池三〇(三)△西新池一五(一)△南洗濯池三〇(三)

工業博物館巡り
珍奇なる蒙古包 精巧な瓦斯製造工場の模型
(二) ◇…滿蒙館を觀る

滿蒙館

滿蒙館は三館中最も特色のある陳列室で專ら滿蒙に於ける各種工業關係の資料を網羅してゐる、當館は地下室と共に三階建で地下室には滿蒙の生活に必要なる暖房用具、支那在來の珍しい農工器具の多數が集められてゐる、特に珍奇なものに移動式蒙古包の實物がある、蒙古包の骨格の外部は羊毛で造られた厚い毛氈で蔽ひ大きさは直徑一丈五尺、高さ一丈で彼等蒙古人が適當な地を卜して居を定める時この包を建設すると僅か三十分間も要せず手輕に出來上ると云ふ、尚其他蒙古人の日常使用する色々な什器類、衣服類等が陳列されて參觀者に驚異の眼を見張らせてゐる

二階には南滿瓦斯會社の瓦斯製造工場の模型があり石炭(主に撫順炭)をレトルトと稱する密閉器に入れ外部より之を熱する時は攝氏六百度乃至九百度に於て瓦斯を發生して後にはコークスが殘る、此のガスは黄色を帶び所謂粗製ガスであるから之を精製室に導き種々の不純物を取去つて精製する、精製ガスは一度ガス瓶に蓄へ、それから市中に供給するが、その順序が此の模型によつて手に取る如く一目瞭然と理解することが出來る。

次にパノラマ式大模型と多數の標本とを集めた小野田セメント工場、鞍山製鐵所選鑛工場、撫順油母頁岩工場は目下模型の製作中であると云ふ事で、現在は大圖表で其製造工程を解說し、且つ實物標本を添へてあるから觀覽者は容易に是等の工場の神秘的操作を知ることが出來る、目下製作中の模型と云ふのは前に述べたやうに撫順油母頁岩工場及び硫安工場、同じく附屬蒸溜及パラフイン工場の模型及び撫順露天掘作業模型、鞍山貧鑛處理等で各其作業狀態をそのまゝ縮小して製作せらるゝもので何れも實物同樣運轉し得る精巧なものであるから之等の大模型陳列の曉には專門家と雖も現地に行かずしてこゝで充分研究が出來やう。

三階は始めに紹介した抽出式及壓搾式油房工場や松花子製造工場模型の大物や關東州鹽田の模型がある、其他農産加工品として酒類、油脂類、窯業製品として陶器、硝子器、特種煉瓦等滿洲獨特の工業生産品の標本や見本が多數陳列されてゐる(寫眞は滿蒙館内の一部)

黄塵

◇…金福鐵道では昨年度決算總會において一部株主より開業三年にして無配の憂目に逢着した重役の責任を追求され九日臨時總會において重役の更迭を附議することになつた。

◇…ところが當地の華人側株主は安承生部懷亭氏等の大株主が主となり各華人側株主の連判をとり重役更迭の反對決議を飛行便を以て總會宛送附するそうである。

◇…華人側が同社に投資したのは堀三之助氏を初め現重役を信頼したためであつて今更同氏等の更迭を迫るは本意でない飽くまで現重役を支持して社業の發達を期したいといふのである。

◇…鐵道事業の性質として開業二三年位で相當の業績を擧ぐることを期待するのが間違つてゐるまして現下の不況時においてをやだ。

◇…從來華人は會社經營に對して理解がないと評せられたものであるがこれでみると理解がないどころか不良會社の當事者に對して無理に蛸配を強要する株主の多い日本人より一層理解もあり堅實であるとも言へやう。

一品料理の元祖 われ等が『おきな』
繩のれん式小料理屋獨特の 持味を遺憾なく發揮

◇…**大連人** で滿月や淺月のやうな一流料理店は知らなくとも吉野町八五にある一品料理の元祖「おきな」を知らぬものはあるまい、それほど「おきな」は大衆向きであり、ポピユラーであり、我等の「おきな」なんである、なにがこんなに「おきな黨」を作つたか、それはおきなが純粹な繩のれん式小料理屋の持味を申分なく發揮してゐる點において大連唯一のものだからだ、何でも一品十五錢均一でうまい料理をやゝこしく勿たいぶらずに手取早く簡易に味はゝせてくれるからだ

◇…**主人の** 柴田勝治さんは名人氣質で通つており、細君の春子さんも亦おやぢさんと同じ氣持でやつてゐるところに外の店で眞似の出來ぬこの店の特長がある料理のいゝのもおやぢさんが必ず自分で吟味して材料を買出し、自分で庖丁をとられば承知出來ぬからである、從つていくらすゝめられても支店も出さねば、出前持をすることすら頑として承知しない細君の方でも總てお客に料理を味つて頂くといふことのみを願つて

ゐるので至極サパ／＼したもので御世辭や御追從どころか、どちらがお客さんだか分らぬことさへある位だ、例へばお客の方であんまり醉つぱらへば喧しくいつてそれ以上飲ませなかつたり、チップでも置くものがあれば「こんな譯の分らぬものは頂けません」とおつかけて行つてでも返すといつた鯁だ、また相手が誰だらうが掛けは一切斷つて現金制にしてゐるのもこの店の開業以來のしきたりになつてゐる

◇…**主人は** 兵庫縣の人、大阪や神戸の一流料理店で腕を磨き、一時は浦鹽で陸軍御用商人になつたこともあるがうまくゆかなかつた、大連に渡つたのが大正十二年、上陸當時タツタ二圓五十錢しかなかつたといふ工合で隨分苦心したものだ、昭和元年に大連の料理が滅法に高すぎ、簡易料理店がないところに目をつけて初めて一品十五錢均一制を初めたのが見事圖に當つた譯だ、そして繁昌つぷりが先に述べたやうな有樣だからひいき筋は隨分多方面に亘つてゐる、滿鐵の高級社員から月給取り、職人、學生、藝者衆に至るまで甚だ多く、家族同伴なぞも誂へ向なので隨分と多い、前の小日山理事なども折々足を運んだもので、一昨年北京の動亂を星ケ浦に避けてゐた芳澤公使の夫人の如きも誰に聞いたものか、餘程興がつたと見えて御飯食べに來たことがあり、こんな例はちよいちよいあるさうだ

市況(四日)

特産 人氣引立たず 豆油低落

今朝の定期は依然として先安見越しに人氣なく各品共に弱く大豆寄高なりしも引け安く豆粕は豆安に伴ひて軟調を示し豆油は氣落に低落を辿り高梁も軟調に推移した

◇定期前場(銀建)

▲大豆(軟調)

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	七四〇	七四〇	七三〇	
十月末	七三〇	七三〇	七二〇	
十一月末	七二〇	七二〇	七一〇	
十二月末	七二〇	七二〇	七一〇	
一月末	七二〇	七二〇	七一〇	

出來高 百五十六車

▲豆粕(軟調)

限月	寄付	高値	安値
九月限	二四九〇	二五〇〇	二四八〇

出來高 千枚

▲豆油(低落)

出來高 八千箱

▲高粱(軟調)

出來高 五十四車

▲包米(出來不申)

◇現物前場(銀建)

混保大豆(袋込)七四七〇　大豆(裸物) 七四…

◇定期喰合高(三日)

		前日對比
大豆	二三六二車	△
高粱	八九一車	
豆粕	一六一千枚	
豆油	一二四五百箱	

商品 前場

綿糸は氣乘薄 麻袋は不變

●麻袋(同事) 産地青十六高級四分の一高なるも爲替一高と保合を入れ銀塊十六安銀票低落と不氣乘のため

●綿糸(變らず) 米棉廿五締り大阪三品市場は寄鼻小を示したが引は反落し而も銀票安で華商側氣乘らず綿絲追驅賣と手仕舞物で相手手…

錢鈔

標金の軟弱に 鈔票強含

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は十六片十六分の七と(十六分の三安)先物十六片十六分の七と(十六分の三安)紐育は三十五仙二五…

◇定期

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十二月限	一二六、八	四〇
同	同	一二四、三	二〇
同	一月限	一二四、七	九〇
出來高	百七十梱	一二四、二	一〇

市場電報(五日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一六片十六分七
同 先物	一六片十六分七
紐育銀塊	三五仙二五
孟買銀塊	四七留比
スチール	一六九弗〇分
アナコンダ	四〇弗
英米爲替	四弗八六仙八分
米日爲替	四九弗三分
米支爲替	二九弗…

綿糸

米棉情報は空賣りの買埋と産地の天候幾分惡化の模樣あるため市況は取引も可成り活潑であるとあり米棉は現物十ポイント先物十四五ポイント高を示した前日落したゞけ引戻した譯だ▲大阪三品は寄鼻各限共一圓踏みの昂騰を示したが引は一圓安となり結局前日止値と同事で頼りない場面であつた▲地場は銀票の不冴えで華商側氣乘薄の風情であつたが輸入商筋の追驅賣りと利喰に相當の手合をみた▲けふあすの内に發表される筈の紡績聯業會の八月中における生産高がどんな數字を示すか米棉相場よりもむしろそれを氣にしてゐる相場振りであるが前月の意外な減産の反動で八月は豫想外に增産を示してゐるのではないかとみられてゐる

爲替相場(四日正午)

正金(銀勘定)	
日本向參着賣(銀賣)	五〇圓二五
同 十五日買(同)	五〇圓三五
上海向參着賣(銀賣)	七二兩五〇
正金(金勘定)	
倫敦向電信賣(圓)	二志〇片廿三分ノ十一

印度麻袋

青筋直積	三四留比八分七
鐵筋直積	三二留比二分一
爲替相場	一三七留比二分一

橫濱生糸・神戸豆粕・大阪棉花・大阪綿糸・仁川期米・東京期米・大阪株式・東京株式・安東株式・大阪期米・大阪株式・滿鐵株(稍安い)

奥地市況(四日前場)

手形交換(四日)　錢鈔　特産　鮮銀(金勘定)

滿洲日報

東亞經濟調査局編

★1930年版 滿洲讀本

菊版 四〇〇頁 定價金二圓 送料十二錢

『先づ一本を手にして滿蒙を展望せよ』

滿洲に關する知識の平易なる說明書として出版された本書は昭和二年版を增補訂正し更に其の後の新事象一切を加へ全く一九三〇年にふさはしくなつた。學校、圖書館、會社、一般家庭に備附けは勿論、滿洲土產としてこの位氣の利いたものはない。更に本書に依て滿洲の正しい現況を故鄉の父母、知己等へ知らせるさもまた出身學校等へ寄贈して正しい滿洲の姿を普及せしめることも、吾人の爲さねばならぬ最大急務であらう。

內容要目
- ◆滿洲の展望
- ◆滿洲の支那人
- ◆滿洲の日本人
- ◆產業界
- ◆交通商業及貿易
- ◆關東州
- ◆南滿洲鐵道株式會社
- ◆滿洲の主要都市
- ◆滿洲の對外關係

發賣所 大連市紀伊町 電話三八〇五 中日文化協會 / 大連市浪速町 電話五一八八 大阪屋號書店

各地書店にも販賣

鑛業に關する總ての御相談に應じます

大連市兒玉町四番地 電話六五四四番 八丁鑛業所

製品 鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號裝置 鐵橋鐵桁、鐵骨家屋、豆油容器、煖爐類

株式會社 大連機械製作所

本店 大連市沙河口臺山町 電話(代表共通番號 九一五二一番)(夜間及長距離 九一五三一番)

支店並分工場 奉天西塔大街三丁目 電話二二〇三番

要目 汽罐、汽機煙突、各種機械類、設計、製造、据付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並眞鍮鑄物、酸素瓦斯

建築・設計・監督 構造・計算・鑑定

宗像建築事務所

大連市連鎖商店街広小路 工学士 宗像主一 電話三回九五番

西洋家具・室內裝飾 設計製作・織物敷物 窓掛壁紙・リノリューム 裝飾用材料・其他色々

品川洋行

大連市敷島町三番地 電話六四五〇番 振替大連三二九五〇番

蜂(ハチ)ブドー酒(シユ)

如何な榮養

でも攝取されたそれが吸收不充分だとしたら これほど生理的徒勞はありません

每食前食後 蜂ブドー酒の一杯は あゝ美味しかつた の外に榮養の吸收を容易ならしむる絕大な力を發揮いたします

—食前の一杯は血を增し肉を肥す—

東京 大阪 近藤利兵衛商店 謹製

大連工業株式會社

專賣特許 耐寒防水覆布

各種テント 學生服 雨合羽

洋服・家具・室內裝飾

大連市磐立町二 電話 八二二八 四一三一 四六一六 二一六二

小兒科專門 今井醫院

大連紀伊町二七 電話六〇五〇番

自動車用品 自動車發油 赤貝揮發油 モビール油 タイヤー 吹付ラッカー塗裝

泰昌洋行

大連市若狹町三番地 稻垣幸次郎 電話局二一〇七二番 振替大連四八八五番

病弱に惱む人 健康を望む人 等しく 此松葉製 モントゾン溫浴劑の愛用者なり

本浴劑は新鮮なるオゾンと多量の酸素を發散し松葉の清香は一浴心身を爽快ならしめ健康を增

總代理店 大連市二葉町十五番地 合資會社 米倉啓介商店 電話二一四七〇番

墺國リヒ・クリンガー會社製

クリンゲリツトジヨインチンク

クリンガーゲージ(水準計)

クリンガーゲージグラス(水準計用硝子)

入荷在庫豐富 多小に拘らず御用命を願ひます

總代理店 東京文化貿易商社 杉元商店

大連市榮町一五 電話三八八七・五七九八番

萬泉刃物店

大連市浪速町二丁目 電話三〇四五番 振替大連三二四六番

品質優良 白米

多少に拘らず御用命願上ます

米穀商 志摩洋行

大連市若狹町 電話(三二六九)(四三四九)

大連市西廣場西入る電車道

池田小兒科專門醫院

池田嘉一郎 電話六三六五番

大連市三河町二番地 日下齒科醫院 電話三三六七番

大阪屋號書店

滿書堂書籍部

最新刊

- 杉本文雄著 滿洲ごはん 實價一圓五十七錢送料八錢
- 岩瀨又吉著 肺病征服記 實價一圓五十七錢送料八錢
- 洪洋社著 石燈籠集 實價一圓十五錢送料六錢
- 三省堂編 新鐵道地圖 實價四十五錢送料四錢
- 速水不染著 貧死のどん底から家主となるまで 實價一圓五錢送料十錢
- トロツキイ著 吉野季吉譯 自己暴露 實價一圓八十九錢送料十四錢
- 高橋立身著 子ども國史 神代の日本 實價八十四錢送料六錢
- 西山庸平著 姉と弟 實價八十四錢送料六錢
- 萩原井泉水著 奧の細道を尋ねて 實價一圓八十九錢送料十錢
- 谷譲次譯 猶太人ジユース 實價一圓五十七錢送料十二錢
- 和田六識子著 財界は脈打つ 實價一圓八十九錢送料十錢
- 小泉鐵著 性的解放時代 實價一圓二十六錢送料八錢
- 戶田一外著 船醫風景 實價二圓十錢送料十二錢
- 佐野學著 社會史研究 實價一圓五十七錢送料十錢
- 今和吉田著 モデルノロヂオ 實價三圓九十九錢送料二十錢
- 眞山青果著 戲曲江藤新平 實價一圓二十六錢送料八錢
- 駒井卓著 生物學叢話 實價二圓六十二錢送料十二錢

最新刊

- 田中貢太郎著 旋風時代 實價二圓十錢送料十二錢
- 藤井林藏著 此の人を見よ
- 秋山昌男著 滿蒙事情十六講 實價八十錢
- 難波勝治著 新天地を求めて
- 井上市太著 五人の穴と私
- 池田林儀著 新興ドイツ魂 實價二圓十錢
- 木村小舟著 奈良の卷 實價一圓六十八錢送料十二錢
- 齋藤茂吉著 隨筆念珠集 實價二圓十錢送料十錢
- 東亞經濟調査局著 滿洲讀本 實價二圓送料十二錢
- 前田実稱著 豫算の知識 實價一圓五十七錢送料十錢
- 青山正夫著 性慾生活
- 北原鐵雄著 世界の王 實價一圓五十七錢
- 滿洲日報社著 滿蒙日本 實價一圓八十錢送料十八錢
- 山本条太郎著 經濟國策の提唱 實價五十二錢送料六錢
- 佃田民樹著 眞理の春 實價一圓五十七錢送料十錢
- 守田有秋著 變態性慾 實價一圓五十七錢送料八錢
- 飯塚啓著 日本動物圖鑑
- 牧野富太郎著 日本植物圖鑑 實價十五圓

去年より早い冬物出荷

福助足袋

家庭・學藝

日本語とローマ字（一）
……ヨシタケ氏の再考を乞ふ……
久留島種治

八月十四日から六日間本紙に連載されたヨシタケ氏のローマ字反對論は近來稀に見る大論文であるが氏の議論中に私の同意し兼ねる點が少くないので順を追ふて私見を述べ氏の教へを仰ぎたいと思ふ

氏は「外國から借りた文字は國語を寫すのに不都合を生じるものだ」と言つて我國に於ける漢字の例を擧げローマ字採用が根本から誤つて居る樣に言つて居られるがこれは文字としての價値の著るしく異つて居る漢字とローマ字を同等に扱つた爲に生じた大きな謬論である。漢字が日本語に不適當なのは夫が支那で發達した表語文字であるからで、外國で發達した音節文字では國語を都合よく寫す事は出來ないが單音文字でなら假名以上は都合よく國語を寫す事が出來るものである。

次に氏は「ローマ字には總體的に觀て文字の理想に合致しない點が六ツある」と言つて居られるが夫れは何れも理想の文字が具へるべき條件の中でも極めて細微なものばかりで有るから全然問題ではない。能くよく調べて見るとカナも其の理想には殆ど合つて居ないそれを順次說明して行かう。

一、字母の呼名

文字は言葉を寫す爲の道具であつて字母の一ツ一ツを取出して使ふ事は文字の主な使途ではない。從つて其の第二義的の使途に必要な字母の呼名は綴り方程重要なものではない。カナも地理的、歷史的に色々呼名のある事はローマ字と同じである

二、字母の呼名と發音

字母の呼名が重要なものでない以上之も亦第二義的の問題に過ぎない。假名にも呼名と發音の一致しないものが相當あることは假名遣ひを見れば直分る、字母の呼名を世界的に統一する事は得る所が少くて失ふ所が多い、日本式の呼名は英語等のよりも世界的である

三、一字一音主義

一字一音は文字としての最高又は絕對の條件ではないが日本式ローマ字は氏の要求せられる程度でなら此の主義に適つてゐる。正字法の理想から言へば言葉を與へて文字が、文字を見て言葉が一義的に且簡單に定まれば十分である

四、大文字と小文字

大文字と小文字の間には親子以上の密接な關係があるからローマ字は二十六の家族に纏める事が出來る。故にカナとの比較には四八對二六として差支ない。カナも濁音其他を合せると八十以上になる。大文字から小文字が出たのは漢字からカナが出たのと良く似て居る。カナは漢字よりもはるかに進んだ文字だのに今尚獨立出來ないで「歷史的文化の殘骸」である漢字にまぜて使はれて居るのは何故だらう

カナに大文字を作らうとして隨分苦心して居る人がある。欲しくても無いのさ、使ひたくなければ使はなければ濟むのさどちらが……まれて居るだらう

五、筆記體と印刷體

今日でもカナ論者の署名等には一寸想像もつきかねる程印刷體とかけはなれたのが有る。將來カナに筆記體が出來ない等とどうして斷言出來やう？

六、文字と數字の共通

外國語では數字はコトバと離すのが文法的であるが日本語では數詞に助數詞を添えたものを一纏めに書くのが正しい。併しカナやローマ字は數字に續けて書くと體裁が惡いから其の間にツナギを入れるか或は全く離すのが良い（田丸博士著「ローマ字文の研究」一五五頁參照）

レントゲン線の話（一）
TM生

近代醫學に於けるレントゲン學の普及發達は實に著るしいもので經過時代の事を考へて見ると實に隔世の感がありますにも拘らず世の中には今尚レントゲン線とX線とは異つた線だと思つてたり銃丸や針釘の類が身體内に入つた時とか銀貨や銅貨をのみこんだ時とか骨折脫臼の檢査をする時などにだけ必要なもの、樣に思つてゐる無關心な人達があつたり、或は又レントゲン線を無暗に危險なもの、樣に思つたり、一度でも身體にかゝると子供が出來なくなると恐れてゐる人達のあることは遺憾に思はれますからレントゲン線とは如何なるもので現代に於ての實際醫學の診療に當り如何樣にそれが利用されてゐるかを極通俗的に述べて見たいと思ひます

一、X線の發見

ドイツウルツブルグ大學の物理學教授であつたウキルヘルム、コンラード、レントゲン先生が眞空管内の放電現象に就て研究中眞空管を黒紙で包み何等光線がもれない樣にしておいたに拘らず約三米突も距つた青化白金バリウムを塗つた板が輝いたのに氣付き該管から一種不可思議なる放射線が出るものと考へ未知の線即ちX線と名付けて一八九五年吾國の明治二十八年にドイツの物理學協會の席上で此の偉大なる發見を公にされたのであります

當時は恐らく先生自身も後世に於てそれがかくも有益な線にならうとは思つてゐられなかつたらうと云ふ事です、そして其翌年から學會では榮譽ある氏の名を冠して「レントゲン線」と稱することになり先生の偉業を永劫に記念することになつたのであります。故にX光線もレントゲン線も同じであります英、米、佛ではエックス線と稱へ吾國ではレントゲン線と多く呼ばれてゐます

因にレントゲン先生はこの發見をなされたのが實に五十歳の時で一九〇一年には物理のノーベル賞を貰はれ、自然科學のために一身を捧げ熱心研究に從事された眞の大學者でありました。そして一九二三年（大正十二年）七十九歳の高齡を以て不滅の名を世界に殘して獨逸ミユンヘン市で永眠されました【寫眞はレントゲン氏】

釣つた釣つた大きな魚

魚もこんな大きな奴を釣り上げたらさぞ痛快であらう、これは米國の某アマチア釣魚家がアメリカ近海で釣つたカヂキトホシ（旗魚）であろ、此の魚は主として大西洋の溫暖な地方に住み夏になるとアメリカの海岸に近づいて來るが冬になるとどこともなく姿を消してしまふ、太平洋には滅多に姿を見せないから我々には見られないわけだ、此のカジキトホシは嘴の長い魚の一種でサーベルのやうに鋭い嘴を持つてゐるところからスオードフィッシュの名がある、此魚に取つては此の嘴が唯一の武器だ、そしてその大きな鱗と新月狀をした強力な尾鰭とは此魚に素晴らしい游泳力とスピードとを與へてゐる、そして其の强大な力は優に小蒸汽を引つ張り廻すといふから驚いたものである、大きさは普通七フィート位、目方は三十五ポンドもあるさうである

私の老虎灘街道（下）
……十九年前の思ひ出……
千隈次郎

老虎灘に行く路は、今の桃源臺一派出所の前から左に折れ、嶺前小學校の裏の、川に沿ふた路のも一ツ東の崖の下を其根に沿ふて、今の平和臺の邊で、鹽田の端に出て電車通りのもつと西を通つて汐見橋に通じて居たのであつた。

傅家莊街道と老虎灘街道との分れ路の、股になつた間に、卽ち今新築中の滿日ガラーヂの邊から桃源橋位までの處に、大分廣い畑地があつて、滿鐵の電鐵運輸計畫は此畑の中に電車軌條を敷設する事になつておつて、此處に線路用地を買取する事が私の任務の大部分であつた。

此畑地は、今でも嶺前小學校の北に殘つて居る部落と、傅家莊街道の入口に殘つて居る部落…李家屯といふ村の村民の所有地であるから、私はまづ村長を訪れて、線路用地買上の相談を持ちかけた處、表面大贊成の樣な顏をしながら、裏へ廻つて村民を色々な策動をして居るらしく、中々話が纏まらない。

そこで私は村長を通じて、十五六人の地主に畑の中に集合を命じ三日間腹の虫を殺して、丹念に彼等に利害關係を說き、第四日目に至つて初めて「賣りませう」といふ聲を聞いて、大安心をした。此時分滿日紙上に「滿鐵地方課員千隈氏李家屯村民に毆打さる」等と記事が出た事ほど左樣に厄介な交渉であつた、その談判をした地點は今傅家莊街道馬鐵出張所のある處であつた。

それから話はトンノ\拍子に進んで、支那人關係の土地買收は成功裡に終りを告げたが、次に日本人の農場用地を少し賣つて貰ふ事となり、支那人におさかされたあとでもあり、先方が六つかしい事を云ひはすまいかとビクビクもので、グチヤつく濕地を飛び越えて臥龍臺の下あたりにあつた名は忘れたが或る農場に行つて恐る恐る切り出すと、髭の生えた頭のない恐ろしい顏をした日本人が應對して「さういふ公共の事業にならば土地はいくらでもよろこんで出します」といはれて、全く日本人は氣前がいゝなと思つて心から感謝せずにはおられなかつた、その氣前のよかつた日本人は先年亡くなられた土屋統三郎氏その人であつたといふ事があとで知つた。

其農場から歸り道、畑を通つて李家屯に出る可く西に向つて行くと、一流の小川があつて、兩岸には草が々と生ひ茂り、澄切つた水が潺々と流れて居る、其小川の上は青々とした山につゞいて居つて何ともいへない風景であつた「此山の頂邊に別莊でも造つて、悠々自適したならば」などゝ考へた事があつた。その山が今の鳴鶴臺で其の下を流れてゐる小川は姿こそ現代離になつておれ、水の量こそ減つておれ、依然昔のその小川なのである。

今私は十九年前に、支那人と電車線路用地買收の交渉をした傅家莊街道の分岐點近くに居を卜し、十九年前に「別莊でも造つたら」と思つた鳴鶴臺に、別莊ならぬ貧弱な住宅を建築中であり、また曾て自分が一寸でもタッチした因縁のある、老虎灘線の電車を日々利用しつゝある事は、偶然とも思はれぬ偶然として、老虎灘街道のスピード的發展に驚くと同時に、私と老虎灘街道との間に、奇しき因縁の淺からざるものある事を感ずるのである（寫眞は現在の老虎灘街道）

干渉と放任
……四……

太郎のお友達に美しい繪のはいつたご本や雜誌を澤山買つて貰つてゐる者があつたので、學校のご本ばかり讀んで飽いてゐた太郎は、或る日それを一冊借りて歸つて大變面白がつて讀んでゐるとお母さんからひどく叱られた。

「そんなご本を讀んでゐる暇があつたら學校のご本を讀みなさい、馬鹿な子供だ、そんなご本がいくら上手に讀めたつて學校の先生は甲はくれませんよ」

三吉は或日、自轉車のハンドルのところに綺麗な花輪をつけて走つてゐるのを見た、それは郵便屋の小僧だつたが三吉には大變美しく偉さうに見えた。三吉は早速近所の家の庭に這入つて綺麗に咲いたダリヤの花をむしり取つて自分の自轉車のハンドルにくゝり附け得意になつて近所を乘廻した。

お母さんはそれを見て別に叱らうともしなかつた。

夜を怖れる子供への教訓
夜の神秘（三）
ルイズハスチングス　春路譯

「お父さん、ごらんなさい、虫がとんでゐますよ、あんなに遠く飛んでゐる虫でもヒキガヘルは捕るのですか」

「さうだ、それはまるで魔法遣ひのやうだ」

「ヒキガヘルはどうしてピヨンピヨン飛ばないの？」アーサーは第二の質問を放ちました。

今度はお母さんが口を出して

「それはね、ピヨンピヨンはねれば虫がみんな逃てしまふからです、虫が逃れば御馳走がなくなつてしまひます、わかつたでせう、此のヒキガヘルは私達のお友達で、美しい夜の神秘の一つです、私達がこんなに遲く散歩に出たのはおまへにこんな神秘を見せてあげやうと思つたからです」

「さうでしたか、私はそんなことだとは知らないでゐました、だけどお母さん、ヒキガヘルなんかちつとも美しくないぢやありませんか」アーサーは少し不平でした、

「美しくないつて？何あに美しくないことがあるものか、お前はヒキガヘルを醜いもの、いやらしいものと思つてゐるかも知れないがヒキガヘルは私達のためには有益な動物なのだ、ヒキガヘルは夜になるとお庭の隅からノコノコ這ひ出して來て人間に害を與へる小さな虫を捕つて食べてくれるのだ」お父さんは說明してきかせました、

お母さんはしつとりぬれた草の隅をながめながら

「さあ、もう遲いから歸つて寢ませう」

「お母さん、明日の朝は早く起きてお日樣の出ない中にこゝいらを散歩しませうね」

「それがいゝ、そしてヒキガヘルが後脚でノコノコ歩きながら自分のお家の穴の中に歸つてゆくのを見ませう」

三人は又手をつなぎ合つてホテルの方に歸りましたが、ホテルの前のところでお父さんはアーサーに言ひました、

「どうだ、夜は面白いだらう、夜は私達の晝見られない、いろいろの不思議なものを見ることが出來るのだ」

「ほんとに夜は面白いものですね」

アーサーは夜に對する興味を今晩はじめて知ることが出來たのでした（をはり）

祝創刊二十五周年並に社屋新築記念

祝詞

惟ふに事物の隆興は相共に文教思想の發達を促進して歇まざるべし之れ時の古今洋の東西を通じて威其軌を一にする所畢竟ずる文明の進運は物質と文教二ツながら缺くるなきを謂ふ翻つて我大連市が僅々過去廿有五星霜にして尙且今日の隆昌を臻せるを想起する時吾人はそが啻に歷代爲政者の功績のみに止まらず孜々營々として其建設を翼助せる大方市民諸賢の愛市的公共觀念と努力に俟つもの甚だ尠少ならざるを知り茲に衷心敬意を拂ふに躊躇せず殊に其が治政に商工業に文化に思想に報導に凡そ社會文明の基調を成す總ゆる一切のものに對し毎に時代の尖端に立ちて侃諤の言論を吐露し以て人心の歸趨傾嚮を過らしむるなく市と齢を同ふして奮鬪せる滿日紙の偉大なる功績を賞せざらんとするも能はざる所なりとす蓋し斯感を深くするもの豈獨り吾人のみならんや而して吾等同紙今日の盛典を觀るに會して誠に快心に不堪冀くば今後一層自重自責以て我大連市の爲に貢獻せられんことを此機會に際り一言祝詞を呈す

九月四日

合資會社 大連タクシー

西部支店　中央營業所　南部營業所　建築中桃源臺支店

合同一週年の記念に方り 大方各位に御禮を申上ます

我大タクは、舊大連タクシー及稻妻タクシーを打つて一丸としましたもので、來る九月七日は、早くも滿一ケ年の誕辰を閲することになりました。此間私共は大方各位の甚大なる御援助と御愛顧を深く〳〵感銘して須臾も忘るゝことが御座いませぬ。御蔭を以て業務は日に月に旺盛に、愈々堅實味を加へて行くばかりで御座います。私共は、常に果して何を以てすれば此御恩顧に酬ひ得るゝかを懼れてをります。併し乍ら、些少たりとも大連交通界に意義ある奉仕をせんと焦慮して止まない我大タクの微衷を御諒察下さいまして、今後共陪舊の御引立と御指導を賜はるならば誠に幸とする所で御座います。

合同一週年を記念し 來る七日に御乘車下さいました皆樣へ聊かながら漏れなく粗品を差上げ度存じます

大タクの現在と將來

現在、我大タクは、山縣通りの本店以外に、常盤橋、中央營業所と春日町の兩營業所を初め、他の重要なる地點六ケ所に、支店及出張所を有してをります。是等の中

●大正通り及京町に在る沙河口各支店は、去る六月一日舊名沙河口タクシーを合同しましたもので

●若狹町に在ります第一タクシーは、同七月十日から其儘委任經營の形式を以て我大タクが營業を繼續してをります。次に

●山縣通り出張所は、昨今車庫の狹隘を感じてをりますので、最近適當の箇所へ移轉擴張を目論む豫定になつてをります。そして

●若松町支店は、既に夙くより同方面御華客様の御希望もあり、旁一般御利用下さる御客様の急激なる増加により、到底現在の狀態では往々輸送能力に澁滯を來たしますので、之れが一層の發展を企圖して豫て建築中の桃源臺營業所が近々其竣成を告ぐるを待ち、新裝の上移轉開業の御披露をすることになつてをります。

右樣各方面とも異常の成蹟を擧げてをります。茲に再度御禮を申上げます。私共は此機を逸せず、獅子奮迅將來大連を自動車化するてう意氣込みを以て、眞實渾身の努力を傾注しつくして余す所がないので御座います。どうか私共の此熱意をも充分御くみ取り下さることを切望に堪へない次第で御座います。

大タクの電話

本店　中央營業所　南部營業所　逢阪町支店　山縣通支店　西部支店

八五四六　五七七四　三八六四　八五一八　五二六三　三三五八　五五〇二　六五五七　七八四一　八九三五　九六〇一　九三二四

沙河口支店　九五一二　九五三六

若松町支店　四五一五

星ヶ浦出張所　九一ノ二一

若狹町第一タクシー　八四一九　六九六四

旅順支店　五二二三

工場　二一八〇

合資會社 大連タクシー

氣分の出るやう「巡査」の職名變更

選ばれた名稱「警吏」「警査」「巡吏」

獨身合宿も「警察寮」に

【東京特電四日發】内務省では全國警察の「巡査」といふ職名を實際大衆の保護警戒に任じてゐるのだから何かその氣分の出るやうな職名に變更することに内定し急速にその研究調査方を警視廳に命じた、この命令に接した警視廳では高橋警務部長が主任となり數回部長會議を開き協議を重ねた結果、やつと選ばれた名稱は「警吏」「警査」「巡吏」の三つである、巡査が「警査」になつても「警吏」「巡吏」になつても大して變りはないやうだが、當局としては相當權威あるものを選び改惡の譏りを受ざるやうなほ充分研究のうへ決定するさうだ、なほ警視廳では管下各署にある獨身巡査の巡査合宿所は名稱が面白くないといふので巡査の職名變更と共にこの際「警察寮」と變更することにほゞ内定した

市議補缺戰に早くも妨害沙汰

選擧の妨害事項について　千葉高等係主任語る

市議補缺戰に辭り野頭立候補の名乘を揚げた甕谷候補の運動に對し早くも選擧妨害の目的で市内數ケ所の立看板を連日の如く鋭利なナイフでズタ〳〵に切りさいて歩く者があり、なほ同候補の推薦者杉田氏に對し電話で脅迫がましいこ

選擧運動のためにする立札の類を故なく勝手に其の場所を移動したり、またその立札の類を毀損したものは關東州市制施行規則第二十六條の十七により百圓以下の罰金に處せらるゝのであるから立札が假令自宅の邪魔になつても

勝手に 動かしてはならぬ又立札の類を破つたり、毀したりしてはならぬのである、選擧運動の爲め使用する文書、圖畫は郵便又は新聞による廣告以外に頒布することが出來ないのであるが、たゞ例外として演說會の告知の爲め使用する文書にして新聞紙に折り込み頒布するもの丈けは認められて居る、これも反則者は前同樣百圓以下の罰金に處せられるのである、何人でも投票を得若くは得しめ又は得しめざる目的で連續して個々の選擧人に對し面接したり又は電話で選擧運動をしたなれば同施行規則第二十六條の十五で六月以下の禁錮又は百圓以下の

罰金に 處せらる、往々電話等で候補者や選擧事務長等に對し脅迫がましい事を通話して色々と選擧妨害をするものがあるが、これに對する條文は同施行規則第二十六條の三第一項第二號に交通若くは集會の便を妨げ又は演說を妨害しその他僞計詐術等不正の方法を以て選擧の自由を妨害したときとあつて、此場合は一年以下の懲役若しくは禁錮又は二百圓 以下の罰金に處せられるのであつて、條文は廣汎に亘るのであるから充分注意して貰ひたい

文武官獻上の『花蔭亭』拜觀をお許し

【東京四日發電通】御大典奉祝のため、全國文武官三十萬人から獻上した宮城内御休所「花蔭亭」「澄空亭」那須御用邸の「緑嘯亭」は畏くも御感深く來る十月ごろ倉富樞相以下在京親任官、各廳代表者を召させられて花蔭亭を拜觀せしめらるゝやに拜承する

惡辣な妨害者があるので

大連署高等係では目下犯人搜査中である、選擧妨害事項に就き大連警察署高等係主任千葉警部は語る

といふ者など相當

氣持の悪い埠頭の寂れ方

海運界の不況、八月中の海務局の統計がこれを如實に物語つてゐる、入港船舶二百六隻、その總噸數六十八萬九千六噸、檢疫人員數四萬三千…これを昨年の八月と比較すると、船舶數百十七隻、噸數で三十六千九百六十一噸、人員で一萬三〇五名の減少、係員一同この恐ろしい減少ぶりに驚き「月毎にグン〳〵減つて行つて氣持が悪い位ですよ」といつてゐる

8A―3　凡失續出して長商再び敗る

對滿倶二回戰の戰績

長崎高商對滿倶第二回戰は三日午後四時十分より滿倶球場に於て宮武(球)木下、上原(壘)三氏審判、長崎先攻で開始したが、長崎僅かに二回に一點、三回二點を上げたるに反し、滿倶は一、二、四七回にそれ〴〵一點づゝ六、八回に二點づゝ計八點を入れ八A對三で再勝す、閉戰六時

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
長得點	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
滿得點	1	1	0	1	0	2	1	2	A	8

二經過二

△第一回 長商二死後山本一壘線寄り二壘打、續く永田の左翼前打に山本三進したが、小田部二匍▲滿倶一死後芥田一匍トンネルに出で二盜、疋田の投匍に芥田三進、吉野の三匍失に芥田還り吉野二盜して刺さる

△第二回 長商佐藤三壘寄り内野單打に出で二盜、久慈、岩瀨四球で無死滿壘、釣川の二匍に佐藤還り走者それ〴〵進壘、久甫の投直飛に久慈併殺▲滿倶二死後高須遊匍惡投、青山遊匍低投に鈴田の二壘上單打に高須生還、青山二進、綠川二匍

△第三回 長商鮫島三越單打(久甫代走)久甫二盜、山本四球、永田の一匍に山本二壘封殺、久甫三進、永田二盜、小田部投前バントに疋田、青山飛び出し鈴田入つたが青山の投球を失して久甫還り、小田部の二盜を刺さんとし片岡二壘高投して永田還り剰く二者凡退▲滿倶三者凡退

△第四回 (青山退き山口投手となる) 長商無爲▲滿倶片岡一匍失中井のバントを投手二壘封殺せんとして二壘に投球したが二失片岡三盜、中井二盜、高須の單打で片岡還り中井三進、高須二盜、山口三振、鈴田のスクイズ仕損ひに中井三本間に挾殺、高須三進、鈴田投ゴロ

△第五回 兩軍無爲

△第六回 長商佐藤死球久慈のバントを山口失して佐藤二進、岩瀨の投前バントに二走者進み釣川の遊匍に佐藤本壘を衝かんとし吉野直に本壘に投球したが佐藤三壘にかへる、片岡三壘に投球したが中井失して三走者生き鮫島三直飛▲滿倶吉野三匍失、片岡中前單打に吉野二三進片岡二盜中井の遊越テキサスに吉野還り片岡三進、高須投飛、中井二盜、山口の遊撃右を拔く單打に片岡還り、鈴田の中飛に中井本壘を衝いたがオーバーランして刺さる

△第七回 長商三者凡退▲(長商加藤、永田交代す)滿倶和田(綠川と交代)一壘寄り内野單打に出で芥田の投前犠バントで二進疋田の左翼左單打に和田三進、吉野の二匍、二壘の小田部本壘を衝いた和田を刺さんとして投球したが間に合はず疋田三進、中井三振片岡の二匍に吉野三進、

△第八回 長商凡退▲滿倶高須二匍、山口投强襲單打(高須代走)鈴田三振、高須二盜、和田の左前單打に高須三進、芥田の遊失に高須還り和田二三進、疋田の投手足下を拔く單打に和田還り芥田二三進、吉野二匍

▲第九回 長商最後の攻擊も空しく無爲

(長商)

	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四球	過失
3 久甫	5	0	0	0	0	0	0	2
2 鮫島	5	1	1	0	1	0	0	0
7 山本	3	0	1	0	0	1	0	0
19 永田	3	1	1	0	1	0	1	0
4 小田部	4	0	0	0	0	0	0	0
91 佐藤	3	1	1	0	1	0	0	0
5 久慈	3	0	0	0	0	1	1	2
6 岩瀨	2	0	0	1	0	0	1	0
8 釣川	4	0	0	0	0	0	0	4
計	32	3	4	1	3	1	4	8
9 綠川	3	0	0	0	0	1	0	0

(滿倶)

	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四球	過失
9 和田	2	2	2	0	0	0	0	0
8 芥田	4	1	0	1	1	0	0	0
3 疋田	5	0	2	0	0	0	0	1
6 吉野	5	1	0	0	0	0	0	0
2 片岡	4	2	1	0	2	0	0	1
5 中井	4	0	1	0	2	1	0	1
7 高須	4	1	1	0	1	0	0	0
1 青山	1	0	0	0	0	0	0	0
1 山口	3	1	2	0	1	1	0	1
4 鈴田	4	0	1	0	0	1	0	1
計	39	8	10	1	7	4	0	5

▲三壘打 山本1　▲併殺 滿1(疋田、中井)　▲死球 山口1(佐藤)　▲試合時間 一時間五十分

戰評

▲前日と同樣長商内野の凡失に依り再び長蛇を逸して潰滅した▲一二回と凡失に依りて滿倶に得點を與へたが二回青山の不振に乘じて一點を回復し三回鈴田片岡のタイムリー、エラーで二點を得てリードして逆轉、四回滿倶再び内野失に依つて一點を得て同點となり得點の上に於て興味津々たるものがあつたが、六回再び長商内野凡失加ふるに佐藤漸く疲れ片岡中井に連續二安打を許し滿倶に二點を與へし後は長商の元氣頓に衰え旣に大勢決するの觀があつた▲結局戰ひは兩軍の凡失で可成り波瀾を生んだが、滿倶の再勝は當然の結果と思ふ、再敗したとは云へ元氣いつぱいの學生チームらしい長商永田投手の好投、山本左翼の好守等等外來學生チームを飾るにふさはしいチームであつた

六大學リーグ戰組合決まる

【東京三日發電通】全國ファンの血を沸かす秋季六大學野球リーグ戰はいよ〳〵來る廿日を第一戰として左の如き日割で行はれる事となつた

九月廿日慶立一回戰、明帝一回戰▲同廿一日明帝二回戰、慶立二回戰▲同廿四日早法一回戰▲同廿五日早法二回戰、明法一回戰早立一回戰▲…日早立二回戰、明法二回戰…月一日慶帝一回戰▲同二日…二回戰▲同四日慶法一回戰、早帝一回戰▲同五日慶法二回戰、早帝二回戰▲同八日明…▲同九日明立二回戰、早明一回戰▲同十二日帝立一回戰▲同十四日帝立二回戰▲同十五日…一回戰▲同十九日…同廿三日法立一回戰▲同…法立二回戰▲同廿六日…戰▲同廿七日慶明二回戰…なほ廿八、九の兩日は…なき場合は法帝一回戰を行ふと

シ早兩大學選手交驩

【東京三日發電通】今回…シカゴ大學野球選手一行…選手は三日午後一時早…館に集合し高田總長の…ゴ監督の答辭あり一同…午後三時散會した

おらが大連の成長を語る (4)

なんと偉大なるかな……長襦袢のご利益

すばらしい娘子軍の進出　花柳界の發達誌

エロ、グロとか、若者がカフエーのボックスでビールの泡と共に吹き出す通語が今は大連の一文化面

院となつて、夜の世界の發展振りは物凄く、逢坂町、美濃町、沙河口から小崗子……と花街の港は市中普く存在し老若エロボーイの活躍に委してゐるが、今も昔もこの趣味だけは所變つても品變らず、二十五年の昔、戰後經營に忙しく恍惚の間にあつても灰塵荒野の赫土において原始的なエロ氣分はあつたものである。

◇……◇

國際職業でナンといつても我が娘子軍は世界的に有名である南洋、上海、香港、新嘉坡は言はずもがな、印度の奧地を歩いてみても日本娘が友禪模樣の派手な着物で桃割に花簪でも挿て眞黑な印度女と雜居してゐるのが見られる、それ

告げ邦人はいよ〳〵引揚げなければならぬといつた時分、いゆる娘子軍はその當時既に旅順に百人、大連に七、八十人ゐたもので、在留邦人の約半數はそれだといふからえらいものだ、だから無論戰後邦人が續々渡航して來た時先づ先驅となつたのは我が勇敢なる娘子軍である、當時は現在の西通り一帶、これ等の女等が集つてゐて盛にエロ氣分を横溢してゐたものである。

◇……◇

明治三十八年十二月、民政署令第十二號を以て貸座敷取締規則を制定し公娼を認めて逢坂町及び小崗子に遊廓を指定したが四十四年頃までに市内の料理店等を殆ど廓内に纒めてしまつた。

◇……◇

明正三十七年正月日露の…小學校が出來て潰れて了つたがその前にはあの邊に小公園があり松公園といつてそのうしろの方には恐らく私娼窟があつたもので日が暮れると物陰から甘いさゝやきや三味線の音さへして當時の夜遊雀には多分に猟奇的興趣を唆つたものである。

◇……◇

濱町發電所の大きな煙突は今でも煙を吐いてゐるがあれは東洋一の大きな煙突だとよく聞かされたものだが、その附近は今でも地名となつて殘つてゐるが海軍防備隊の駐在したところで相當賑はひ、酒保があつて一寸した小店もあり矢張り女がゐた。

◇……◇

何處かの店だが眞紅な縮緬か何かの女の長襦袢を表に懸けておいて女が居るかの樣に見せて客を釣つた、滿蒙開拓の雄志を抱き血氣旺々たる當時の若人は密かに血を躍らしドンな佳人が居るものかと毎日々々石鹸、タオル等要らぬものまでも買ひに店にお百度を踏んだが、何時も出て來るのは物騒な面相のおつさんだけでつひにその佳人は姿を見せなかつた、然しお蔭で店の品物は隨分賣れておつさん大儲けしたとは長襦袢の御利益は偉大なものだ。

◇……◇

長襦袢にお百度を踏んだ當時のアドベンチャーも今は一かどの紳士になりすまして待合の奧座敷に…

妓を侍らし遊蕩に…やに下つてゐるだらうが、今は市内に約二千の藝妓、酌婦が嬌を競ひしかもこれに加へて四百の女給さんがエアロンかけて超スピードのエロを釀み出して行く、時勢は移る……最近一年間の藝者花代三百六十二萬圓、酒肴費百八十萬圓、その他を含んで約六百萬圓の遊興費が流れて行くのだからげに盛なり矣だ。(寫眞は上が遊廓だつた松公園、下が逢坂町遊廓開業の日)

無緣佛弔慰會

明治四十年以降案子山麓三里橋墓地に埋葬せられて二十五年の今日全く無緣となつた佛が約四百名に達してゐるが、旅順市役所では六日午後三時より同所に於て在旅各宗佛教團の手によつて弔慰會を執行すること

別に二事件發覺す

安東の無電事件取調べで

第二無電事件として突如安東財界に衝動を與へた短波長受信機使用問題は當初安東警察は單一事件として捜査を進めたるに事件の進行につれ全然別箇の二事件が發覺された、卽ち榎本某一味については既に取調も一段落を見た模樣であるが當地大森仲買店主及びその一味の行爲は榎本某とは現在無關係にして事件は相當混み入つてゐる模樣で取調までには相當の時日を要するであらうとみられてゐる(安東發)

旅順陸海軍人慰問招待會

旅順市では恒例により來る二十四五の兩日にわたり昭和園に於て在旅行陸海軍人の慰問招待會を開催する事となつたが、招待者は約二千名の豫定で童話、童話劇及び五花會、壽達中の藝妓手踊等を見せること

關稅係船『富士丸』

民政署關稅係では今回二十馬力の優秀モーターボート「富士丸」を新造したがいよ〳〵七日に運航する事となつた、なほ同船としては元水上署の船倉…

勇敢な消防員に『義勇章』を贈る

きのふ大連少年團が

さきに市内寺兒溝坂本銃砲火藥店倉庫より發火し大事に及ばんとした折柄危險を顧みず挺身消火に努め附近住民の危難を匡救した今井大連消防署長、同消防手磯部惠作西田時成、西義信及び消防員淺野藤一の五氏に對する大連少年團の義勇章贈呈式は四日午後二時三十分から伏見臺小學校講堂に於て開催、神田團長、田中副團長及び

十二隊 より成る全大連少年團員四百五十名並に指導關係者多數列席、阿左見少年團主事開會挨拶に次ぎ神田團長はユニフォーム姿も凜々しく居並ぶ團員に對し五氏が火災に際し決死の氣魄を以て消火に努めた沈着にして悲壯な行爲は少年團がモットーとする「義勇奉公の精神」及び「備へよ常に」の眞骨頂の顯れだと推移し前記五氏に對し義勇章の贈呈を行ひ、次いで之に對し今井署長は全員を代表して

答辭を 述べ、目出度く式を終へた、因に式後神田團長は團員一同に對し轉任に際し訣別の挨拶を爲し田中副團長より謝辭及び答辭を述べ少年團全員は三指の禮を以て神田團長の別離の挨拶に酬い同三時半式を閉ちた(寫眞は義勇章授與の神田團長)

神田團長の辭任挨拶を兼ねて

咸鏡南道の四人組强盗

三名まで捕ふ

【京城三日發電通】去る八月十四日咸鏡南道豐山郡内中里巡査駐在所を襲擊し松山巡査部長を殺害した四人組匪賊の行方に關し引續き咸鏡南道警察部に於て捜査中のところ、二日夜八時頃同代、朴兩巡査が捜査上の爲め洪原郡景浦面に赴く途中で擧動不審の二鮮人と遭遇せんとしたところ、矢庭にピストルを發射したので兩巡査はこれに應戰、同代巡査は遂に擊たれて斃るゝに至り、暗にまぎれて逃走、途中發砲し金四十錢を强奪したに依り同警察部並に洪原署に非常警戒を行ひ捜査に努めた結果、二日夜十時四十分よりにかけ四人のうち三名を…名は遂に逃走した、なほ…と共にピストル三挺彈丸…發を押收した

日本でも珍しい金。石。文。じ

羅振玉氏が手刷にして大連圖書館に寄贈

旅順に在住する世界的碩學、羅振玉氏は古文書の研究家として世界的に名高いが、翁が在來蒐集せる金石文字を手刷にしたものを十册に分册し製本して大連圖書館に寄贈した、金石文字は支那周時代の文字で支那古代の文化を研究するには是非とも必要なものであるが羅翁は金石文字研究家としては世界的權威者で、内地の大學圖書館でもこれだけの多數所藏してゐるところはないので柿沼館長は大喜びで同館の寶物として珍藏すること>なつた

愛讀者奉仕　福引景品

一纏めして六日から三越に陳列

本社移轉混雜のため抽籤期日を來る八日午前十時に延期した本紙創刊二十五周年並に社屋新築落成記念愛讀者奉仕福引の景品は、既報の通り目下市内各商店々頭に陳列中であるが、六日より更にこれら全部の景品を三越吳服店三階に取纏め陳列し一般の觀覽に供することになつた

海軍機墜落

搭乘者負傷す

【大村三日發電通】大村航空隊三等航空兵曹前田丹三(二七)は二日午前單獨飛行訓練中、竹松村海岸を距る二百米突の海中に墜落機體を大破し兵曹は頭部顏面に負傷した

内滿選拔野球戰(第二日)

松山商業＝柳井中學

けふ午後四時から實業球場で

會券　一圓、一圓、五十錢(三日間共通)　一八十錢、四十錢、二十錢(一回券)

海の唄（四四）

仲木貞一作　林　鐸一畫

手紙のぬし（十六）

翌朝、和雄は遅く眼をさました。枕元に置いてある眼覺時計を見ると、もう十一時に間がなかつた。

「……今日は公休日だが、それでも餘り寢すぎて了つたものだ……」

さう云ひながら、和雄は、まだ蒲團の中にぐづ〳〵してゐた。睡が痛くて、胸もとがムカ〳〵した。

手足が抜けてゆくかと思ふやうにだるかつた。それでも何時かの時のやうに、急に力が抜けて起ちよることも出來ないのとは違つてゐることだけは、ぢつとしてゐても、和雄にはわかつた。

此の頃は、身體が次第に丈夫になつて來たやうに思つた。たゞ、また急にあんなリヨーマチスか何かの病氣が發しないやうにと希つてゐた。

……それだのに、ゆふべは遊びすぎて了つた……と思つた。

和雄は滞欧の中で、ゆふべ觀た水族館あとのレヴュー團の寳屋のさまから、月枝を主役にしたダンス、それからナンセンス・スケッチの一景、それに歸途の自動車の中で月枝の態度、殊に月枝が和雄に要求した接吻を、あんなにまでも頑強に避けたことに對する深い悔ひのやうなものなどを、思ひ浮べて深い吐息を洩らした。

と、その時、表園の障子が、するすると開く音がした。和雄はちよつと眼を上げた。

「秋月さん！郵便ですよ……」

と、外で怒鳴つた。

ふと起き返りながら、和雄は郵便屋があるのに……それは書留小包でゞもあらうか……と思ひながら急いで出ていつた。

「昨夜も來たのですが……これで小包の方は三度目ですよ……」

郵便屋は、不平らしく云つて、其處に可なり大きな小包と、一通の手紙とを放り込んだ。

和雄は、郵便屋が去してから、それを見ると、小包は、大阪の京子からであつた。

はつとしたやうに、和雄は取り

上げかけたその小包を、また落した。

「何の爲に……何んな氣持ちで……何物を寄越したんだらう？……」

……暫くして、今度は其の手紙の方を觀た。

裏には何とも名はなかつた。封筒も中身も、それは何時ぞや歳暮に來たこのある妙な手紙と同じことであつた。

たゞ、替爲の金額が、五十圓だつたのが、三十圓に違つてゐるだけだつた。そして、

「……此頃は、日々御達者で御勤めのよし、嬉しく存じます。何卒この秋あたりには、貴方樣御苦心の處女作を、上野邊院展の折に拜見いたしたいものです……」

と、いふ文句が書き添へてあつた。

和雄は、此の前の手紙も、爲替と一所に、そつと其のまゝにして

置いた。一度、それを月枝に見付けられて、

「あら戀んなにお金持なのに、何故、使用つて了はないの？」

と、云はれたりした。

「僕は、此の手紙は貴女が呉れたのかと思つてましたよ」

と、和雄が、ぢいつと月枝の顔を探ぐるやうにして云つた時、

「私ぢやないのよ……でも可いのよそれ。貴方は、さうやつて、ほうぼうから後援者が出て來て……れ、これ一體、誰人なの？牛込だから素晴が……」

と、云つて月枝は、ちよつと考へてゐたが、

「いゝのよ。なに心配なく使用つてお了ひなさいよ。大丈夫よ」

それでも、和雄はさうした得體の知れない人から、譯もなしに送られた金などは、つかふまいと思つて、今までそつて置いたのであつた。

だが、今の今まで得體の知れなかつた、その爲替も、誰かが送つて來たかやうやくわかつた。

そして、再び追憶の糸を、やる瀬なく繰返してみた。